滿洲日報

混合委員會の權限は單に履行監視に止む
停戰協定草案修正要點

【上海二十七日發】停戰協定起草委員會は二十七日午後三時半開會、本會議に提出する草案の作成を大體終り四時半散會した、今日の會議で基本の草案を修正した點は第二條の本文中に

日本軍は一月二十八日以前の地點、即ち共同租界及びエキステンションの地域に撤收す、但し兵數多きため大部分は上海附近の別に指定せる地域に駐兵する

その修正を明記し、第四條の混合委員會の權限は主文では單に履行を監視するといふにとゞめ、詳細は附屬文書に讓るといふ最初の案に逆戻りした、この結果附屬文書は一通增加し四通となることゝなつた、なほ調印國は英、佛、伊、米もこれに參加するに決した、今日の會議で協定文の草案は完全に出來たので委員會は今日で終了し、後は本會議に讓ることゝなる模樣である、なほ本會議は三十日又は五月一日開かれる形勢である

停戰協定事實上成立

【ジユネーヴ二十七日發】わが代表部はランプソン公使の妥協案が事實上成立せる旨だけは今日ドラモンド氏に通達したが、十九國委員會の決議案に關する政府の方針、即ちその內容如何に拘らず拘束力なしと解する點については誤解を避けるため適當の形式を整へた上追つて正式に通告する事となつた、從つて十九國委員會はこの通告と停戰協定正式決定の公式電報とが揃つた上で議事を再開する譯である

聯盟の暗雲去る
決議案問題も急速に解決

【ジユネーヴ二十六日發】日本政府の回訓は本日午前日本代表部に到着した、よつて十九國委員會決議案問題も一兩日中に急速に解決する運びとなり聯盟も非常に滿足の意を表してゐる

【ジユネーヴ二十七日發】日支兩政府が所謂ランプソン案を受諾するとの報道で、早くもジユネーヴに低迷した暗雲は一掃され繼續委員會の決議案から刺を取り去る事もさして難事でないと觀られるに至つた、最も執拗に十一項を固執した一代表は「兎に角日本が協定の趣旨を尊重する限り目出たい結末を見る事が出來やう」と語つた

卅日聯盟總會を開會

【ジユネーヴ二十七日發】十九國繼續委員會は二十八日午後五時から非公開會議を開き上海の停戰交涉に關する修正決議案を決定した上、三十日公開會議を開く豫定であつたが停戰交涉と聯盟の關する限り一段落したから特別總會を開く事を要求してゐる者もあるので三十日聯盟總會を開くことに決定した、然し大國代表側では總會を開く事となつても全く經過報告に止め小國代表が演說で氣焰をあげる事を許さぬ方針だから總會が開かれても大して紛糾はせぬものと觀られる

【東京二十八日發至急報】二十八日長岡大使より外務省への報告によれば、繼續委員會議長イーマンス氏、聯盟事務總長ドラモンド氏と協議の結果、三十日午前聯盟總會を召集に決定した

松岡特使御進講

【東京廿八日發】天皇陛下には二十八日午後二時松岡洋右氏を召され上海事件につき約一時間半御聽取遊ばされた

修正案文作成懇談

【ジユネーヴ二十七日發】長岡大使は今朝十時事務局で英外相サイモン氏、事務總長ドラモンド氏と會見し、本國政府の回訓並に現地からの報告に基き十九國繼續委員會の決議修正案文作成につき懇談を遂げた、案文の主要點については未だ意見の一致を見ない部分があるが本日中には大體修正案文が纏まる見込みである

松平大使英代表訪問

【ジユネーヴ二十七日發】松平大使は、今朝十時半マック首相を訪ひランプソン公使の斡旋により上海交涉の難局が打開されたるを謝し更に十一時長岡大使と共にサイモン英外相を訪ひ、十九國委員會決議案の修正に對する日本の態度即ち決議案の內容が如何に修正せらるゝもわが行動につき拘束力を持つものとは解せられざる旨說明し十一時二十分辭去した

緊張せる停戰會議の日本代表

內田總裁の留任は期限附に非ず
理事の辭表も自然消滅となる
門司にて八田副總裁語る

【門司有村特派員二十八日發】八田滿鐵副總裁は夫人同伴うすりい丸で今朝門司に着くと、正午出迎への人々と挨拶した後、記者に語る

昨年十月貴族院の慰問團に加つて滿洲各地ハルビンまで行つたが、測らずも今回滿鐵副總裁に就任したが、內田總裁には隨分古くからお世話にもなつて居り微意でもあるから赴任後は總裁の女房役として懸命に働くつもりだ、內田總裁の留任期はリツトン卿一行の滿洲視察の終るまでとの說に對し時局重大の今日總裁の御留任は各方面で希望して居るので留任されたが、右の如き期限を附した條件で留任されたといふことは聞いてないと聞いて居る、自分もこの信頼の下に赴任するのである、赴任後なるべく早く滿洲國新國家に一應挨拶したいとは思つてゐるが、總裁とも打合せ事務が忙しいからと思ふから何時新京を訪問するか未定だ、滿鐵增資問題もあるが增資より差當り本年度の資金調達が必要である、理事の辭表は總裁留任で自然消滅となつたわけだ

と語つた、それから上陸下關山陽ホテルに向つたが同所で林貴族院議員など、會見後歸船赴任の途についた

聯盟調查團けふは中間報告作成會議
軍司令部訪問は中止

本庄軍司令官と聯盟調查委員との會見は二十八日も行はれる筈であつたが、委員達は中間報告の作成を急ぐため二十八日はそれを中止してこれに專心することに決定午前十時三十分英國總領事館に集り一人揃ひして會議をつゞけた但し報告書の發送日は未定である【奉天電話】

調查團日程 作成委員會組織

聯盟調查團今後の日程を出來るだけ早く纏めるため、今回これを研究する小委員會を組織することになり、調查團側からはシヤレール氏が加はり日本側からは軍部、滿鐵、領事館、日本側聯盟員等の各關係者が參加(支那側不參加)の上その第一回委員會を二十七日午後五時から開いたが、今後一行の日程は本小委員會で原案を作成する事となつた【奉天電話】

中間報告は參與員に提出

聯盟調查員が五月一日迄に聯盟本部に提出する中間報告は出來上り次第先づこれを日支兩國の參與員に見せた上、直にジユネーヴに向け電報で發送される筈であるが、これが公表されるか否かは聯盟本部理事會で決せられることで現在は不明であると【奉天電話】

四巨頭會議延期
ス米國務長官歸國

【ジユネーヴ二十七日發】マック、スチムソン、ブリユーニング、タルヂユの英、米、獨、佛四國巨頭會議はタルヂユ氏の來壽を待つて二十九日開かれる事となり軍縮問題、全歐洲の政治問題解決の端緒となるものとして重視されてゐたがボンクール氏は本日マック、スチムソン兩氏に對しタルヂユ氏の二十九日の來壽不可能なる旨通告して來つた、斯くてスチムソン氏は二十九日カンヌよりイタリー汽船により一旦歸國する事となりしため多大の期待を懸けられた四巨頭會議は全然中止とならぬも一先づ延期の已むなきに至つた

侵略的武器廢止と日本の主張點
齋藤軍縮委員力說

【ジユネーブ二十七日發】軍縮委員會は昨日に引續き侵略的諸武器の決定問題を審議したが如何なる艦軍が侵略的なるやに關し各國委員間に著るしい意見の相違が存することが愈々明白となつた、日本委員齋藤博氏は左の如く述べた

日本は左の理由によつて航空母艦及び飛行機發着甲板裝置の艦艇は明かに攻擊用兵器なりと思惟するものである

一、空軍力に可動性を加へる事
二、强力なる攻擊的動作をなし得る事
三、艦艇の攻擊的性質を增加する事
四、沿岸防禦のための兵器として不要なる事
五、新式兵器なるが故に特に效果的である事
六、海上並びに陸上にても活動し得る事

よつて航空母艦及び發着甲板裝備の艦艇は軍縮本來の目的に全く相反するものであり、今次の會議にて斯る武器を禁止するは時宜に適したものである

なほ日本は戰鬪艦及び潛水艦については次の如く日本の主張を明らかにした

一、戰鬪艦は特に攻擊的武器と見做すことが出來ぬ
二、潛水艦は速力鈍く活動期間短き故攻擊的武器といふよりも寧ろ防禦的武器である

次でアメリカ委員ヘプバーン少將は潛水艦以外の艦種を單獨に攻擊的となすことを强調し、最後に勞農代表ヴエントーオフ氏は戰鬪艦並にワシントン條約巡洋艦の一部が他國領土の侵略具となるとの見解を表明して散會した

自國軍縮維持し得ずば對策考慮の要あり
會議に失望の英首相語る

【ジユネーヴ特電二十八日發】軍縮會議を機會にジユネーヴに集まつた各國巨星は失望を抱いてそれぞれ本國に歸還することになり(スチムソン米國務長官は二十九日ジユネーヴ出發)華々しく開かれた軍縮會議も今や完全に前途の光明を失つたが、マクドナルド英首相は各國が軍縮に誠意を示さぬ以上、イギリスも亦ロンドン條約に所謂エスカレーター條項を援用するの要あるべきを說いて曰く

ロンドン會議では各國代表部の首腦は專門家の細目の審議と同時に政策の大綱を決したがこの一週間余はロンドン會議當時と同樣の努力をした、又この一ケ月間ロンドン條約に佛伊の參加を求め五國條約とすべく熱心に努めた、要するに軍縮は國際協定による外なく**若し他國が軍縮に同意せずイギリスが自國の軍縮狀態を維持し得ぬことゝなれば**ロンドン條約に所謂**エスカレーター條項を援用**するか否かを或は考慮せねばならぬかも知れない【寫眞はマクドナルド氏】

同意意思表示方法
わが代表部政府に請訓

【ジユネーブ二十七日發】日本代表部は十九國會議で決定さるべき決議十一項の代案內容が同意を與へ得べきものなる時、如何なる形式で同意を表明すべきか本國政府に請訓し打合せ中なるが、聯盟が自己の見解により日本を拘束する態度を採る場合は之を拒むは勿論若し同意を與へる場合日本としては決議の趣旨を尊重する、此間の關係を現す適當な意思表示を爲すにつき二十八日中に[illegible]

調查團離奉期未定

聯盟調查委員滯奉中のプログラムは現在五月二日午後までは既に決定しあり隨つてそれまでの滯在は確定的であるが離奉期は未だ不明である【奉天電話】

佛首相病臥

【パリ二十七日發】フランス首相タルヂユ氏は急性喉頭炎のため病臥二十九日のジユネーヴ行きは中止された

六月以降事變費
二億八千五百萬圓

【東京二十七日發】政府は既に滿洲事變四、五兩月分經費として陸海、外三省及び關東廳の分を合して六千萬圓支出を臨時議會に提出し協贊を經たが、六月以降の分は目下關係者より大藏省に要求提出折衝中だがその總額二億八千五百萬圓の巨額に上るその內譯は左の如くである(單位千圓)

省	金額
外務省	二、二〇〇
陸軍省	二〇、五〇〇
海軍省	五、〇〇〇
拓務省	三〇五
朝鮮	二〇〇
關東廳	三〇〇

にして四五兩月分を合すると七年度全體では實に三億四千五百萬圓の巨額に達し、大藏省でも全く財源難に窮して節減に奔走してゐるが、各省も共同戰線を張つて頑强に右要求を固持してゐるので之が決定迄には非常な難關が豫想される

內地人の滿蒙觀異見が多い
在滿邦人達の指導を望む
東鄉貴院議員來連談

貴族院議員東鄉安男爵は廿八日入港香港丸で來滿した、同男爵は既に數回に亘り滿蒙を視察し貴族院における滿蒙通として知られてゐるが、今次の視察によつて議會における諸材料を集めるべく滿蒙視察後は更に上海事件調查のため南支に向け出發すると、船中に男爵を訪へば語る

昨年の事變以來內地においては公私共に滿蒙熱に煽り立てられ各方面より滿蒙事情の映畵や講演さては新聞雜誌等の刊行物で知つてゐる、しかし未だに內容が區々ではその種々雜多な意見が吐かれて認識を確めるに迷はされるやうな始末である、從つて大體の目的としては現地を見て在滿官民各方面の人々の現在及び將來に對する方針が奈邊にあるかにつき正視する考へで一通り要路の人々の意見を聞きたいと思つて來た、今日はすぐ連絡列車で奉天へ向ひ同地にしばらく居つてそれから北に進み再び大連に引返し上海事件を調查し現狀視察の上議會開會に間に合ふやうに歸國するつもりだ、內地の人達の滿洲の見方の異なる一つの原因は滿洲の方に統一した意見がないためではないかと思ふ、要するに滿洲に於て輿論を統一し、內地の意見を指導してほしい、自分は屢々當地に來てゐる、大正二年にも貴族院の一行と共に來た、貴族院の滿洲問題に對する意見としては未だ各方面から種々聞いたり或は觀察團を組織して見たりしてゐる時機で政府に對する方針といつたものもまだ決定してはゐない【寫眞は東鄉男】

滿鐵重役會議

滿鐵では十八日午前十一時より總裁室において重役會議を開催、大森、首藤、十河、山西各理事、山崎總務部次長等參集の上十河理事より聯盟調查團の奉天における調查狀況、猪田鐵道部次長より東支鐵道貨車の奪領引入問題等に關する報告を聽取したが同日午後二時より續開した

毛內中將等豫備役仰付らる

【東京二十八日發】十一日待命となつた陸軍武官は二十八日豫備役仰付けられたその主なる者左の如し

中將 毛內靖胤
同 深見新之助
同 鈴村吉一
同 井上璞
同 猪狩亮介
少將 中川金藏
外十一名

六十二議會召集詔書

【東京二十八日發】六十二議會召集の詔書は本日官報を以て左の如く公布された

詔書

朕帝國憲法第七條及第四十三條ニ依リ本年五月二十三日ヲ以テ帝國議會ヲ東京ニ召集シ十四日ヲ以テ會期トナスヘキコトヲ命ス

御名御璽

昭和七年四月二十六日

各大臣副署

鐵橋爆破、列車妨害、恐るべき大陰謀の正體竟に判明、黃色火藥の臭氣紛々、赤テロの黑い肚が白日の下にバク露されたわけだ。

◇

暗黑の停戰會議、支那のランプソン案受諾でやゝ明るくなつた。

◇

と思ふ一方では早くも猛烈な反對運動が始まつた。ランプソン案果して光明を齎すかどうか。

◇

英、米、佛、獨の四頭會議遂にお流れ、軍縮會議の前途はなほ暗い。

◇

明日は天長節、寶齡の無窮を祝ぎ奉る。

◇

世は正に春、自然は櫻、梨、杏花、花、花の世界となつた。

お斷り

廿九日天長節につき奉祝のため休業二十九日夕刊(三十日附)並に三十日朝刊は休刊致します、惡しからず御諒承願ひます

廿八日　滿洲日報社

人事

▲東鄉安氏(貴族院議員男爵)二十八日入港の香港丸で來連
▲瀬川章友氏(陸軍士官學校長陸軍中將)同上
▲中野直三氏(陸軍士官學校本科生徒隊長步兵大佐)同上
▲多田駿氏(關東軍司令部附砲兵大佐)同上
▲菅野謙吾氏(關東軍司令部附步兵少佐)同上
▲楊三多氏(臺灣林家代表)同上
▲陸軍士官學校戰史旅行團三百二十九名同上
▲小山貞知氏(滿鐵囑託)二十八日香港丸にて歸連
▲寺島由松氏(辯護士)同上
▲岩島雙三氏(大連聖愛醫院長)同上
▲古澤豐太郎氏(政友會代議士)二十八日出帆のはるぴん丸で歸國
▲倉本要一氏(政友會代議士)同上
▲中村豐氏(北海道帝國大學醫學部教授)同上
▲緒方大象氏(長崎醫科大學教授)同上
▲前田久義氏(關東廳武道教師)同上
▲國松文雄氏(前大朝大連特派員)本社詰に榮轉夫人同伴同上
▲セメヨノフ氏 二十八日出帆の長平丸で天津へ
▲中尾桂一郎氏(遞信局事務官)二十八日午前七時着列車で來連ヤマトホテルに投宿
▲佐藤穰氏(遞信局事務官)同上

東亞の謎 (255)
國枝史郎
挿畫 伊藤順三

墓は? 寶庫は? (二)

一脚の寢臺が置いてあつたが、その上へ洋子はそつと寢かされた。

「まあ」と思はず洋子は云つた。室の樣子があまりに美しく、あまりにも異樣であつたからである。

遙か向ふの部屋の正面に、巨大な古代の蒙古武將の、騎馬の彫像が置いてあつたが、着てゐるところの冑鎧の金具は、ここごとく黃金で出來てゐた。成吉斯汗の像なのであつた。その背後に數段高く大理石の階段が出來て居り、その奧に天上の五彩の虹を、地上に持つて來ては・・・つけたやうな、眼も綾な絢爛たる大扉が閉されたまゝで聳えてゐた。翡玉、紅玉、猫眼石、蛋白石、柘榴石、さういふ種類の寶石で、裝飾されてゐるらしく、打ち付けられてある金具さへ、黃金であり銀であるらしかつた。

奧にも室があるものと見える。その大扉を中央にして、その左右の岩壁には、入れ込みになつてゐる巨大な壁畫が、乾燥した沙漠の地下の室に在る、さういふ爲めか色彩鮮かに、殆ど剝脫することもなく、よく保存されて掛けられてあつた。成吉斯汗時代の蒙古軍隊が、敵を攻擊してゐる畫であつて、戰爭や駱駝や馬に乘つて、立派な堂々たる美術品であつた。

さういふ正面の美しい裝飾に、眼と心とを奪はれた洋子は、しばらくの間ぼんやりとしてゐたが、(お爺さんは?)と氣がついて、(何處へ行つたのかしら?)と室中を見た。

老人は側にゐなかつた。自分の周圍を見廻した。

すると騎馬像の背後にある、例の絢爛たる巨大な扉が、徐々にひらかれるのが見えてきた。何時の間に其處へ行つたものか、そこに例の老人がゐて、手で扉を徐々にあけてゐた。

ゆるやかに老人は振り返へり、「おいで」といふやうに頷いて見せた。

そこで洋子は寢臺から下りて、老人の方へ步いて行つた。まだ心は恍惚としてゐたが、しかし足はたしかであつた。騎馬像を巡り階段を上がり、巨大な扉の前まで行つた。

老人は奧の室に這入つてゐた。洋子も奧の室へ這入つて行つたが、この室の光景は前の室よりも更に絢爛であり怪奇であり、森嚴であり壯麗であつた。

さうして實に豐富であつた。革袋に入れた砂金の山が、その口から砂金をはみださせ、堆高い迄に積まれてあるかと思ふと、金錠で裝はれた、巨大な百數十個の寶物箱が室の一所に並べてあり、その中には成吉斯汗が征服した國の、わけてもトルキスタン方面の寶石類や貴金屬類が、これも無雜作に雜然と、投げやりの態で入れられてゐた。

天井からは數百本の旗や、幡や纛や三が、曼陀羅でも下げたやうに、下げられてゐた。さうして敵方から捕獲したらしい、佛狼機や砲石や天鵝砲や、さういつたやうな火器の類や、戈や矛や鉞や、弩や長馬鎗や斧や鐵石や、さういつたやうな武器の類が、壁の四周に懸けつらねられてあつた。

かういふ光景に茫然としながら洋子はしばらく佇んでゐたが、正面にある巨大な扉が——その扉も前室の扉と同じく、珠玉と瑕瑾とを延べ金とによつて、虹かのやうに華やかに裝飾されてゐるのであつたが、その扉があいたので、その方へ急いで眼をやつた。

老人がその扉をあけてゐた。

我軍松花江を下航し反吉軍の本據を衝く
中村〇團汽船二隻に分乘し方正を通過し三姓へ

【ハルビン特電二十八日發】松花江下流方面に蟠居して東支東部線方面にまで魔手を延ばしてゐる反吉軍の本據を衝くべく村井〇團と相呼應して第〇〇團中村〇團は二十六日拂曉より樺川、依蘭を目ざし汽船二隻に分乘し、軍艦〇隻に掩護されながら威風堂々舳艫相啣んでハルビン埠頭を出發した、途中敵の襲擊を豫想し警戒怠りなく前進したが、敵影を見ず無人の境を行く如く二十七日方正に到着、同地附近も反吉軍は早くも姿を隱し、吉林軍が進出してゐたので豫定通り廿八日夕刻には三姓に到着の豫定である、三姓は李杜軍の本據地で丁超も同地に潛伏してゐる模樣である、或は敵は飽く迄皇軍の入市を阻止するやも知れず中村〇團は戰鬪準備をとゝのへて接近しつゝあり三姓には邦人約四十名在留し殆ど監禁同樣外出も出來ぬ有樣であるが皇軍の入市により無事救出されるものと思はれる

東部線石道河子全滅

【ハルビン二十八日發】東線東部線石道河子は兵匪の放火掠奪で全滅となり同方面より露滿鮮人約一千名ハルビンに避難して來た、海林方面に在る村井〇團は極力治安維持に當り住民は皇軍の活躍に感泣してゐる

通化の在留邦人は領事分館避難
縣城は義勇軍が占領

廿六日通化を發した興津副領事の使者は廿七日午後七時頃平北懸城警察署に達し直に安東領事館に打電して來たがそれに依ると通化は二十六日遂に民衆義勇軍により完全に占領され、滿洲側には外人保護の力なく在留邦人婦女子は領事分館に收容保護中なるも形勢刻々惡化しその成り行き頗る憂慮され至急應援隊を派遣されたしと【安東電話】

威風堂々と警官隊奉天出發
北山城子で下車してトラックで通化急行

通化方面の暴動ますく重大化し同地方居住邦人の生命財産は刻々危殆に瀕しつゝあるため奉天、安東、撫順、公主嶺、四平街、鐵嶺、遼陽、奉天等の各警察署から選拔した警官隊二百七十名は瀧井警部指揮の下に二十七日午後威風堂々奉天署前を出發、邦人保護の重大任務についた

これより先各警察より選り出された猛者連は銃劍、日本刀、水筒、外套などそれぐ堅固な武裝をなし第一大隊を編成しそれに機關銃隊、砲兵隊、喇叭手、輜重隊まで編成參加した

午後五時半となるや一同は奉天署の裏庭に集合し立川奉天署長は一同に對して通化、桓仁方面の叛徒はますくその勢力を增大し通化領事分館では死を期して守つてゐる有樣であるとの同方面の逼迫せる狀況を報告後

諸君は同方面の邦人保護の重大任務を帶びて出發するものであるからこの重大使命を完全に達せられ凱旋せられんことを望む

との一場の訓示に對しいづれも悲壯な決心をなしそれよりトラックに分乘奉天瀋陽驛に向ひ午後八時發列車で東行したが右警官隊は北山城子に下車し同地より更にトラックに分乘し通化に向ひ出發する筈である、また北山城子にある于芷山の軍隊より二十八日討伐隊が出動しまたこれが掩護のため軍部より飛行隊も出動する筈である【奉天電話】

トラック顚覆
巡査四名負傷

警官隊が奉天署前よりトラックに分乘し瀋海驛に向ふ際奉天タクシイ運轉手鮮人李正道(二〇)の運轉せるトラックは東拓北側のカーブに差しかゝるや突然顚覆し滿載の警官隊はアワや下敷きとならんとする大騷ぎを演じたが

取調べの結果、中村豐作、安永末崎、副島邦市、山崎春一の四巡査は手、顏、頭部にそれぐ全治一週間乃至二週間を要する擦過傷及打撲傷を負ふたのみで濟んだ、負傷者は何れも醫大醫院に入院せしめ治療中で四巡査は安東署員である【奉天電話】

各地を講演して輿論を喚起した
滿洲とは馴染の深い多田砲兵大佐が來任

さきに京都第十六師團附として來滿し記憶に新しい砲兵大佐多田駿氏は今回關東軍司令部附に榮轉、第十二師團參謀から同じく榮轉した菅野謙吾少佐と共に廿八日入港香港丸で着任したが、多田大佐をサロンに訪ふと語る

昨年の四月滿洲を引揚げた許りで歸ると早々例の滿洲事變なんだから全く武運に惠まれないと云へよう、駐劄當時から支那側の無謀な行動に切齒扼腕してゐたのにいざ爆發となると他の部隊がすつかり勇ましい所を見せてしまつておまけに又後始末に來た樣なものだ、自分達は昨春京都に歸つてからは滿洲問題についてしきりに講演して廻つたものだ、第十六師團司令部が恐らく内地輿論喚起の第一線に立つたといつても過言ではあるまい、又他の大都市に先んじて防空施設をなし五十萬圓の金を投じて高射砲の設備等をして防空演習をなしたのもトップを切つた樣なわけだ、目下内地の者はたゞ滿洲々々と熱許りあげてゐるが統一した意見がない樣だ、それにはどうしても滿洲から正しい意見を出しこれを統一し内地に反映さす事が必要である【寫眞左多田大佐と菅野少佐】

二宮尊徳像また被害
大廣場小學校

既報の彌生高女と朝日校の校庭に建立されてゐる二宮尊徳翁の銅像の左手を叩き折つて盜み去つた怪事件は各學校當局者の神經を尖らせてゐるが、今度は大廣場小學校の二宮尊徳翁の銅像が片輪者となつてゐるを二十八日朝になつて發見された

犯行は二十七日夜から今曉にかけて行はれたもので、これも尊徳翁が本を持てる左手の二の腕から叩き折られ、斧の柄も盜み去られたり所轄大連署では躍起となつて犯人搜査に努めてゐる

内地人移民より鮮農の保護
中村醫學博士視察團

去る十五日來滿した北海道帝國大學醫學部の中村豐教授はその後奉天、長春を中心に移民と民衆衛生に關する調査を續けてゐたが、大體の調査を終り廿八日出帆のはるびん丸で歸國の途に就いた、出帆前船中にて語る

自分は來滿に際して集團移民は時期尚早で先づ相當の學識と經驗を持つたものをパイオニヤとして滿洲に送り、その調査と體驗によつて移民を行ふべきだと云ふ主張を持つてゐたが、約半月の視察調査の結果、自分の持論が正確であつたことを知つた 滿蒙は未だ創業の時で育成の時ではない、治安未だ完全に定まらぬ滿蒙に移民を斷行するよりも現在既に入込んでゐる鮮農の生活を完全に保護してやるとに努めればなるまい、自分は奉天、長春で民衆衛生を調査したが、滿洲民衆が非衛生な生活をしてゐる割に流行病の魔手に對してどれ程抵抗力を持つてゐるか

吉敦線不通
蛟河鐵橋を破壞
吉林から修理班急行

二十八日午前中滿鐵鐵道部に達した情報によれば吉敦線蛟河鐵橋を破壞し鐵道線路をはづし電柱を切斷したるものあり電信電話一切不通となり取敢ず吉林よりモーターカーを以て修理班を發せしめたが詳細は未だ不明である

旅順の除隊兵

旅順〇〇隊三年兵〇名は二十八日朝除隊式を擧行し午前九時三十五分發列車にて駒田聯隊長引率の下に凱旋歸國の途についた、出發に當つて永山市長より挨拶を述べ見送りの官民、學生、兒童は例の如く國旗の波、怒濤の如き萬歲の聲を浴びせた、日下内務局長、鹽原地方課長、米内山民政署長、久保田海軍駐在武官その他官民多數は盛なる見送りをなした

……を考へて慄然たらざるを得なかつた、滿洲國の醫學はまだ〳〵幼稚だ、若かくして海外雄飛を志さしてゐる日本の青年醫學徒が活躍すべきは滿蒙の天地だ、定められたる天職醫學のためにも、日滿兩國親善のためにも、青年醫學徒の滿蒙發展に歸國後努力する考へだ

明日火蓋を切る關東州野球大會
興味をそゝる二試合

野球シーズン劈頭の大會として野球ファン待望の本社主催の第十七回關東州野球大會の幕は愈々明二十九日より切つて落される、正十二時參加九チームの入場式を行ひ前年優勝チーム國際運輸チームより優勝盃優勝旗の返還後佐賀本社營業局長開會の辭を述べ選手觀衆一同起立脫帽の上君ケ代を合唱し佐賀營業局長の發聲で天皇陛下の萬歲を三唱して聖壽の無窮を祈り奉り同遙拜式後第一回戰を承る消費組合對大連OB倶樂部戰の火蓋は竹内民政署長の始球で切られるOBは岸、安藤、大門、高須、中島、福山、平田等球界の先輩を以て組織されたチームである

消費組合は吉野、野田、古味、小池等の現滿倶選手に二神、南條、大橋、宗正、井上、綠川の舊滿倶選手を以て組織された優勝候補チームであるから組合の勝利は確實とされて居る然し何にせ球界古强者を以て組織されて居るOBチームのことゝて如何なる奇襲に出づるや計り難く勝敗を度外視した興味がひそんで居る

第二陣を承る國際對鐵道部戰は大會優勝戰としてはたまた準實滿戰としてファンを殺人的熱狂に導くものであらう

卽ち國際は木下、因藤、渡邊の實業のバッテリーに山田、立石藤濱、北島、宮武と實業團の内野手を以て陣を堅め高橋主將、藤澤、德永の新人を率ゐて外野を守り水ももらさない守備振りである、これに對する鐵道部チームは濱崎、山口の滿倶の投手を載き濱崎、正田、花滿、伊藤、高須と滿倶打擊陣の中心選手を以て組織されて居る、守備と打擊の戰ひはたしていづれが勝ちを制すか、興味はいやが上にもそそられる

又第二日目たる三十日に行はれる大連商業對旅順工科大學戰は前者は德永主將、工藤、梅本等の中心選手の卒業に遇ひ全く新陣容を以てチームされ後者は未知數のチームとされて居る、大體六分旅順四分の戰ひと豫想されて居るが工藤ふき後のサウスポー出口が如何なる戰績を殘すか興味を以て迎へられて居るものである、なほ第一二兩日出場のメンバー左の如し

▲大連OB倶樂部　岸、田中、兒玉、安藤、田邊、高須、中島、福山、岡部、林田、森田、中川、山本、平田、大門、淸水、加藤、中澤、淸田

▲消費組合　吉野、南條、二神、野田、古味、大橋、宗正、井上、綠川、小池、工藤、梅本(弟)

▲鐵道部　濱崎、山口、田村、正田、山下、勝田、花滿、伊藤、高須、櫻井、北澤、杉崎、岩本、飯村、土井

▲國際運輸　木下、因藤、渡邊、山田、立石、藤濱、北島、宮武、藤澤、德永、高橋、石河、永野、瀨川

▲大連商業　五味川、杉村、深川、志摩、藤原、出口、板井、內海、秋山、北島、榮草

▲旅順工科大學　野上、佐竹、伊藤、池江、細澤、濱野、佐々木、龍山、柴田、愛甲

新戰場を訪れ先輩を弔ふ
士官學校旅行團來る

陸軍士官學校本科生徒三百名は同校々長瀨川章友中將並に生徒隊々長中野直三大佐外戰術教官七名、隊長以下十三名の引率者に伴はれ廿八日入港香港丸で戰史旅行團として恒例の如く來滿したが今年は滿洲事變に刺戟され生徒一同の心組みに先輩の鮮血によつて彩られた新戰場を弔ふため緊張し切つてゐる、生徒隊長中野大佐を甲板に訪ふと

今度は瀨川閣下も同行下さつて更にこの視察旅行を意義深いものにしてゐます、旅行は全く戰時訓練の意氣込みですべて軍規正しき行動をなし先輩諸將軍にはづかしくない樣な態度をとるつもりで居ます、例年この旅行は行ふのだが今年は殊に意味深いです、精神的によき糧となれば好いと思つてます

上陸と共に埠頭ビル屋上に登り佐伯滿鐵囑託中佐の說明を受けた一行と瀨川校長【寫眞は埠頭ビル屋上の一行と瀨川校長】

實地に體驗して軍事知識を增進
瀨川士官學校長語る

陸軍士官學校戰史視察旅行團と共に二十八日入港香港丸で來連した同校校長瀨川章友中將を香港丸サルンに訪へば語る

自分は一昨年の二月第十六師團の駐劄中長き邊りの思召しを傳へるため滿洲軍隊慰問に來た事があるから滿洲の軍隊の駐在しているところは大抵知つてゐる、今度士官學校の生徒三百名を連れて來たのだが日露日獨戰役の遺蹟の戰跡を視察すると同時に新たに突發した事變によつた勇敢奮鬪した先輩の遺骨を弔ひ先輩の功績を偲びこれを自己のものとし軍事智識の增進を圖り廣く見聞して實地に體驗して行かうと云ふので夜はなるべく列車の中で寢る等、困苦缺乏に耐える修養も積もうと云ふのだ、滿洲は約十日間長春迄行く、自分は日露役當時は遼陽にゐたので懷しく…旅順の戰跡視察の豫定……

授業料を徵收せぬ
戰死傷病兵の子弟小學生

【東京二十七日發】文部省では從來戰傷病者の子弟に對し市町村立小學校授業料を減免して來たが、今回更に其の主旨の徹底を期する事となり從來戰傷死者子弟の授業料を減少し又は免除する規定を改め全然徵收せぬ事に決定、兵役に服して公務のために死亡し又は傷痍を受けた者若くは疾病に罹つた者も下士以下の軍人の子弟に限り授業料を徵收せぬ事になつた

戰死傷者遺族の全國後援會生る
百廿萬圓の基金募集

【東京二十八日發】帝國軍人の戰死者、戰傷病者中不遇なる家庭に對し永久的慰問、救護の實を擧ぐるため戰死者の遺族傷病兵全國後援會を創立する事となり二十七日午後六時一ツ橋教育會館に創立總會を開き來月上旬より實行に着手する事となつたが、全國から百二十萬圓の基金を募集し之を財團法人としその利子を事業遂行の經費に充つる方針であると

電車スリが橫行
日本人で大膽な犯行

二十七日午後一時ころ市內伏見町十一番地橋本□之助が初音町から中央公園に至る七錢系統電車內で突き當つた日本人から現金五十四圓入の蟇口をスリ取られ下車して後それと氣付き大連署へ訴へた、また同日午後四時ごろ市內濱町七五番地梅本峰太郎が萬歲街停留所から吉野町に至る四錢電車內で一圓八十六錢と認印一個在中の財布をスリ取られ大連署へ屆出た 手口から見て連日電車乘客の懷をねらひ廻る邦人スリ犯人でそれらの大膽な仕業に刑事連も舌を卷いてゐる

御物金銅佛一體發見
犯人自白せず

【東京二十八日發】上野博物館の佛像盜難事件の犯人については警視廳に有力な被疑者として留置中の元職工政務次官松村義一氏の秘書と稱する出頭信を追及したが言を左右にして事實を供述せぬので二十七日朝來外部搜査に努めた結果出頭の情婦石川しよう(二〇)四谷傳馬町一ノ二九中林廣吉方の部屋から盜まれた觀音像一體を發見しやうやう警視廳に引致し取調の上同夜は警視廳に留置した 出頭はそれでも自白せず、しようは十六日何も知らずに出頭から預つたと述べてゐるが、既に一體を發見せる上は後の二體も間もなく發見し得るものと警視廳では大いに活氣附き上野博物館では大島館長以下ほつと一息の態である

吉川牧場主無罪判決
直に檢事控訴

鞍山北三條通一丁目吉川牧場主吉川秀藏(三〇)及び同人經營の鞍山タクシー修繕職工片山仙多(三〇)兩名にかゝる放火、詐欺事件は微妙な法律上の見解から公判の成行を注目されてゐたが廿八日大連地方法院長島裁判長から證據不充分の廉で無罪の判決が言渡された、井關立會檢察官は直に檢事控訴の手續をとつた

ベンゾイリン事件續行公判

ベンゾイリン續行公判は引續き二十八日午前十時半より開廷、大田黑辯護人は

第二回の正誤は全く僞造の原議に基づき公布せるものなれば何ら法律上から力なし、一片の印刷物に過ぎない

との骨子に基き無罪論を主張正午一先づ休憩した、午後一時からは更に秋山、中村兩辯護人の辯論あり、明二十九日は天長節につき休廷、三十日引續き辯論の豫定

空家に放火か

二十八日午前十一時ごろ市內西公園町百十九番地空家(大塚靴店所有)から出火し家屋內の一部を燒いたのみで鎭火したが、同家は數ケ月前から空家となつてをり全く火の氣のない處なので大連署では放火とにらみ搜査中

大山通小火

二十七日午後八時十分ごろ市內大山通七九番地田尻宗三郎方釜所から出火消防署の出動で直ちに消し止めたが原因は煙突掃除の不完全から

天氣豫報

南西の風 晴後曇　二十九日

各地溫度

	廿八日午前十一時	昨日の最低
大連	一五、一	六、六
旅順	一三、六	五、三
奉天	一一、四	七、二
營口	一二、五	五、七
長春	八、八	一、〇

武門血笑記 (129)

下村悦夫作　布施長春挿畫

暗夜行 (三)

善右衛門と、照枝の二人が大ころのやうに身を屈めて、忍び込んだのは、主殿達の聲の聞える書院の縁側の下であつた。

縁側から奥の床下には岩乗な様木が塡つてゐて入る事は出來なかつたが、二人の頭の上の部屋で、大聲に喋舌つてゐる主殿の聲は、四邊が靜かなだけに、二人の耳には、手に取るやうに聞えた。

「どうぢや、穴藏の中の居心地は。まる一日飲まず食はずで暗闇の中に座つてゐては、少々參つたであらう喃、はつはつはつ……」

と、高笑ひ、主殿の話聲はまた續く。

「だが、其方も仲々の奴、一筋繩では白狀しまい、今其方の會ひたい女をこれへ連れて來て、見せてやらう」

と、主殿は、家來に何かを命ずる樣子。

枝達の隱れてゐる處よりも、もつと低い地の中から聞えて來る。

「何に？」

「見よ、人非人、一歩でも動くさ撃つぞッ」

「あッ」

「御前！」

「此奴！」

「己ッ！」

主殿と、家來達の憤怒と、驚きの聲が入り亂れた。

「騷ぐなッ、騷ぐと撃つぞ、この隙からこうして狙へば、その左の手を釣つた白木繃が丁度よい的ぢや、はつはつはつ……」

作樂の大膽不敵な笑ひ聲。

「が、まあ聞け、公儀直參、然も高祿を食む旗本ともあらう者が、か弱き婦女子を捕へ、それを囮に天下の機徽を探らうとする、その愚や笑ふべしぢや」

「だ、默れッ」

主殿の叩ゆるやうな怒號。

飽くまでもその女を斬られると云ふならば、郡谷殿、貴殿の命は、この一發で申し受ける迄ぢや！」

作樂の身命を賭した烈々として火を吐くやうな熱辯、然も、條理整然たる言葉に、主殿を初め家來の者は、氣を呑まれたと見えて、暫くの間はぷつつりと云ふ者もない。

話の樣子で、主殿が穴藏の中の作樂に云つてゐることは解るが、作樂の聲は、どうしたものかぷつつりとも聞えない。

間もなく、家來の者が、何處からかお梨花を連れて來たと見えて

「うむ、女をこれへ連れて參れ」

と主殿の聲。

「どうぢや、見えるか、よく見ろ其方が命を的に奪ひ返しに來た女ぢや、うむよし、で――そちが、どうしても、江戸へ來た用件を明かさず、あの女の居所も知らさぬと云ふなれば、この女の首を打ち落す迄ぢや、そちの健氣な心に免じて首だけは呉れてやるから、十日でも二十日でも、飲まず食はずで命の續く限り可愛がつてやるがいゝ、はつはつはつ、さあ返事をしろ」

飽くまでも殘忍性を帶びた主殿の物凄い聲で、と、續いて、ヒユウと風を切る太刀音、主殿が刀の鞘を拂つて、秘藏の大業光に素振を呉れたものらしい。

照枝は、はつとして、高鳴る胸を抱きしめて、息を呑んだ。

と、その瞬間――

「待てッ！」

四邊に響く作樂の凛然たる叫び聲、穴藏の底に居ると見えて、地

「一葉落ちて天下の秋を知る、貴殿等の行動を見れば、徳川の末路押して知るべしぢや、その婦人は拙者達の計畫には何の關係もない御人、然も貴殿の愛妾お蓮の爲めにその父親を騙し打ちにされた可憐な婦人ぢや、拙者がこの婦人を救ひに參つたのは、師の恩義に報いんとする私の義心に外ならぬ。貴殿若し一片の武士らしい魂をお持ち合せなら、その婦人はお放し願ひたい。さすれば拙者は默つてこの穴藏の中で瞑目する。が、

∞この姉を見よ∞

「一白舍の弟殺し」と同じスタッフによる河合の弗箱映畫として大衆的に期待さるゝ姉弟愛を描いた現代劇琴糸路松尾文人主演（寶館上映）

ル・ミリオン

佛トピス映畫
映樂館上映

再びルネ、クレエルの聲映である音と繪とによつて巴里の抒情詩を物して、成功した「巴里の屋根の下」の監督ルネクレエルだ、充分なる期待を持つて「百萬」を見る、先づ第一に驚かされるのはルネケルエルの偉大なる力だ「巴里の屋根の下」を通して彼を知る人の殆ど全ては「巴里の屋根の下」の要素を「百萬」にも豫期するであらうが、彼はその他の物によつて「百萬」を構成し、而も充分なる成功を收めてゐる

大體この「百萬」の根本はナンセンスに主題を採つてゐる、これだけでも「巴里の屋根の下」と全く異つてゐる處へ更にオペレツタの手法、泥棒もコオラス、それから追ひ駈ける警官もコオラス、借金とりも朗らかに歌つて來る、完全なオペレツトであつて、アメリカ映畫に見られぬ愉快な演出、ルネ、クレエルの新しき一面だ

音と繪のシンクロナイゼーションの廢止は「巴里の屋根の下」に於ても少しく用ひられてゐたが、「百萬」ではさかんに用ひられてゐる、心理の描寫は繪は少しも動かず、全部音響によつて進められてゐると云つてもよい程だ、確にルネ、クレエル獨特のトーキー手法で、又非常に效果的でもある、その他彼の藝術的氣質は到る處に見られる、例へば夢と現實を對稱した歡喜舞臺の場面の如き、ほゝえましくも、又忘れ難い印象を與へるに充分だ

物語りは至極簡單で、或る貧乏畫家（ルネ、ルフエヴル）は百萬圓の富籤に當るが、何時の間にかそれを入れた上着が盜まれそれを取り返すために畫家とその戀人の踊り子（アンナ、ベラ）が大騷ぎをして、漸く百萬圓の富を得る、その祝賀宴の當夜餘りの騷々しさに寢られぬ二人の貧乏藝術家が宴會場の天窓からのぞき込む所より物語りは始まり、祝宴の騷ぎの中より幸運なる畫家の一齊を知る所で終りとなる

俳優中主演のルネ、ルフエヴルは初めてだが輕快な藝風を持つており、アンナ、ベラは些か淋しいが清楚でよい、たゞ全體を通じて餘りにフランス的な氣分が多く、又構成が餘りにこりすぎて些かむつかしく、萬人に向くとは斷言出來ない、但し眞の映畫ファンは滯石ルネ、クレエルだと彼の才能を讃えるであらう

あす天長節に晝夜二回公演
常盤座の河合ダンス

常盤座に出演中の河合ダンスはいよいよその眞價が廣く知られ出し昨夜の如きは階上階下とも大入滿員の盛況で好評を博してゐるが、明廿九日は天長節につき特に晝夜二回興行をなすことになつた、プログラムは晝夜とも同じである

本社主催で座談會
社員倶樂部で

常盤座に出演中の河合ダンスは本格的舞踊藝術に精進する我國舞踊界の女王として各方面の興味を集めつゝあるので、本社では踊薬をはじめ一行の人々からその舞踊談を聞き河合ダンスのスターを紹介するために來る三十日午後四時から大連滿鐵社員倶樂部食堂に於て河合ダンス歡迎座談會を催すことになつた、會費は五十錢で簡單な食事の用意がある、なほ參會者は當日會場入口でも受付けるが、なるべく三十日正午までに本社販賣部（四七六七）常盤座文藝部（二二二九三）大連滿鐵社員倶樂部（八一三一）へハガキ或は電話で申込まれたい

故清元延益富の追善會開催

清元富壽太夫、同延美佐榮、小野鬼笑その他清元研究會同人の發起で今二八日午後六時から「ほていにて故清元延益富師追善會を開催する

勸進帳に出囃子

大連劇場の花柳春幸一座のお名殘狂言の内「勸進帳」に逢郎相生のおでこ、一力の踊薬、芙蓉樓の三勝、若駒が出囃子出演する

帝國館の「彌太郎笠」は二日目に至り果然河合ダンスの大敵をとなつて見事にヒットして出たが▲けふからは滿電バスとのタイアップで電車内でも宣傳を始めた▲それに「肉彈三勇士」が運れ乍ら不思議な程、人氣を集め若ケ代合唱の場面が映るや、館內どこからともなく脫帽の聲が起る▲それに追悼會の貨寫で大谷尊由師が出るので善男善女を喜ばしてゐる▲一方常盤座の河合ダンスも三日目に入り果然大入滿員の物凄い人氣で次から次へと總見で賑はつてゐる▲第一夜の本社招待會、昨夜の遼紙大連新聞社の招待會、明日はバテー倶樂部等、春の踊りらしい氣分を釀してゐる▲大日活は東活映畫の新契約で五月から大阪おちの新しい番組が配給されることになつた

會社數は增加して資本金は却て減少

六年末の大連管內會社現勢

大連民政署管內に本店を置く六年末現在の會社の狀況を見るに會社數七百七十、同資本金額七億三千六百二萬五百十四圓その拂込出資金五億五千三百四十二萬六千五百四十七圓にしてその內譯は（單位千圓）

種別	會社數	資本金	出資金
合名會社	二五五	九,三〇九	九,三〇九
合資會社	三三三	一九,二四五	一九,二四五
株式會社	一八二	七〇七,四六五	五二四,八七一
合計	七七〇	七三六,〇二〇	五五三,四二六

而して同年中會社の新設八十三社その資本金一百六十二萬九千四百圓に對し解散せるもの三十六社、その資本金一千萬六千三百二十圓差引前年末に比して社數は四十四社の增加を示してゐるが資本金は却て一千百三十六萬六千四百圓の減少となつてゐる、元來會社數は逐年增加の傾向を辿つてゐるが、好景氣時代に濫設せられたる會社依然として名義のみ存し所在さへ判明せざる所謂泡沫會社多く、且又長期に亘る財界不況に壓せられて個人信用の失墜に由る經營困難より脫する對策として會社組織に變更し以て責任の回避策とし、或は小資本を糾合して競爭場裡に抗せんとす等のため、この種會社增設盛となる結果會社數增加を呈せるも、資本金は却て減少の傾向を示したものである、而して財界の極度の疲弊によつて內容不良の會社にありては整理の已むを得なきに至りたるもの、また個人經營に等しき合資會社の動搖甚だしく資本金漸減を來してゐるが、一方基礎の堅實なる會社にありてはこの不況の際にありても逐次內容を改善し、經營の合理化を劃し、比較的順調なる道程を辿つて居り業績も好轉相當の成績を擧げてゐる、今同年中の會社設立、解散等の動靜を種類別に摘記すれば左の如くである（單位千圓）

▲設立	會社數	資本金	出資金
合名會社	五	三六	三六
合資會社	七一	一〇三	一〇三
株式會社	四	一,五〇〇	一〇二
計	八〇	一,六三九	一,二四一

▲增資	會社數	資本金	出資金
合名會社	一	一三	一三
合資會社	一	四〇〇	四〇一
株式會社	二	七一三	八〇〇
計			

▲解散	會社數	資本金	出資金
合名會社	二	四	四
合資會社	二九	七〇七	七〇七
株式會社	五	九,三三五	一,七七五
計	三六	一〇,〇〇六	二,三六六

▲減資	會社數	資本金	出資金
合名會社	一	一	一
合資會社	一	一	一
株式會社	四	三,五三三	二,三三五

大連管內二月の工業品生產狀況

操業工場生產額減少

大連民政署商工係調査による二月中同管內工業品、生產統計によれば、各種工場を通じて製品別操業工場數百十四、生產品種數八十六種、その總生產額は二百六十萬二千四百六十九圓にして販賣價格二百十四萬九千百三十二圓、同月末現在在庫高二百十九萬五千九百十八圓となりこれを前月に比すれば操業工場數は二を減じ、生產種目四を增、生產價格は三千四百十六圓を減、販賣價格に於て三十四萬六千八百五十三圓を增、月末在庫高は五萬九千二百四十六圓を增してゐる、今各工業別にその生產、販賣價格を示せば（工場渡値段單位圓）

	生產價額	販賣價額
紡織工業	三九,二六六	三三,一六二
金屬工業	六〇,七七三	六五,九二四
機械器具工業	八一,八六四	八一,四六四
窯業	一三八,七七九	二〇八,一六九
化學工業	六一九,四一三	
油房	六〇二,〇二八	
其他	一七五,一六五	
製材木製品工業	二〇四,一〇四	二一三,四八六
食糧品工業	九六三,三八〇	一一六,〇五四
雜工業	五〇,四〇三	四七,三六八
計	五〇,四〇三	二,一四九,一三三

（註）右の中油房製產品工業品は混保により販賣價額不明につき販賣價額は略す

而して以上販賣價額の主なる仕向地別を示せば

	金額	對前月增減
州內	七四四,〇六八	△一二八,五四〇
沿線其他	一八八,六六九	一九,四四〇
支那本土	四六,三三六	△四五,二六一
朝鮮	一八,九四〇	六八,四五六
日本內地	六三七,〇六一	三四一,一二九
臺灣	六九,五二六	△五,三三〇
海外	三〇四,三三二	一八六,七〇〇

スチール普通株無配

【ニユーヨーク廿七日發】ユー、エス・スチール社は二十六日重役會で普通株無配當を決定したが優先株への配當を支拂つた後は一千九百萬弗の赤字となつてゐる事は別に市場に影響を及ぼさなかつた、本日のスチール株引値は八分の七弗高の二十九弗四分の三であつた

獨國立銀行利下

【ベルリン二十七日發】ドイツ國立銀行中央委員會は本日公定割引を五分半から五分に引下げる模樣

獨逸帝銀利下

【ベルリン二十七日發】ドイツ帝國銀行は本日公定割引步合を五分半から五分に引下げた

見本市華商招待豫定數增加

希望者豫想外に多數

六月末奉天にて開かれる第三回滿洲見本市の招待狀は今少しく會期迫りて發せられるが滿鐵沿線附屬地外の華商招待數は例年の出席數に鑑み大體六十人見當に割當てられてをり各地輸入組合にて關係方面の機關と打合せして招待することになつてゐる、然るに今日まで各地組合が奧地における日滿各種機關と連絡照合したところによれば、本年度における出席希望は想像以上に多數且熱心なるものあり、豫定數六十を以てしては到底充たし得ないことが分明したといはれる、而して右は滿洲國成立により華商の日本商品に對する直接的注目が加はりたる一方、開催地が奉天に進出せしためなるべくその約定高の多少はともかくとして滿洲見本市が根本精神とする日滿貿易の振興上、奧地に知られるだけでも喜ばしきことである、而して右豫定數は融通の利くものであるから成るべく必要數まで增加されるであらう

人絹賣行不振

【大阪二十八日發】人絹は春物實需と夏物の假需要期に入つたが地方農村が極度に疲弊せるため購買力著るしく減退し割安の綿製品に需要を奪はれて目立つた取引なく市況は頗る不活潑である

滿鐵から改良種子貸付

開原實業局へ

開原實業局に於ては新國家建設の本義に基き農民の福利增進を圖り過般來舊辦法を改訂或は新規辦法を制定公布し着々其の實績を擧げつゝあるが今回更に轄下農產業の發展助長を圖るため開原地方事務所に改良種子借用方を申込んだが過日開原苗圃保管中の大豆八石二斗、粟四十八石、陸稻五石、合計六十一石二斗の融通を受けたので實業局では二十四日より希望者に種子の貸與取扱ひを開始した【開原發】

營口は現在以上貨物の收容困難

營口の貨物收容狀況

日本郵船大連出張所輸出入主任小野六郎氏は遞信省管船局監理課長小野征氏と同伴、營口に於ける貨物の收容及積取りの實情を視察中であつたが二十七日歸連左の如く語る

石炭の積取りは別として營口の貨物收容能力は倉庫及野積を合して約八萬噸程度に過ぎない、一方積取船の關係をみるに淺瀨の關係から大型船の入港が困難であり、且つ入港しても吃水の關係からせいぜい三千噸程度しか積込めない、且つ棧橋の設備も不完全であるから、大連の如くに晝夜何れの時を問はず入港又は出港するといふことが不可能である、從つて今日のように營口に仕向けの貨物が增大すれば直ちに貨物の氾濫を來しその收容に困難を來すことになる、現に營口には貨物充滿のためこれ以上の收容が困難であるから奧地より營口仕向けの貨物に對しては運着承認の條件を以て國際運輸でも引受けてゐるが滿鐵でも適宜に營口向貨物に制限を加へてゐるやうである

なり就中我が大連地方は奧地の如く滿洲炭を利用する能はず、去りとて他の海路割安炭を輸入せんとせば滿鐵會社が準頭を獨占經營せるため事實困難に陷り割高の撫順炭を使用するの外なきなり

臺灣の富豪が滿洲に投資

林氏の代表楊氏來滿

滿洲國視察團は便船毎にあらゆる方面から頻りに來滿するが廿八日入港の香港丸で珍らしく臺灣における資產家林熊詳氏の代表として楊三多氏外二名が新興滿洲國の視察に來滿した、楊氏は流暢な日本語で語る

單なる視察ですよ、山岡長官には牧野大審院長の紹介狀を頂いて居ますからすぐにでも旅順に行きます、そして何か適當な仕事があつたら大いに投資して事業を起したい希望です、今のところこれと云ふ具體的な方針はありませんが、視察の上決定します、長春、奉天を見て一應歸連上海に渡つて福州を經て臺灣に歸ります

一行は直に旅順に向つた

炭價引下の陳情

商議、關係方面に提出

滿蒙新國家の建設と共に從來のあらゆる繫は一掃され愈々滿蒙經濟開發に邁進せんとする秋に當り生產工業の原動力たる炭價は依然として割高なるまゝ放置せられるとすれば到底その發達は望み得られず且過去に於てこの種生產工業の大部分が未だ成績の擧はざるは一つには原料炭價の割高なるに起因して居り殊に滿蒙は炭礦を豐富に有し乍ら內地物よりも地場物の方が割高なる現狀にあり將來滿蒙の發達を熱望せんとするには先づ此不當な矯正し生產工業の原動力たる炭價の値下げを俟つて始めてその目的を達せられるものとし、大連商議に於てはこの程首相始め大藏、商工、農林、外務、拓務各大臣並に關東長官、滿鐵總裁に宛て陳情書を提出し深甚の考慮を煩はすこととなつたがその內容左の通りである

滿洲に於ける我が工業投資は大約三億圓を超へ五人以上の職工數を有する工場八百四十七其最近一ケ年に於ける生產額は約一億圓たり、然れども之を些細に點檢すれば今日尙其營業を繼續し利益を擧げつゝあるは多く獨占事業に屬し他は閉鎖するか否らざれば氣息奄々たり、我國が滿蒙開發に着手して以來既に二十有六年工業未だ幼稚の域を脫せず成績亦斯くの如く振はざるは勿論種々の原因あるべしと雖も工場の營養素たる炭價の割高なることも亦大なるものなり

◇

今や大滿洲國建設され日滿關係は從來の舊軍閥による排日不當課税止み將に黎明の感あり、此秋に於て國民は經濟自然の欲求に從ひ大に滿蒙開發に邁進せんとす、然れども滿洲における撫順炭地賣値段にして此際斷乎合理化せしむるにあらざれば到底在來工業の蘇生も新企業の勃興も期して待望すべからず、滿鐵會社の販賣する滿洲地賣炭の値段は別表に示すが如く甚だ割高にあるは甚だ寒心に不堪若し夫れ滿洲に於ける電力費の如き現在頗る高率なるも是れ全く原料炭價の割高なるに起因するものなるを以て地賣炭の値下は延て電力費の低下を促進するものとす、由來炭價の如き或は鐵道運賃の如き滿蒙に於ける產業の興廢消長の鍵鑰を把握するものは須からく滿蒙自體の實勢に卽應せしむるを要す、今滿洲の實情を靜觀し國運の前途に想到する時之を從來の取れる丈け取ると云ふ不徹底なる政策に推移するは所謂慢性不治の症狀に陷り終に再起の力を失ふに至るべし、滿蒙開發の要諦亦全く玆に存す

◇

事情斯くの如くなるを以て政府は日滿經濟の現狀並に其將來を通觀し速に滿洲に於ける撫順地賣炭の合理的値下を斷行さるゝ樣御取計相成度切望に不堪別表相添へ此段要請候也

撫順炭滿洲地賣値段

（昭和七年四月現在）

	切込	塊	粉
大連	一一,五〇	一三,〇〇	一〇,五〇
安東	一一,五〇	一三,〇〇	一〇,五〇
長春	一一,五〇	一三,〇〇	一〇,五〇
營口	九,五〇	一一,〇〇	八,五〇
奉天	八,五〇	一〇,〇〇	七,五〇

▲備考　持込料を含ます

證券界展望（下）

好轉の原因見出せず

常深隆二

金輸出の禁止は通貨の下落を意味するものであるけれ共、通貨の供給を意味するものでない、國際尻決濟は結局金貨で行はればならぬ故に通貨の發行は解禁當時と變らないのであるとは解禁當時よりも手段や政策を要する事は多いのである、元がない丈け發行にもそれ丈多く骨が折れるもので札さへ發行すればよいと云ふ具合のものでない、從つて一部で希望する樣な空想氣分作る膨脹策は野外モラトリアムを行はぬ限りこれを行ひ得る譯のものでない、また通貨を增加する事に依つて財界は恢復する筈のものでない、各個人の生活が收支を得るに至り、所得が增加し經濟事情なり國際收支が改善される後始めて購買力も起り通貨の膨脹もあり、爲替も自然に回復に向ふ事となり、こゝに始めて株式も騰貴すべき順序となるものである。

然るにわが國の對外收支を見るに從來年々一億圓以上の新規借入に依つてつじつまが合つてゐたのであるが、現在の世界金融狀態や對外信用から見る限り、新規借款は勿論、期限のものは返金を要求さるゝものと考へる外ない、而してこの元利支拂金は來年三月迄に約三億圓を要するのである、一方貿易關係を見るに、生絲は依然として安い、對米輸出ははかぐくしくない、金輸出禁止以來安い原料手持と、賃銀の實質的下落の結果やゝ活潑なる輸出を見たるも、今後はたゞ賃銀安の利益あるのみである、支那市場は假へ上海事件が圓滿解決を見る共、揚子江沿岸の大水害と、久しき內亂と、世界的低物價の今日、支那に購買力を求める事は出來ない、內地物價高と輸出見越しで輸入された多額の原料品はストックとなつて常に內地市場を壓迫するものと見る外ない、金輸出禁止によつて貿易の改善の效果はあつたけれ共、生絲を始め國內生產品は高くないに反し、原料を輸入するもののみが爲替につれて高くなつてゐることから見て大した期待はもてないかも知れぬ將來貿易は改善するであらうけれ共、それは悲觀するに及ばぬといふ程度で、國際收入を好轉せしめる程の望みはもてそうにない。

國內の金融狀況を見るに、資金は一部金融資本家の占むる所となり地方金融は極度に引締り、之れを救濟するも政府より金を出して中央金融資本家に渡る結果となり、何等金融を助くるものとならない日支事件費や赤字公債は日本銀行や預金部に於いて引受けるにしても、民間から郵便貯金で吸收し政府預金を引上げることゝなつて通貨の膨にも金融の弛ゆるみにも效果は少い、そしてその金は國外で使ふ事となる、滿鐵の對外拂の資金等も、內地金融市場から引上げらるものであるとすれば、金は出るばかりで入るものはない、滿蒙に對しても放資金が幾分輸出を促進する位のもので滿蒙土民自體には購買力は今分にではないと見る外ない、斯の如く見るならば金輸出を禁止したからと云つて、どこに樂觀すべきものがあるか、やはり國內景氣と云へ共、世界より孤立し得るものでない、故に米國を始め世界の景氣が直り財政の收支が保たれ、日支事件が圓滿解決して國外の出貿が省かれ、對外信用を回復し、在外債も騰貴し、今日の如き政府の公債が外國にて一割以上東京電燈の社債が一割五分の利廻りにある樣では、內地で事業などするものはない、資金は逃避する一方であるからこれを改めることと、それには米國の金輸出禁止もあらうけれ共、先づ自ら國替が海外投資を不可能にする迄下げることであつて、今日の如く高い處に爲替をおくことは金輸出禁止を決行した今日に於いて財界惡化の原因が依然存在することゝなるのである、要するに株價の騰貴もこれ等の條件が改善さるゝか、良い方に向つて來る見込みが立つかした時に始めて騰勢に向ふべきであつて、今日尙禁止以前の高値にあり、アメリカの一層惡化してゐるに比して見れば金輸出禁止の效果は充分表はれてゐるものでそれ以上次から次と高くなるものと考へる事は間違ひでありはせぬか自分は依然財界は好轉してない、三月よりの下落を反落と見ない。大勢は世界的動きに從つてまだ遠い過程にあるものと見る、そして世界的に好轉の原因が未だ見出すことが出來ないのである（終り）

各地小賣物價

關東廳調査

奉天　奉天に於ける昭和七年四月分の小賣物價を同月十五日現在に依り主なる日用品三十六種に付調査するに其の概要次の如し

一、前月に比し一分四厘下落
一、前年同月に比し三分二厘下落
一、昭和五年一月に比し二割一分下落

前月に比し騰落したる品目如し（保合二十三種）

騰貴四種……白砂糖（九分）味の素（五分）鰹節（六分七厘）豚肉（四分二厘）

下落八種……鷄卵（二割）椎茸（一割）牛肉（一割）毛絲（一割）五厘）白米無檢（五分六厘）印（五分六厘）豚肉（三分八厘）（四分八厘）綿（二分八厘）

尙類別に依る指數を示せば左の如し

	前月を一〇〇とす	前年同月を一〇〇とす
食料品（十種）	九四,〇	
調味料（九種）	一〇三,四	
飲料及嗜好品（七種）	一〇〇,〇	
衣料品（七種）	九八,八	
燃料（二種）	一〇〇,〇	
總平均（三十五種）	九六,六	

營口　營口に於ける昭和七年四月分の小賣物價を同月十五日現在に依り主なる日用品三十五種に付調査するに其の概要次の如し

	前月を一〇〇とす	前年同月を一〇〇とす
食料品（十種）		
調味料（九種）	九三,八	
飲料及嗜好品（八種）	一〇〇,〇	
衣料品（六種）	九八,〇	
燃料（二種）	一〇〇,〇	
總平均（三十五種）	九七,八	

四平街　四平街に於ける昭和七年四月分小賣物價を同月十五日現在に依り主なる日用品三十六種に付調査するに其の概要次の如し

一、前月に比し二分一厘下落
一、前年同月に比し二分騰貴
一、昭和五年一月に比し指數六節一割六分四厘下落

前月に比し騰落したる品目如し（保合三十種）

下落五種……鷄卵（四割）椎茸（二分五厘）晒木綿（八分三厘）白米無檢査一等（四厘）モスリン（三分四厘）

尙類別に依る指數を示せば

	前月を一〇〇とす	前年同月を一〇〇とす
食料品（十種）	九九,三	
調味料（九種）	九九,八	
飲料嗜好品（八種）	九七,七	
衣料品（七種）	一〇〇,一	
燃料（二種）	一〇一,一	
總平均（三十六種）	九八,一	

市場電報（廿八日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一七片十六分三
同　先物	一七片四分一
紐育銀塊	二七仙八分七
孟買銀塊	五五留比八分五
スチール	三六弗八分七
アナコンダ	五弗八分一
英米爲替	三弗六六仙四分一
米日爲替	三一弗三三仙
米支爲替	二一弗八分一

神戶日米

	賣	買
第一回	三弗八分一	三弗八分三
第二回	三弗四分一	三弗十六分七
第三回	三弗四分一	三弗十六分七

棉花

株式

市況（廿八日）

當市强保合

內地總らす

上海爲替情報

手形交換高

上海標金

五品雜觀

滿鐵株（保合）

鈔取引

滿洲日報

仰ぐもかしこし けふ天長の佳節
政務に御精勵、御健康愈よ御增進
聖上陛下の御日常

かけまくもかしこし、今上陛下には御登極以來旣に七年、益々政務に御精勵あらせられ、御健康愈々御增進あらせらるゝは萬民の齊しく歡喜極まりなきところである、玆に謹んで聖上陛下の御日常を記し奉り、今日の佳き日を祝ひ奉る次第である。

☆★御政務★☆

今上陛下には萬機を御親裁あらせられ日々の御政務極めて御多忙にあらせられ、殊に滿洲事變、上海事變以來その御多忙は申すもおそれおほく、內閣、陸海軍、宮內省その他より續々奏呈せらるゝ上奏書を一々詳細に御覽のうへ御裁可あらせられ、御署名を要するものには御親書あらせらる、重要政務に就ては內閣總理大臣、又は所管の各省大臣、或は參謀總長、軍令部長或は宮內大臣、內大臣等に一々拜謁を賜ひ、御直々にその內奏を御聽取あらせらる。政務に關する案件なかんづく事變以來軍務に關しては急速處理を仰ぐもの尠からずしてその上奏は早朝より深夜に、或は深夜より早朝に亘り、時を選ばず御前に差上ぐる次第である。案件は一日に數十の多きにのぼることゝ屢々にしてその御精勵眞に恐催に堪へないものがある。なほ樞密院本會議開會せらるゝ場合には、御差支なき限り臨御あらせられ、皇族會議開かるゝ場合には必ず親臨あらせられ、會議を御親裁遊ばさる。

☆★御祭祀★☆

陛下には敬神の大御心特に深厚におはしまし、毎月一日、十一日、廿一日の早朝には、御潔齋の上必ず賢所、皇靈殿、神殿に御親拜あらせらる。右毎月十一日、二十一日にも必ず御親拜あらせらるゝ御事は今上陛下の深き御思召により御始めあらせられしことにて、前代までは一日のみ、陛下の御親拜ありしものと承はる、なほ御平常も御朝餐必ず御拜所に出御ましまし、伊勢神宮に御遙拜あらせらる。その他皇室祭祀令に定められたる御祭日にあたつては、齋戒沐浴あらせられたるうへ賢所、皇靈殿、神殿に御親拜あらせらる。四方拜の時に當つては一月一日拂曉神嘉殿前庭に出御、天地四方を御親拜あつて國家の隆昌と國民の幸福を御祈念あらせらる、新嘗祭は又最も重き御祭りの一として、夕の御祭、曉の御祭の二つを御親祭あらせられ、前後四時間に亘り神嘉殿に御端座のうへ、天照大神を始め、天神地祇を御祀りあらせられ、國土豐穰萬民多幸を御祈念、翌朝に至る迄御親祭あらせらる。其の他屢々明治神宮、靖國神社等に御參拜あらせられ、明治大帝の御威勳をお偲びになり、忠勇義烈花と散つた將兵の靈をお慰め給ふ。

☆★御儀式★☆

四大節に於ては、文武百官及び外國使臣の拜賀を受けさせられ、なほこれ等の人々に御陪宴を賜はる。又一月には政治、講書始、歌會始の諸儀式を佳例として行はせらる。その外締盟國より大使公使の新任狀捧呈の儀式、皇族方御成年に達せられたるさき及び御婚儀のさき、又は臣籍に降下せらるゝ場合等には、朝見の儀式を行はせらる、尙內閣總理大臣以下親任官を任命あらせらるゝ場合陸海軍將官を親補せらるゝ場合には、親任または親補の式を擧げさせられ、臣下に爵を賜ふさきは授爵式を、勳一等以上の勳章を賜はるさきには勳章親授式を擧げさせらる。

☆★賜謁★☆

締盟國より大使公使館附武官等が歸任したるさき、又は離任するさき、その他外國知名の士で特に天機奉伺を許され參內するさきには一々これを御引見あらせられ、親しく御言葉を賜はる。特に大公使には御陪食を賜り締盟國に對する御交誼を厚く遊ばさるゝことも屢々である。外國の皇族が來朝せられた場合には、特に御歡待遊ばされその御泊所に行幸あらせられ又は御會食等を御催しあらせらる。なほ毎年國務大臣、樞密顧問官、大臣禮遇等の重臣、或は地方長官會議に列席する各府縣知事、陸海軍將官會議に列席する師團長、旅團長、司令長官、司令官、各大學總長、司法官會議に列席する裁判所長、檢事正等には御陪食を賜ひ、種々その所管事務等につき御聽取あらせらる、その他各省にて開催する會議に列席の諸官、又は外國に出發及び外國より歸朝の文武官等に拜謁を賜ふ、又四月には新宿御苑で觀櫻の御宴を、十一月には同所で觀菊の御宴を御催しあらせられ、外交團文武諸官その他を召させられ酒饌を賜はる。秩父宮、高松宮、澄宮の御弟宮を始め、皇族方を屢々御招きあつて極めて御睦まじく御物語等あらせられ、屢々御會食も遊ばさる。皇族方天機奉伺に御參內の際にも一々御對顏あらせらる。

☆★行幸★☆

帝國議會開院式、陸軍觀兵式、天長節觀兵式、陸海軍大學校、陸軍士官學校、學習院等の卒業式、陸軍記念日、海軍記念日等には恒例として行幸仰出される。陸軍大演習、海軍大演習にはその演習地に行幸仰出されて、親しく演習を御統裁遊ばされる、また諸地方に行幸民情を親しく御視察あらせらる。これ等は一に地方振作、學問、產業工藝、體育等の御獎勵の御思召に基くものである。又學生、生徒、青年團、處女會、在鄕軍人團、消防組等を御親閱あらせられその士氣を鼓舞あらせらる。

☆★御研究★☆

上述せる如く、御公務御多忙なる御身にあらせらるゝが、なほ御修養、御研鑽は一日も御等閑に遊ばされず、定時にはそれぞれ行政法、皇室令、陸海軍軍事學の御進講を聞召され、その他百般に亘り、その道に造詣深き者を召させられ研究又は見聞等につき御聽取あらせらる。なほ御讀書にも深く御心を用ひさせ給ひ、日々の諸新聞をも詳しく御覽あらせられ其他新刊の書物、雜誌等も各方面に亘つて御覽あらせられ、御勉學のほどは誠に學徒にさつて御模範さ仰ぎ奉るべく、殊に御趣味さして、生物學の御造詣深くましまし、御專門の域に深く入らせらる。

☆★御運動★☆

陛下には努めて御閑暇を御利用あらせられ、戶外御運動を遊ばさる、御運動は御乘馬を主さ遊ばされ、極めて御練達にまします。そのほかゴルフ、水泳等にも御熟練遊ばされ、那須御用邸に御避暑の節には乘馬、ゴルフ等の御運動あり御心身を御鍛練あらせらる。

☆★御孝道★☆

皇太后陛下に對し給ひ、御孝心極めて御深く亘らせられ、屢々大宮御所へ行幸仰出され、皇太后陛下の御機嫌を御伺ひあらせらる。又皇太后陛下にも宮城への行啓を御願ひあらせられ、種々御孝養を御盡しあらせらる、地方行幸に際しても御自ら、皇太后陛下への御土產物を御選定あらせらる。大正天皇御陵へは、毎月御命日には必ず御使を御差遣あらせられ、又屢々御陵に御親拜あらせらる。

☆★御慈愛★☆

御奧には、皇后陛下、照宮、孝宮、順宮の三內親王殿下在らせられ、其の御團欒のかしこき御有樣、感激に咽ぶばかりに拜し奉る。下々に對しての御仁慈、御寬大の御高德の數々一々申すも畏く、只々感激の外なし。陛下には、常に下萬民の幸福を御念願あらせられ、各種の獎勵事業、社會事業等には特別の御思召により、屢々御內帑金を賜ひ、又各地方に於ける暴風雨火災の災害著るしき場合に際しては、莫大なる御內帑金を御下賜あらせらるゝ外侍從御差遣其の狀況を親察せしめ給ひ、又罹災民を御慰問あらせらる。事變以來將兵に對する陛下の御軫念は殊の外深く侍從を御差遣あつて負傷將兵を御見舞遊ばされ、有難き御言葉を賜ふ。

★　★

以上謹述する所は、今上陛下御日常の一端でありますが、これ總て國家の隆昌さ、國民の幸福さを御念慮あらせらるゝ大御心の御發露にましまし、萬民の感激措く能はざる所であります。

颯爽たる御馬上の聖上陛下

御寫眞說明

（上）政務を親はせ給ふ聖上陛下（中）左――御研究室の聖上陛下（中）右――海軍服をお召の聖上陛下（下）フロックコートお召の聖上陛下――攝政殿下御當時拜寫――

奉祝天長節

昭和の大御代も第七年の春を迎へて、玆に 聖上第三十一回の御誕辰を祝し奉るべき日さなつた。いふ迄もなく我國が世界無比の國體を有し、二千五百有餘年間、金甌無缺の名實を兼ね誇る所以のものは、固より皇祖皇宗の大謨、能くその遺光を萬世に照耀して赫々たる爲ではあるが、而も歷世の君主が英邁相繼ぎ、臣民亦王家の明德を翼贊して渝るなき故でもある。この特色は殊に明治大帝以後の國運において大に發揮された。過去七十年間の世界は非常な變化さ進步さを見た。而してこの推移は近代文明の刺戟に因つて層一層急激に行はれたが、之に追隨し、飽和し、雁馳した日本の發達は、その久しく東海の孤島に獨存して居たゞけ、目眩ましい速度を以て實現されたのである其處に全國民心の淸新蹄勃たる姿を認むべきだが、之を指導誘掖して驚くべき成績を擧げ得たのは、一に三代を通じて、皇謨の卓越した光被力があつたからに外ならぬ。

◇

年に就いて明治、大正の史蹟を回想するに、明治七年は、王政復古後の國情未だ騷然たるものがあつた。一月岩倉具視公が兇徒の手に傷つき、二月佐賀の亂が勃發し、四月臺灣征討の師が簡派されたなど、以てその一班を窺ふに足る。其後四十五年にして大正に入つたが、其第七年における我國の情勢を見るに、當時歐洲大戰の末期における好景氣はあつたが、シベリア出兵があり、米騷動があつて、天下は相當不慮の事件に忙殺された。就中十二月大戰役休戰條約の締結成り、ベルサイユ派遣の使節が任命されたなど、內外共に特筆すべき事蹟は少なくなかつた而して更に年號の改まつた昭和七年今日の情勢如何さ見るに、日本が直面せる內外の形勢は、意義において前世のそれに幾倍する重要味を包藏してゐる。昨年以來の滿洲事件は、その世界的影響において、歐洲大戰勃發當時を想起させるものがあつた壞塞の抗爭は遂に彼の如き波動を惹起すべく豫期されなかつたかも知らぬが、最近の時局は、さうした萬一の場合を豫期しても、吾々日本人をして、不退轉の英氣を奮つて正義の主張を貫徹すべく、上下の覺悟を一決せしめた。而して歷代の皇謨さ陛下の御稜威さを奉承して、東洋積年の暗雲を掃蕩すべく發憤興起したのである。

◇

この君民一致の大主張は、理において列強の抗議を折伏して東北アジアの一角に獨立國滿洲が出現する主因さなつたが、これに因つて獨り日本內國の趨向のみならず、支那民國並に世界の大勢に著しい變化を與へんさして居る。識者は夙に昭和の大御代は、日本に第二の維新を來すべき運命を暗示して居るさ唱へたが、さうした暗示の第一閃が最近の出來事に象徵されるやうにも考へられる。天の大任を下さんさするや、先づ與ふるに大難を以てする。故にこれを受くるものに[illegible]それが國家的なるさ個人的なるさを問はず、非常な覺悟さ努力さを必要さする。日本が今や逢着した事業は卽ちそれであつて、この秋に際して聖明 今上陛下の在すあり。その最も欽慕し給ふ明治大帝の遺訓を繼承し、忠勇なる臣民を砥礪して之を中外に發揚し給はんさするは、吾人の深く奢鑒拜察すべき大局面である。

◇

今や天長の佳節に當り 陛下玉體益々康健に在まし、高殿に登臨して民庶の炊烟を望み、內外の群臣を招請して陽春の和光を賞し給ふ。これ聽て國運の隆昌を思念し、世界の平和に對して根本的解決を期待し給ふ大御心の象徵である。而して吾人が玆に遙かに聖壽の萬歲を祈り、益々國事に盡瘁せんさ欲する所以の趣旨も、亦一に懸つて其點にある。

我等軍人として一入聖代に感激

關東軍司令官 本庄繁中將謹話

伏して恭しく惟んみるに、今上陛下畏くも御資御英邁にわたらせられ、畏くも寶算滿三十一年を重ねさせられ、皇統連綿として天壤無窮、世界に比類なき金甌無缺の目出度き國體に君臨ましまして、竹の園生の彌榮えに榮えましまし、九重の紫雲たなびくあたり、瑞祥の氣八紘に遍照して、國威彌高に民彌幸に治めさせ賜ふ聖代に於て事變に當面せるわれらの爲にはこことは一入に身に染みて有難く感ぜらるゝ、われら軍人として、ただひたぶるに、大君の邊にこそ死なめさ、誓ひまつる心こころに、けふの佳き日を、空も裂けよさ、ことほぎまつる次第である（凸版は本庄軍司令官のサイン）

大御心に副ひ奉る赤誠と覺悟

滿鐵總裁 內田康哉伯謹話

本日天長節の佳辰を迎ふるに當り聖壽の萬歲さ國運の隆昌さを壽ぎ奉るはまことに欣喜抃舞に耐へざるところであります、御聖德內に充ち外に溢れ、國威愈々輝き、御親裁の御政務益々御多端に亘らせらる折柄、申し上ぐるも畏きことながら、聖上陛下におかせられては、殊に現下の重大なる滿洲の時局に關し日夜宸襟を煩はせ給ふを拜察致しまして、滿鐵經營の局に當るものさして洵に恐懼措く能はざる次第であります、顧みて滿洲の情勢を考へますに、滿洲國の成立に伴ひ、總ての事情は日を逐ふて好轉しては居りますが、然しながら匪賊跳梁跋扈は未だ全く終熄した譯ではなく、政治經濟の建設は今や漸くその緒につきたる狀況なるを以て、今後新國家と協力し治安の維持及び資源の開發に寄與し、以て東洋の平和と民族の繁榮の爲に、吾人において盡すべきの責務と、爲すべきの事業とは愈々多きを加ふる次第であります、故に吾等同胞は協力一致し、玆に一層の覺悟と赤心とを以て、公に盡し大御心に副ひ奉るやう心がくることが最も有意義に本日の佳節を讓賀し奉る所以であるを思ふのであります（凸版は內田總裁の書）

天長の佳節に際し所懷を述ぶ

關東長官 山岡萬之助氏謹話

旅順大連の地、櫻花爛漫として春色正に酣なるの佳候に當り、億兆仰慕の中心たる、わが天皇陛下第三十一回の御誕辰を祝し奉るは、實に在滿同胞の歡天喜地、慶賀措く能はざる所なり

伏して惟みるに、陛下叡聖文武の天資を以て、明治、大正の皇謨を紹述し給ひ、春秋まさに盛にして、玉體至健にましまし、夙夜萬機の政務に勵精したまひ、日新更張ひたすら大御心を民人の康福さ國運の發展さに用ひさせたまふ、昭和の日本はこの聖帝を仰ぎ奉りて愈々その元氣を加へ、君民一和の國體は、この至仁なる御統治によりて益々その光輝を添ふ。是實にわが國民の至幸至榮さする所にして、今日の佳辰に當り、感喜更に切なるものあり。況んや、身、滿洲に在りて、帝國發展の第一線に活動する者においてをや

今や滿蒙民族の自覺は現れて滿洲政府の建設さなり、王道の實現を標榜して門戶開放、人類共榮の理想に向つて、その步武を進め、東方民族の提攜融和は、更に吾人活動の天地を廣濶ならしめ、滿蒙の曠野を變じて、世界の樂園たらしむるの日、蓋し亦遠きにあらざらんさす。然りさ雖も、大事業の達成に當つては、必ず幾多の障碍、幾多の困難あるを豫想せざる可からず。わが國民たる者、この機運の到來を喜ぶさ同時に、又新に同胞の雙肩に重大なる責務の加はれるを思ひ、新興の力さ共に前途の障碍を排除し困難を克服し、又常に四海兄弟の精神を擴充して、共に產業を興し文化を進め、東方民族をして國家的障界を超越して春風駘蕩の花下に、その人道的發展を謳歌せしめざるべからず。希くは在滿の同胞諸君、今日の佳節に方り、仰いで陛下聖德の廣大無邊なるを思ひ、俯して吾人使命の重大なるを思ひ、感激奮勵、各其の分に應じ全力を傾注し、以て聖代の理想に邁進せんことを。東向再拜、謹んで聖壽の無疆を祝し奉り併せて所懷を述ぶ。

聖慮を奉體して 國體の精華發揚

大連市長 小川順之助氏謹話

本日天長の佳節に當り、天壤と共に窮まりなき聖壽の萬歲を御祈り申し上げ、至誠を捧げて奉祝の微忱を表し奉るは、私の洵に感激に堪へない所であります。

伏して惟ふに　聖上陛下には天禀の御英邁と神授の御健康とを以て一系連綿の皇統を踐ませ給ふてより、年と共に玉體愈々御健かに渉らせられ、至仁至慈の御乾德益々光輝を加へさせ給ふは、八千萬赤子の均しく歡喜景仰し奉る所であります。殊に陛下には夙に國民精神の涵養振作に大御心を傾けさせられ、御躬ら範を廣庶に垂れさせ給ひ、又政務御多端にて宵衣旰食の間、尙科學の御研究に御精進あらせられ、以て學界に御寄與あらせらるるなど、國民の齊しく恐懼感佩し奉る所であります。

而して我が帝國の國威八紘に輝き東亞の盟主として世界平和の保障たる所以のものは、一に　聖上陛下の御稜威によるものでありますが、又君臣一枝、仁衛義摩のわが國體の精華を發揚し、王道の大本を髣髴するに因由するものでありまして、今回の事變に際會して一層その感を深く致したやうな次第であります。

滿洲事變は正義に立脚せる皇軍の絕大なる威力と、一致團結せる國民の一大決意とにより、茲に一段落を告げ、三千萬民衆を基調とする滿洲新國家の建設を見たのでありますが、時局の前途は尙多事多難であらうと思はれます。吾々滿蒙の地に在るものは宜しく聖慮を奉體し、四海同胞の大義と人類福祉の增進に向つて、一段の緊張と奮勵とを思念し、以て聖恩の萬分の一に報い奉らむことを期すべきであらうと思ひます

茲に私は三十萬市民諸君と共に、聖上陛下第三十一回の御誕辰を迎へ、謹みて聖壽の萬歲と寶祚の無窮とをことほぎ奉り併せて皇室の御繁榮を慶祝し奉る次第であります。

聖節に方り 寶祚無窮を祈る

大連民政署長 竹內德亥氏謹話

本日畏くも今上陛下御誕辰の聖節に方り、謹んで聖壽の萬歲を壽ぎ奉る事は吾等帝國臣民の無上の光榮とする所であります。

恭しく惟みるに允文允武にわたらせ給ふ　聖上陛下には英邁の天資を以て萬機を簡はせ給ひ夙夜國事に軫慮を砕かせ給ふ、寶祚益々隆盛に皇威萬邦に輝き御聖德は夙に內外人の讚へ奉る所であります。

陛下には玉體彌々御健かに渉らせ給ひ御日常の御政務極めて御多端に渉らせ給ふにも拘らず御餘暇には御研究所に科學の御研鑽に御專念遊ばされ、その御精勵御躬範を群臣に垂れさせ給ふこと、誠に畏き所であります。殊に頃年內、思想混亂して歸一する所を知らず經濟界亦萎靡不振、外は滿洲事變、上海事變の勃發ありて、未曾有の難局に遭遇し國家正に多事多端の折柄、國民の福祉增進の爲めに、世界人類の平和確保の爲めに、御軫念遊ばされ、克く政府をしてその庶ふ所を宣示せさせ給ふ、その御鴻德の程拜し奉るも慨れ多い事であります。

竹の園生の御榮は申すも畏し、秩父宮殿下には昨年十一月陸軍大學を御卒業遊ばされ、高松宮同妃殿下には歐米の視察を了へられ、目出度御歸朝遊ばされ、澄宮殿下には本年陸軍幼年學校に、照宮內親王殿下には同じく學習院に御入學遊ばされ日々御通學の由漏れ承り誠に歡びに堪へざる所であります昨年九月以來暗雲低迷たりし滿蒙の天地も一陽來復と共に滿洲新國家生れ萬物喜々として甦らんとするのとき、滿洲の地にある吾等は宜しく陛下の御稜威を奉體し一段と緊張し既往を顧み現在を想ひ將來の覺悟に資する處がなくてはなりません。

茲に天長の佳節を迎へ寶祚の無窮を祈り皇室の御繁榮を壽ぎ奉る次第であります。

あすの停戰本會議で 正式調印の豫定

第一線の我軍移動開始

【上海特電廿八日發】停戰會議は三十日正式會議を開いて日支双方合意の上作成されたる條文を形式的に檢討するのみで直ちに正式調印を見るものと期待さる、我が軍部では既にその成立を見越し廿八日より第一線部隊の移動を開始した、軍の撤收に伴ふ不安を除くため我軍部は周到の注意を拂ひ前線より軍隊を後退せしむるもので、先づ南翔に在る第〇〇師團の一部を江灣に、嘉定に在る第〇〇師團の一部を吳淞に、寶山縣吳淞に在る第〇師團を閘北に、夫々協定地區迄集結せんとするものである全部の撤收完了は勿論協定中にもある如く一ケ月半乃至二ケ月を要するものと見らる

再開上海停戰會議は 十九國委員會と切離す

【東京二十七日發】十九ケ國委員會の横槍で暗礁に乘り上げて停頓狀態に陷つた停戰會議を再開すべく駐支英公使ランプソン氏が提議した新妥協案に關しては曩て重光公使より外務省に請訓中であつたが、芳澤外相は軍部その他と協議の結果支那側が誠意を以て會議再開に同意する限りランプソン氏の妥協案に基きて停戰會議を續開するに意見一致を見十九ケ國委員會とは別個に停戰會議を續行せしむるに決し二十七日早朝その旨重光公使に回訓し同時にジュネーヴの長岡代表へも右の旨通告した、かくて上海に於ける停戰會議は近く再開する事となつたが、**この間ランプソン英公使の奔走は注目すべきものあり支那側の豹變態度警戒のため停戰會議再開を十九ケ國委員會と切り離してなすことに同意する旨の承諾を又章にてなさしむる等極めて愼重な態度で**奔走したものである

反對か、留保附贊成か

聯盟總會と我政府の態度

【東京二十八日發】長岡大使發外務省着電＝議長イーマンス氏はドラモンド總長と協議の結果三十日午前聯盟總會を召集するに決定した、議長は假に聯盟總會を召集して總會において決議案を採擇すべく變更せる理由は十九國委員會の決議では他の聯盟各國に對して拘束力なきためであるとされてゐるが

長岡大使の報告にある總會に關し日本政府は現在委員會の決議は日本を拘束せずとの建前を堅持しつゝある點から見て之と同內容の決議案が總會決議として上程される場合それに贊成の一票を投ずる事は到底不可能なりと信ぜらるゝよつて**棄權するか、反對票をするか、留保附贊成投票をするか**の右三者のうち孰かを選ぶものと觀られる

然し棄權は三月十一日の總會決議に際して日本が行ひ現に問題を釀してゐる所なので今回の總會においては斷然と反對投票をなすか留保附贊成投票をなすほかなしと觀られてゐる

總會決議とし 日本を拘束するか

イ議長の態度一變

【東京二十八日發】上海停戰問題に關する十九國委員會決議案中第八、十一、十三、の三項は政府の絕對に反對する處であつたが、去る二十六日會議の結果十一項原案を削除しランプソン案を挿入することに決したので、政府はこれを十九國委員會の決議とする限りにおいて八、十三兩項に對する反對は不問に附し承諾した處、二十七日に至りイーマンス議長は聯盟事務總長ドラモンド氏と會談の結果、議長は三日中に十九國委員會を公開し決議案を正式に決定し**總會に報告するに止め、特に總會を召集せずと通告し來れるに反し**俄に態度を變更し三十日特別總會を開き委員會案を總會決議案として採擇せしむるに意見一致し、その旨長岡代表に通達して來た、總會開會に決した理由は**總會決議として日本を拘束し且つ若し日本が總會決議に棄權しても決議を有効ならしめんとするにあり**斯くて同總會は日本の意に反し十九國委員會案を決議すべきは明瞭となつた

時期明示の 主張消滅

支那紙の批難

【上海二十八日發】昨日の停戰協定起草委員會で修正された第四條中、新に附加された部分は「若し日支何れかにおいて協定の履行を怠る時は混合委員會は當事國に對し[illegible]旨通告しその注意を喚起す」卽ち、支那の頑强に主張した我撤退時期の明示その他は跡形もなく消え去つたので本日の支那紙は一齊に此點を非難し、一方英字紙はランプソン案承認は日本の外交的勝利なりと賞讚してゐる

浦東に軍隊 駐屯せず

支那側より言明

【上海二十八日發】軍事小委員會で決定に至らなかつた浦東、蘇州河以南の支那駐屯地決定問題は既に支那側で浦東に支那軍は駐屯せずと言明し、且現在駐屯地から一歩も前進せぬ事を確約してゐるのでこの點支那側の言を信じて寬大な態度を執り協定成立を促進する態度に出るに決した模樣であるから協定成立を妨ぐる障碍は一掃された譯である

抗日救國會は 遂に解散す

上海市當局の取締に

【上海二十八日發】一月二十八日上海市長吳鐵城より解散された儘潛行運動を續けて依然日貨取扱ひの商店に多大の脅威を與へ居た上海抗日救國會は愈々復活の望みなく且市當局が相當强く取締つて居るので遂に斷念し本日各會員に一月分の給料を支拂ひ事實名實共に解散するに至つた

協定案を突き合せ 整理會議始る

【上海二十七日發】停戰協定條文整理會議は午前十時よりイギリス總領事館に開會日本側岡崎書記官、支那側外交部情報司長張似旭、イギリス側ライヒマン參事官參集ランプソン公使案と停戰協定案の突き合はせに際始し午前十一時十分まで條文の字句修正をなしたが一先づ散會後、五時半から續行して字句修正を續け更に本會議の豫備的事項を討議するに決定した

【上海二十七日發】午後三時半から開催された草案整理委員會は四時半散會したが本日の會議で條文の全部及び附屬書を整理し唯殘つてゐるのは小委員會で引掛つてゐる浦東及び蘇州河以南に於ける支那軍の駐屯問題のみとなつた、日本文及び支那文の條文は近く公開される筈なほ協定に調印するのは日支兩代表だけでなく英、米、佛、伊の四國でも調印する事となるだらう

英文の草案は 殆んど脫稿

【上海二十七日發】午前中の停戰協定起草委員會に就て當局は左の如く語る

午前の會議で英文の草案は殆んど脫稿した問題の第四條は、混合委員會は第一、第二、第三條の履行に就て日支何れか又は双方に怠慢ある時は停戰會議混合委員會は各自國政府に對してその事情を報告する事と云ふに落ちつくべく聯盟に報告するのでは無い日支双方に異議がなければ直ちに停戰交涉本會議を開くと云ふに話が附いたから餘り手間取る事は無い見込みである

條文整理完了

【上海二十八日發】本日午後二時半英公使館で條文整理のため小委員會を開きたき旨を申込みあり三時重光、岡崎兩氏出席した、この會議で、條文は全部出來上るべく明後日の本會議で一瀉千里一切の解決見込みは愈々濃厚となつた

英公使案 受諾妥當

支那新聞批評

【上海二十八日發】停戰協定に對する國民の反對を豫想し外交部は本日支那新聞に外人の口を借り非難諷刺をなしてゐる、公平な外人の批評はランプソン案は極めて平等で且つ政治問題を附帶條件ともし[illegible]

駐支英公使 近く歸國

【上海二十八日發】ランプソン氏は停戰交涉停頓後支那側の希望と本國政府の訓令により賜暇歸朝を延期してゐたが、既に日支間の意見纏まり調印を待つのみとなつたので近く協定の成立を待ち二週間以內に北平を經て歸國するに決した

邦人紡績全部 操業開始

【東京二十八日發】海軍省着電、上海における邦人紡績工場は廿六日より全部操業を開始したが、工人の出勤率は六割にして出勤妨害等の事なく漸次舊態に復しつゝある

貴院の慰問使 議會で派遣協議

【東京二十八日發】貴族院は臨時議會開會中各派交涉會を開き滿洲上海への派遣軍及び居留民の慰問使派遣の議を決定する事となつた

支那側の逆宣傳には 反證を擧げて說明

調査團、軍司令官訪問

聯盟調査員は二十七日午後二時より引續き本庄軍司令官と第四次會見をした、當日の會見に於て委員側より奉天城占據に至る迄の戰鬪狀況、北大營戰鬪、柳條溝線路破壞の技術的質問、事變後の奉天城內市政關係等の諸質問を發せるに對し、奉天城の戰鬪については當日の戰鬪に當つた第〇聯隊長平田大佐が約四十分に亘り詳細に當日の戰鬪狀況を說明した、事變後の市政に就ては竹下參謀がこれに答へ、治安困難なる當時に於ける我軍の臨機善處せる具體的例を擧げて說明した、柳條溝線路破壞の技術的說明は今迄の會見に於ける最も重要なる說明で委員側鐵道專門家ハイアム氏立會、說明には特に滿鐵より派遣された鐵道專門技師が當り當時支那兵のため破壞された二本のレールを軍司令部表口に持參、委員一行は二本のレールの前に立會つて切斷箇所の專門的說明に耳を傾けたなほ松井參謀は事變當時貼布された本庄軍司令官の布告について詳細なる說明を試み午後四時四十五分終つた、當日も委員側は北平に於ける學良等の說明を引合に質問せるに對し軍側では一々その反證を擧げ詳細に說明應答したので、委員側は支那側の根據なき逆宣傳の眞意をよく諒解し、軍側の說明に深く納得せる模樣である【奉天電話】

黑龍江省民衆代表 聲明書の內容

調査團に提出する

黑龍江省民事指導委員、交際處々員、黑龍江省民衆代表許鼐坡氏は十九日チチハルより來長、驛前福順棧に投宿中であるが、この度の聯盟調査委員一行の來長を期して許氏は黑龍江省民衆を代表して大要左の如き聲明書を提出する筈である

滿洲國建國の意義、滿洲國の外交方針、日本人採用に關する說明、滿洲國と日本との關係、現在全滿に配備してゐるが、これが永久駐屯に對し承認を與ふるや否や、國防に關する辦法、滿洲國と中華民國間の將來につき如何なる處置を採るや、滿洲國の急速承認するの有無を知りたし、滿洲國の交通政策と吉長、奉山、奉吉各線と日本との關係兵制及銀行制度、關稅に對する方針、郵便電信事務の處理方針

その他地方の行政方針、滿洲國の國籍法、今後の滿洲國の政體治外法權領事裁判に對する方針獨立國家たる滿洲國は今後の所謂日本の特殊權益に對して如何なる方針を採るや、舊政權要人の滿洲國內に殘留する資產の處置、第三國と舊中國機關間の債權處置方法、舊軍閥以來の幣制改編、門戶開放機會均等主義【長春電話】

外國の技術資本 利用辦法の草案

國民政府實業部起草

丙、借款企業樣式

二十四、政府と外國工場商社或は銀行團との借款企業の除外商の投資は單獨及聯合の兩種に分たれ樣式乙部の第十二項の規定を適用す

二十五、本樣式下の實業はその管理權は全部中國に屬すべきものである

二十六、借款の額と利息及償還方法年限は契約書の詳細規定による利率は借款國市場上の普通利率に近きを以て則と爲し償還年限は該項の本業順調に行はれ元利金を淸算し得る年數を標準とす

二十七、借款する所の項は機器及設備材料となし通常時價に照合し協議を折充す

二十八、本樣式下の實業借款紹介技術人員その職務及任期は契約書內に之れを規定す

二十九、借款人は金錢に關し監督の權あり

三十、借款の外國商店工場は借款の一部又はその全部を株式組織にせんと請求する時政府は狀況を酌量の上之れを允許し併せて乙樣式の規定各項に準據し契約書を改訂す

三十一、本樣式下の實業は政府の必要時或は契約書內に規定する所の適當の時期に繰上げて借款の元金利息を淸還することを得

三十二、本國民企業の爲め外國に借款する時は先づ政府に向け出願し許可を得るは勿論本辦法總則(第五項除外)及本樣式の規定を參照して辦理すべし

丁、特許經營の企業樣式

三十三、政府が特に外國の商工業者に請ひ特殊の企業を經營せんとする時外商の投資は單獨と聯合とにかゝはらず一國を以て限りとなすべし

三十四、本樣式の企業は政府に監督權あり

三十五、特許經營の年限は政府に於て須く該項の企業の性質を見て契約內に之れを規定すべし

三十六、本樣式下の企業年限滿期の時は一切の財產は流動資金を除き無代價にて政府に歸すべし

三十七、本樣式の企業若し中途改造の時は政府の許可を得べし

三十八、本樣式下の企業は政府が必要と認むる場合年限未滿前に於て經營者の同意を得相當價を拂ひ收用するを得

但し經營利益保障の見地から收用の時期は原定年限の半數以上を經過した後とす

三十九、本樣式による企業の機械設備及び管理方法は最新式を採用すべし特許契約中に之れを明記すべし

四十、[illegible]法による企業は出來るだけ中國技術員及勞働者を使用すべし

四十一、本方式の企業生產品は契約條項に基き輸出稅を免除す

四十二、本方式の企業中製造方法の獨占權は經營期間滿期の際相當の價格を以てこれを償還す

四十三、本樣式下の企業每年出品中の百分の幾何を政府に納付すべし

但し創業始に於て年限を規定し全部或は一部を減免す

四十四、本樣式下の企業若し規定經營年限未滿の時に自から企業を停止の場合は政府の處罰を受くその處罰[illegible]契約中に訂明す

四十五、本樣式下の企業政府と爭ひ訴訟の場合は中國法廷によりこれを[illegible](つゞく)

赴任の八田滿鐵副總裁

滿鐵副總裁八田嘉明氏は二十六日午前九時東京驛發列車で夫人同伴赴任の途についたが、驛頭には見送の鳩山文相、秦拓相その他貴衆兩院議員、鐵道關係者約五百餘名で非常な賑ひを呈した、寫眞は東京驛にて出發の八田滿鐵副總裁夫妻

都市行政の 經驗を傳へたい

東京市議視察團來る

東京市會議員都市行政視察團の森健二、阿部利七、中川家政、森富太氏一行は京城視察を終つて二十七日午後一時着安奉線で着奉した一行は東京市民を代表して滿洲國各都市を訪問しその產業、教育、土地行政、社會事業各般に亘つて視察し、その結果を齎して東京市民に正しい滿洲國の概念を認識せしめ、一面滿洲國の都市行政當局に都市行政の經驗と智識を提供するのが目的である一行は交々語る

我々は謂はゞ市政を通じて、東京市と滿洲國とを連絡するために來たのであるが、趙欣伯氏が奉天市長時代に希望したことである、我々が持つてゐる都市行政の經驗や智識を滿洲國の都市行政に當つてゐる人々にお傳へして參考に資すると共に我々の見た所を以て東京市民の正しい對滿洲國態度を決定しようと思ふ殊に東京市の失業群をどれだけ滿洲國に送れるかを知るのが重要な使命である、滿洲國が日本の各大學卒業生百名を採用することになつてゐるが、これは東京市として斡旋することにならう、又滿洲國の教育方面にもこれから相當多數の日本人を要することだがこの事についても出來るだけの斡旋をしたい

なほ一行は着奉後直に北大營の戰跡を弔ひ二十八日は奉天市長閻傳紱氏を訪問して意見を交換二十九日撫順往復同夜北行の豫定である【奉天電話】

通化の消息 なほ不明

新賓も氣遣る

通化の消息今なほ判明せず外務省は二十七日同地領事館分館に對し引揚げ命令を發したるも傳達の方法なきため輯安縣より特に人を派遣することゝなつたがこれとて順調に運んでも二十八日しか通化に入ることを得ず、目的達成を氣遣はれてゐる又新賓駐在の松本巡査の消息も不明となり東邊道一帶に不安の氣が漲つてゐる【安東電話】

村井〇團 海林着

【ハルビン特電二十七日發】村井〇團の先發騎兵部隊は二十七日朝七時海林着、〇團司令部も途中抵抗を受けず同十時海林に進入つた

在留米人の 保護要求

【ワシントン二十五日發】米國務省は最近の福建省廈門附近の共匪軍猖獗に鑑みこの際支那官憲において在留米人の生命財產保護に特別の努力を拂ふやう支那政府に要求を在支米公使館に通達した

共產軍討伐總指揮

【南京二十七日發】何應欽は湖西省の共產軍總指揮として二十九日當地發に決した、又長沙來電によれば孔德の共產軍は目下約五千瀏陽、文家子を狙ひ兩地共危機に瀕す

接待委員代表で 閻奉天市長から挨拶

閻奉天市長は廿七日午後二時五分ヤマトホテルに聯盟調査員一行を公式訪問、ハース書記長と會見滿洲國接待委員を代表し兼て市長として一行に對し歡迎の挨拶を述べ同二時三十五分辭去したが右會見につき語る

外交部總長謝介石氏からの電命により接待委員を代表し且つ奉天市長として挨拶に行つたものでハース氏ともいろ／＼話し合つて見たが非常にいゝ印象を受けて愉快だつた【奉天電話】

對支條約を 滿洲國にも適用

英商相、下院で言明

【ロンドン二十六日發】本日の英下院で商相ランシマン氏は滿洲國新政府に關する條約問題に就いて左の如く言明した

現行對支條約を其儘滿洲にも適用さるべきものである目下の情勢では滿洲國政府と特別通商條約締結の問題等は考慮する必要はない

生糸滯貨處分と米國の觀測

【ワシントン二十六日發】日本の生糸滯貨處分により生糸市場の安定を圖らんとするとの報道に當地商業界では右は結局に於ては生糸貿易を利する結果となるであらうが目先の市場には壓迫を加へるならんと觀測してゐる

上海の弗慘落

【上海二十七日發】上海市場弗銀は輸取引極度の不振と奧地方面からの流入等の關係から著るしい過剩を來し在庫二億五千萬元に達し本日は六十九兩九十五と二千九百十二年以來の安値新記錄を現出した

愛蘭內閣敗北

【ダブリン二十七日發】デヴァレラ內閣は本日アイルランド下院で最初の敗北をなした

滿鐵で招宴

本庄軍司令官は二十七日午後七時半より滿鐵理事公館における滿鐵側の招待晩餐會に出席した【奉天電話】

衆議院一行動靜

來奉中の衆議院議員滿洲視察團十九名の一行は二十七日は北大營その他の戰跡を視察したが二十八日夜赴長の豫定である【奉天電話】

うすりい丸船客

【門司特電廿八日發】三十日大連入港豫定のうすりい丸の主なる船客諸氏

八田滿鐵副總裁、村上理事、京大教授大井誠一、平山滿鐵東京支社庶務課長、山田兼一、管夫彥四郎、吉田直助、大瀧新之助、玉置駒三郎、山田義一、林一文、吉田守、田中東雄、井上雅二、臼井龜雄、井上秀季、加藤與三郎、前川郁雄、三宅次郎、村井啓太郎、水島彥一郎、北山新一、隈崎大尉、原田大尉、柳大尉、滿日記者有村忠恕、窪田秘書

人事

▲高倉正氏(關東廳專賣局庶務課長)新任挨拶のため二十九日市內各方面歷訪

▲高木喜德氏(同業務課長)同上

大觀小觀

兩陛下御同列の靖國神社御參拜は、明治四十年以來二十六年振りだとの事▲今度合祀された、五百三十一勇士英靈の光榮殊に輝く▲三井三菱財閥から滿洲國への借款二千萬圓愈々假調印を了る、此金が滿洲へ來れば、追々と景氣も立直らう▲國際聯盟の小國側は、調査團が滿洲國を無視しないのに不滿▲在るものを見るなとは無理な注文、やつきになつて無視せよといふのが卽ち嚴然たる姿がある證據だ▲既に其實あれば、苟くも目あり耳ある者は、見ざること聞かざることは出來ない▲目なく耳なく鼻なきノッペラ坊が、大きな口ばかりあけて、パク／＼しやべる繪をかいて見よ、立派な化物▲小國代表こそ、此お化にさも似たり▲共產黨の極東代表夫妻ヌーランが昨年上海で捕縛され、當時支那新聞を賑はして居たが、今度蘇州高等法院で死刑を宣告された▲孫文未亡人宋慶齡女史が此の判告を非難し、夫妻の釋放を要求した▲捕縛當時にも宋女史は、其の釋放を蔣介石に請ひて、證跡歷然だから如何ともなし難しとはねつけられたのだつた▲宋女史は昨年鄧演達が捕へられた時にも、命請をしてはねられた[illegible]▲此女史よく／＼運が[illegible]

市況(廿八日)

株式

內地保合 當市閑散

後場 休日と新甫を控へて內地主力株は後場も保合にて當市も五品十錢安その他は同率の保合に煩る氣乘薄閑散であつた

◇定期(單位十錢)　◇延取引

奧地市況

◆奉天票 現物 八九〇〇

◆奉天大洋 現物 六八四〇 六八二〇 先限 一四五五〇 一四六四〇

市場電報

神戶特產

品目	値
大豆現物	四五〇
大豆先物	三九〇
豆粕現物	一二六
豆粕先物	二六九
滿洲小麥	四六五
豆油現物	不申

東京株式(短期)

	東新	鐘紡
寄値	一四三一〇	一九六一〇
引値	一四三九〇	一九六六〇
高値	一四三九〇	一九六六〇
安値	一四三一〇	一九六一〇

	鐘新	滿鐵新
寄値	八五五〇	二六六〇
引値	八五五〇	不申
高値	八五八〇	二六六〇
安値	八五三〇	二六六〇

大阪期米

限	後場寄	後場引
四月	二三八五	二三八五
五月	二四四〇	二四四〇

東京期米

限	後場寄	後場引
四月	二四〇〇	二四〇三
五月	二四五二	二四五四

神戶期米

限	後場寄	後場引
四月	二三七九	二三七二
五月	二四四〇	二四三八

めでたいお節句に因んだ 可愛い坊ちゃん方が屹度お喜びでせう

お母樣方拵へてあげて下さい 手輕な和洋折衷のお料理

男のお子たちにとつて何より嬉しい端午のお節句がもうすぐまゐります、晴れ渡つた空に風を孕んでおごる鯉幟の勇ましい姿のやうに、すくすくと成長する可愛い坊ちゃん方のために、ママ樣方のあたたかいお心のこもつた料理を手づから拵へて上げて下さい　めでたいお節句に因んだ美しくおいしい料理を大連女子商業學校の川井先生に考へて頂きました、お子達のよろこばれるものをと和洋折衷のあまり手のこまないお料理にしてあります、お汁、お刺身替り、燒物替り、煮物、口取の五種ですが色とりどりで大變綺麗です、材料はいづれも五人前です

お汁(五目吸物)

鷄肉三十匁、さやいんげん少々人參二三寸、蕪三個、玉葱小一個、煮出汁五合、鹽醬油少々

鷄肉は一口で食べられる位に薄く小さく切つてパラリと鹽をふりかけて置く、莢いんげんは鹽湯で色よくさつと茹で、纎維をとり小口から斜に一分位に切つて置く、人參は皮を去り太ければ四つ割りにして小口から薄く切り、蕪は縱に薄く切つていづれもざつと茹る、玉葱は細く纎に切つて置く、煮出汁を鍋に入れ玉葱、人參、かぶら、鷄肉と順次に入れ鹽味をつけ醬油をほんの少し加へ最後に莢いんげんを入れて火から下し椀に程よく盛つて供する。

お刺身代り(茹で豚肉二杯酢糸キャベツ)

豚肉百匁、キャベツ、酢、醬油花丸胡瓜各少々

豚肉は脂肪のない上肉を選び大切りのまゝ水をかぶる位加へて弱火で箸の通るまでゆつくり茹る(この時玉葱と生姜少量をきざんで一緒に茹ると一層味がよくなる)これを笊にあげ、冷めてから薄く切る。キャベツは糸のやうに細く庖丁しこれを刺身皿の向ふに手ぎれいに盛、手前に豚肉をよそひ、その上に花きうり一片をのせて二杯酢(酢と醬油を半々に合せ味の素少量を加へる)を別の小皿につけてすゝめる。

燒物替り(蟹の武者燒、青竹ほうれん草)

蟹五杯、蒲鉾小板半分、玉子五個、ほうれん草、煮出汁、味淋醬油、鹽各少々

蟹は極生のよいものを求め鹽を加へた熱湯に凡そ三十分茹で、笊にあげて腹の方のきたないものをとり、次に甲殼をはなして肉をとり出し細かにほぐす、甲殼は中を丁寧に洗つて水氣を切つて置く、蒲鉾は厚さ二分長さ五六分の短冊形に切つて置き、甲殼の中に蟹の身と蒲鉾を適宜につめる、この中へ煮出汁、鹽、醬油、味淋で吸口よりすつと辛目に拵へたかけ汁を注ぎ、中央を少し窪めて玉子一箇を割り込みこぼれぬやうに蒸籠に入れて五六分間蒸し、玉子が半熟になつた時取出して皿につける。附合せとしてほうれん草を青く茹で固く絞り、深皿の中に入れて前のかけ汁を上から注いでしばらく置き、さつと絞つて直徑六七分の束に揃へ二寸位の長さに切り更に中央部をそぎ竹のやうに斜に切つて皿の手前に立てる。

煮物(車えび、筍、グリンピースのトマト煮)

車えび百匁、筍百匁、グリンピース三匁、トマトケチャップ四分の一瓶、鹽、胡椒味の素少々

車えびは殼を去り脊を開いて腸をとり五六分に切つて鹽をパラリとふつて置き、筍はよく茹で、灰汁をぬいて縱五六分に一分厚に切る、グリンピースは罐詰ならばざつと洗ひ、生のものは鹽湯で青く茹でる、鍋に一合餘の湯を煮立てこの中に前の海老を入れ、次に筍を入れ、トマトケチャップを加へ鹽、胡椒、味の素で味を整へ弱火で煮込む、汁がサラリとしてゐたらメリケン粉を少々水溶きして加へ、最後にグリーンピースを入れて直ぐ火から下し深めの小丼に盛つてあついうちに供する。

口取り(吹き流し玉子、金時蒲鉾、花くわゐ)

玉子大七箇、蒲鉾一枚、くわゐ大五箇、鹽、砂糖、味の素、味淋、煮出汁

玉子七箇のうち六箇を固く茹で水にとり殼をきれいにむいて白味と黄味に分け別々に裏漉しにかける　さきに燒物替りのつけ合せにしたほうれん草の殘り少々を細く叩く　白身を更に二分して一方に叩いたほうれん草をふきんで絞つた汁を加へ靜く色をつける、これで黄、青、白の三色が出來たから殘しておいた生玉子の黄身を黄色の方に白身は二分して白と青の方に入れ各砂糖と鹽で甘加減に味をつける　枠又は折箱の底を拔いたものに質のよい日本紙を敷き、最初に黄色次に青色、一ばん上に白色を置いて表面を平にならし紙で全部を包んで蒸籠に入れ固まるまで蒸す。蒸せたら熱いうちに紙をはがし、冷めてから長方形に切り、切り口を上に向けて皿につける、金時蒲鉾は紅色のものを求めて庖丁を動かし乍ら三分厚にギザギザに切りこれを二切ほど吹流し玉子の手前左につける。くわゐはなるべく大きいものを丸く剝いてよく茹で、煮出汁、鹽、味淋、砂糖を加へた甘味の汁で一寸煮て汁のまゝ丼にうつし、冷めた時中央にナイフを入れて山型に切り二つに割ると花形になる、これを又暫く汁にひたし充分味をふくませまして皿の右手前に二個つける。これに菖蒲の葉を型に切つて添へたら一層意味深く美しさを増すだらう。

お父さまの趣味(三)

音樂どころか高鼾 これはまた振つたシネマ見物 語る渡邊マサ子さん

信濃町市場の正門の斜向ひ、家具裝飾渡邊洋行のガラス戸を開けて見ました、突當りの一寸左に寄つた隅つこの卓子に受話器を片手に何かメモに書きつけてゐたマサ子さん(二〇)はよく透る齒切れのよい口調で電話を切ると快よく記者を迎へて下さいました父君渡邊虎二郎氏が成三洋行のマネージャーをしてゐた頃はマサ子さんはお母樣や弟妹たちと一緒に櫻花臺のお宅から神明高女へ通つてゐたのですが、先年父君が此處へ店を出すやうになつたので一昨年春神明の四年を終へると同時にお父樣の片腕として忙しい家業を助けてゐるのです。

★……　……★

「父が毎日滿鐵だの鐵道だのお役所だの廻つて居りますし、店の人もそちらへ出かける事が多いものですからお留守番してゐるだけですの、一向役にも立たないんですけれど」と仰言るがマサ子さんの存在はこの店になくてはならないもののやうです、色白のとゝのつた細面てに、正面から二つに割つて無造作に編んだおさげは未だ女學生氣分が拔け切らないやうですがお客の應待、電話の應答は流石に手に入つたものです。

★……　……★

「今のところ父は仕事に全生命を打こんでゐますから道樂とか趣味とかいふほどのものはありません一頃は淨瑠璃に夢中で義太夫などがあると必ず缺かしなしに出かけたものでしたがこの頃では淨瑠璃本を一ぺんも引張り出したこともございません強ていへば活動へ出かける位でございますがその活動見物がふるつてゐますの、活動見るより音樂を聞くのが樂しみださうですけれど、時々私がついてまゐりますと音樂どころか高いびきでねこんでしまひますのよ、はたの人に氣まりがわるくて私もうついて行くのやめましたわ、それにちつとも新しい映畫を見につれていつてくれませんもの」

★……　……★

新しい時代の空氣を多分に吸つたマサ子さんにして見れば、かびの生えたやうなチョン髷物で滿足の出來ぬのもことわりです「それでもたまにはダンスだのレヴユウだのに連れていつてくれることもございます、父はごく陽氣なたちですから必ずしも日本音樂でなければといふこともないやうです」

四五歳用 美しくて氣心地のよい メリンスの子供服

材料　めりんす小柄もの大巾四尺　白無地小巾一尺　バイヤステープ色もの一卷　白一卷

☆…圖のやうに型紙を裁ちます布を裁つ時にはこれに縫込みを加へて下さい、前後のヨークは中央をワナにあてゝ裁ちます、スカートは巾一尺四寸、長さ一尺四寸を二枚、さてそれでは袖から縫ひませう、カフスを輪に縫つて口になる方はバイヤスでふちを取つておく、袖下を縫ひ、口をカフスに合せてぬひちゞめて付け合せます、此處には白いバイヤスを使つて縫目を抑へておくとようございます

☆…ヨークの肩をぬひ合せ(一重ですから何處も袋縫ひに致します)前の中央に三寸の切込みを入れて、バイヤステープで玉縁を取ります、ヨークの波形は切込みを少しづゝ入れて折り、かりしつけをしておきます、スカートの上にギャタをよせてヨークの巾に合せまん中を少く兩端に多くギャタがよるやうにしてヨークをその上にのせかりとじをしたら上からミシンをかけます、裏はそのまゝですとスカートの裁ち目が氣になるならかゞるかバイヤスでもあてゝおいてもよろしうございます、前後のヨークとスカートをつけ合せましたら脇をぬひます。

☆…袖付けは袖山の曲線を合せて縫目が前にくるやうにすれば右左が間違ひなく出來ます、袖の方がつけよりも大きくなつてゐますから山でギャタをして襞を取ります、袖の縫目が前身の型紙の時の角にくるやうにつけます、こゝも矢張り白いバイヤスで縫目をつゝんでおきます。

☆…次に衿は初めに色のバイヤステープでふちを取つておき白のバイヤスをあてゝ身頃につけます縫目を塞ぎます、前の明きにホックをつけ色バイヤスをくけて好みの長さに二本つくり左右の衿のつけねに縫ひつけます、裾は二寸折り返す豫定ですが一度丈を合せて見てからミシンをかけた方がよろしうございます、とも布でニカースをつくれば一層結構でございます

型紙図

袖　後　前　カフス　エリ

懸賞當選 ひる地藏夢物語

(ひるとは大蒜の方言) 愛知縣小原村大洞 近○守○

白血長血は治しもするがそちがフラチは治されぬ

私の家から半途程行つた處に、今も盛んに參詣者の絶えないヒル地藏(ヒルとは大蒜の方言)がある。昔、偽り心のよからぬ女あり、此の女、此の地藏にお願をかけた。すると其の夜、地藏樣女の夢枕に現はれ「白血長血は治しもするが、其方がフラチは治されぬ」と告げ煙の樣に消えてしまつた。

・・・

女はそのお告げを聞いて、初めて身の不貞を恥ぢ、眞面目な婦人になつたが、之れもヒル地藏の御加護に依るものと、それから大蒜を供へ、その供物のお下りを頂いては食用としたが、その爲めに病氣を知らず、而も精力の衰へる事がなくなつたといふのである。

×　×　×

今も此の地藏樣は、精力の加護地藏と崇まれ僅か私の村は四十戸餘りの小部落だが參詣者がたえず此の舊正月の三日間に、一千五百人もの參詣者があつた程だ。

×　×　×

こんな風で私の村では何處の家でも大蒜畑を持たぬ者は一人もなくまた軒ごとに入口には大蒜球を二つ三つぶらさげて、流行病を追拂ふと云ふ古い習慣があるが、之れは迷信とばかりはいへない。事實此の大蒜を食つてゐると病氣といふ者を知らないのが不思議だ。

×　×　×

東京にはオセロといふ大蒜劑があるさうだが而もあのいやな臭ひを排除した藥と聞くが、成程之れこそ、世間の評判をよくするのも無理ならぬ事であらう。

滿日各地版

遙かに東天を拜し英靈をなぐさむ

滿洲各地の招魂祭遙拜式

本溪湖 二十七日午前十時より本溪湖神社にて上海及滿洲事變の戰歿者四百七十七勇士の靖國神社合祀祭遙拜式を執行したるが參列者は守備隊將士小學校生徒在鄕軍人會員一般市民等無慮九百名に及び阿部神官の祈詞に依つて開式され祝詞の後高野隊長植田署長大岩所長植村分會長田城小學校長等の代表者の玉串奉奠ありて盛會裡に終了した

鐵嶺 滿洲事變並に上海事變の殉國英靈を祀る靖國神社臨時大祭は鐵嶺に於ても二十七日午前十時四十分より忠魂碑前に軍隊官民各團體參拜の下に慰靈祭が執行せられ鐵嶺守備隊故奥村少尉以下の軍人警察官殉死者遺骨を納骨祠に移し各代表玉串を奉奠し約四十分にして終了したるが、招魂祭は三十日鐵嶺神社春季例祭と共に盛大に執行せられ午後一時から忠魂碑前に於て數々の奉納餘興が催される

金州 二十七日靖國神社臨時祭典當日は市民會主催の下に午前九時より南山祠前に於て行はれた參列者多數嚴肅裡に同十時終了した

開原 靖國神社臨時大祭遙拜式は二十七日午前九時中央公園內忠魂碑前にて軍警各學校生徒官民有志及び一般參拜者數百廣き碑前を埋め熱誠を捧げて崇嚴なる遙拜式を執行し式後奉納餘興として擊劍銃劍術弓道の大會を催し午後二時に至り朝來の強風は雨となつたので惜くも散會した

撫順 撫順招魂祭々典は靖國神社當日を卜し二十七日午前十時から營ケ岡表忠塔碑前に於て委員長宮澤炭礦庶務課長、總務委員川上守備隊長、寺田警察署長外遺族を初め炭礦職員、軍人、警察官及一般市民、學校生徒兒童等多數參列の上いと莊嚴に執行された祭

鞍山 二十七日午前九時より鞍山神社遙拜所に於て招魂祭遙拜式を執行したが參列者は小野寺所長、松木署長、久留島分會長、佐藤局長、各課所長、地方委員、各區長、日向小學校長、矢澤中學校長及び小中學生徒數百名參列し梶野神職修祓行事玉串奉奠小野寺地方事務所長一般を代表して玉串を奉奠し莊嚴裡に閉式した、また鞍山守備第六大隊では敦化海林方面に於て名譽の戰死を遂げた奈良曹長以下二十一勇士の英靈を祀り二十七日午前九時より營庭に於て靖國神社大祭遙拜式を擧行した

典は型の如く修祓招魂に次いで奏樂裡に獻饌、齋主祭詞、委員長の祭文、獻樂終つて齋主委員長遺族以下參列者一同玉串拜禮あり撤饌送魂を以て一同退下十一時過ぎ閉式となつたが式後は境內で奉納角力銃劍試合等が開始され一方續擬店では酒おでんおしるこの無料接待が始まり參詣者數萬に及んで近年に見ぬ賑合を見せたが惜いとに正午過ぎから春雨に見舞はれたので各催しとも中にして中止され參詣者は午後は減つたが流石に春雨を冒して參拜する市民も多かつた

奉天に於る春季招魂祭
參拜するは本庄關東軍司令官

天長節の祝賀式

けふ各地で催さる

鐵嶺 二十九日の天長節には鐵嶺に於ても左記の如く祭典、拜賀式、祝賀會が催ふされるが領事館の拜賀式には最近列席者非常に少きを以て本日は成るべく多數拜賀し天壤の無窮を壽たいものである

午前十時	鐵嶺神社祭典
同十時四十分	小學校拜賀式
同十一時三十分	領事館拜賀式
正午	公會堂に祝宴
午後一時	領事館祝賀宴

公主嶺 公主嶺に於ける天長節祝賀行事は左記の如く決定した

一、神社祭典 午前八時三十分
一、國旗掲揚式 午前九時二十分
一、小學校拜賀式 午前九時卅分
一、觀兵式 午前十時三十分
一、官民合同祝宴會 正午會場公會堂

御眞影拜賀式

【遼陽】遼陽領事館では二十九日天長節當日午前九時二十分から同十時迄の間御眞影拜賀式を擧行する

建國祝賀の陸上大運動會

鐵嶺は五月八日擧行

【鐵嶺】滿洲國主催の建國祝賀さ民族協和普及の陸上大運動會は既報の如く鐵嶺に於ても滿鐵グランドに於て盛大に擧行されるに決定し特に本大會には滿洲國溥儀執政より日滿兩國大國旗の寄贈あり、日本側も學生團を始め市民有志の選手多數參加すべく計畫し期日に就ては日滿關係者協議の結果來月八日と確定した、大會擧行の豫定プログラムは午前八時煙火三發を擧げて開催の合圖とし

午前八時半入場式、國旗授與式(溥儀總裁より寄贈の大會旗で日滿代表者において授與)國旗掲揚式(君ケ代、滿洲建國歌の合唱)來賓祝辭、運動競技開始國旗下降、閉會の辭、大運動會歌合唱

で大會を終り、日滿觀衆に小旗を配付し旗行列の形で解散歸路につく、尚當日の競技出場者には洩れ

薄給を割いて青訓所を激勵

鷄冠山の村田一等兵

【鳳凰城】鷄冠山守備隊一等兵村田廣氏は事變以來各地に轉戰數次の戰鬪に參加奮鬪せし殊勳の勇士であるが同氏は殊に守備隊は匪賊討伐に參加せざるべからざる狀態にあるに鑑み特に青年訓練の必要を痛感し平素俸給中より貯金しありし金二十圓を鄕里茨城縣多賀郡磯原町青年訓練所に激勵の手紙と共に送附し益々之が發展を促せしところ同訓練所は奮起して將來の發展を期し町長より左の感謝狀を送附して來た

護國の第一線に立ち勇躍奮鬪すること忠なり勇なり且に困苦缺乏に堪へて薄給を貯ふ之れ質素なり而して之を故鄕青年訓練所に寄贈す即ち信なり義なり禮に適ふものと云ふべし本町會は君が熾烈なる軍人精神に對し深く感謝の意を表す

昭和七年三月二十六日磯原町會議長磯原町長吉久保辰五郎

村田廣殿

開原も八日に

【開原】開原縣教育局並に開原附屬地各學校は滿洲國建設を慶祝し日滿學童の親善を圖るために五月八日を期し日滿學校聯合の建國記念會聯合大運動會を開原附屬地中央公園に於て擧行するに決定した、なく建國記念の紀念書を贈るさ

鞍山は七日に

【鞍山】來る五月七日鞍山陸上競技場に於て開催さるべき滿洲國建國記念日滿聯合大運動會に對し滿洲國執政の名を以て滿洲國旗、日本國旗の二旒を交附されたが鞍山には二十六日到着した

安東の日滿運動會準備

【安東】新綠の五月八日盛大に行はれる意義深き日滿聯合大運動會のスケジュールは目下各委員の手に依つて着々進められてゐるが既に日滿兩國旗を交叉した素晴らしい色刷ポスター及び建國記念聯合大運動會々歌、頌建國歌が發表されたので當日はこの日滿語に依る歌を朗らかな春の空に響かせ新興マンチュリアの樂土を祝福することゝなつた

吉林の聯合運動會準備

【吉林】民政部文教司主催に係る全滿洲國聯合運動會は來る五日上旬擧行することになつたので吉林に於ては民衆教育館長胡王民氏は準備係となり一切の準備をしてゐる

公主嶺は三十日擧行

【公主嶺】滿洲新國家建設記念の日滿聯合大運動會は既報五月七日小學校の運動場に於て盛大に擧行すべく決定したが各方面の都合上これを繰上げ本月三十日午前十時より前記運動場で華々しく開催することに確定した

安東對奉天戰

安東の野球戰

【安東】安東野球界は過日の安東俱樂部紅白試合によつてシーズンのトップを切り每日猛練習を續けてゐるが、州外第一の強豪と云はれ去る二十四日の對撫順戰に八對三で快勝した全奉天から挑戰を受け、二十九日天長の佳節を卜して午後二時から驛前球場で華々しく戰ひを交へる事となつた

遼陽滿鐵の野球リーグ戰

【遼陽】遼陽滿鐵各箇所のスポーツ野球リーグ戰は廿七日左の如く決定した

出場チームは驛、機關區A、B兩組、地方事務所、列車區の五ケ所で第一回戰は廿九日(天長

春・花の金州

當分杏花は丁度見頃 櫻は來月五六日頃

【金州】護國の英靈を祀る臨時祭典の爲め氣分緊張せるとは言ひながら惠まれた花時の祭日だけに廿七日は春色麗な郊外のピクニックを試むべく繰出された老若は數百名に上つた、この日強い西風の爲め寒氣甚だし、觀花氣分を幾分削がれた形ではあつたが今を盛りの七里庄杏花園はこれ等觀花客の外在住有志で作られた老頭兒會の家族會や熊本縣人會の團體等もあつて時ならぬ賑はひを呈した、廿四五日位は此の附近一帶の杏花は見頃であるから相當賑ひを呈するであらう……櫻はやはり三崎山であるが今年は南山道路の並木も相當成育してゐるから櫻化のトンネルを現出するであらう、今の處櫻は例年から少し遲れて來月の五六日頃が見頃である

關東廳軍優勝

對金州民政署庭球戰

【金州】關東廳地方課對金州民政署の庭球戰は金州に於ける對外試合のトップを切つて二十七日午後一時半より驛前滿鐵コートに於て行はれたが民政署軍利あらず地方課軍の優勝する處となつた試合經過は左の通り

地方課 民政署

地方課		民政署
中西村里	四—一	中藤井村
調木村	四—一	高車崎
田上島原	四—〇	中楠美原
山中川崎	一—四	谷橋口
田西村原	一—四	山窪田口
中調里	〇—四	安梅永崎

二回戰

地方課		民政署
山中川崎	四—〇	中藤村井
田西村原	四—三	高車崎
中調里	二—四	中楠美原

優勝戰

地方課		民政署
山中川崎	四—〇	高車崎
中里、調(不戰)		

火事場に急ぐサイドカー顚覆

憲兵上等兵ら負傷す 鐵嶺松島町の出來事

【鐵嶺】烈風中の出火に一時は非常に憂慮され地方事務所でもサイレンを鳴らして警報し守備隊も多數の兵員を出動せしめたので鐵嶺憲兵分遣隊では館野、長谷川上等兵が火災現場に急行すべく午前一時半頃サイドカーに乘り北垣運轉手操縱して松島町を居留地に驀進中、鐵道西居住鐵嶺縣政府保安隊指導員村田岩作氏も城內出火の報に現場に急ぎ領事館前に於て後方から憲兵隊のサイドカーの來れるを認めこれ避けんと道路の東側に向つたところ北垣運轉手も前西側に人影を認め東側を迂回して通過せんとハンドルを廻した刹那村田氏も同方向に追突せんとした爲め突嗟の氣轉から危險を顧みずハンドルを急激に右方に廻した爲めサイドカーは勢ひ餘つて顚覆し搭乘の館野上等兵は車の下敷となり、長谷川上等兵は投げ出され、北垣運轉手は把手を握つた儘橫倒しとなり何れも頭部顏面腕等に擦過傷を負ひ、避け損れた村田氏も又跳飛ばされて顏面を地上に擦りつけ鮮血に塗れて人事不省に陷り滿鐵醫院に擔ぎ込み應急手當を加へたが館野、長谷川、北垣氏等は何れも一週間位で全治すべく、衛戍病院に入院し村田氏は二週間位を要するらしく滿鐵醫院に入院してゐる、サイドカーの顚覆で負傷者を出したのは鐵嶺始めての椿事であるが北垣運轉手の瞬間的氣轉によつて何れも輕傷であつたのは不幸中の幸ひであつた

鐵嶺城內の火事

烈風中に日滿消防軍隊活動

【鐵嶺】二十六日午前零時頃當地城內目貫の場所たる縣公署前洋貨舖等和祥方より出火し折柄の烈風に煽られて火焰は見る〳〵擴大し隣家の泰東印刷所に延燒し火勢頗る猛烈を極めたるが、急報によつて出動した滿洲側常設消防並に日本側義勇消防團必死の努力を續けたるも何分烈風の上に水の便頗る惡く一時は手のつけやうもなく道を隔てた向ひ側に火焰を吹きつけ縣公署、警務高等各機關も一時危險に瀕したが義勇消防團並に日本警察官の協力によつて漸く食ひ止め滿洲側消防又火焰の中にあつて勇敢に活動し滿鐵消防隊も驅けつけ午前四時半頃鎭火せしめた、損害は春和祥現洋約四萬元、泰東印刷約一萬元、建物六千元で火災保險には三井保險と奉天英國保險に二萬二千元程かけられてあつた、出火原因は煙草の吸殼からゝしく取調中である、尚守備隊では萬一を慮り多數の兵員を出動せしめ城內各所に嚴重立哨せしめ警戒せしめたが何等異狀なく鎭火と共に引揚げた

貨物自動車汽車と衝突

【旅順】二十六日午後八時二十分旅順驛發旅客列車が水師營街道踏切へ差懸る際水師營方向から疾走して來た關東廳土木課貨物自動車運轉手鄒洪本(二)助手李鴻章(二)同乘者大工楊常春(五〇)人夫蕭還春(七)が列車へ側面衝突をなし自動車は七尺の堤防下五間餘りハネ飛ばされ原型を止めざるまで大破し運轉手以下支那人全部はいづれも全治二十日乃至十日間を要する負傷をした

橘山登山道路

【遼陽】首山驛から橘山に通ずる通路は元同驛長野澤氏の盡力で道型丈けは完成登山上相當便利さはなつたが婦人子供の登山には尙不充分の點多く關屋地方事務所長は該登山道路の完成に付此の程來奔走中であるが廿六日同地に赴き實地踏査する處があつた

拳銃を弄び一名死傷

【鐵嶺】二十六日午後二時頃當地大手町一丁目東陽靴店に於て數名の者が拳銃を弄んでゐるうち突然爆發し王希鵬(二〇)の腹部を貫通し鄭紹周(二七)の拇指を貫通したる椿事あり氣丈の王は單身滿鐵醫院に驅け込み應急手當を受け城內英國病院に入院したが午後六時頃絕命した、原因は拳銃を持つてゐた劉魁鄭(三〇)が田舍者で取扱ひを充分知らなかつた爲めらしい

奉天驛で親切デー

廿八日から

【奉天】奉天驛では內地、朝鮮その他から奉天を訪れる見學團、視察團等が漸く增加したので廿八日から一週間親切デーとなし不案內な旅客に對して一々指示するさ共に盜難防止に注意し殊に世に浮かれて歩き廻る旅客に對しその所持品に注意を喚起せしめるため各待合室にポスターを貼付することになつた

南滿製糖復活

資本三百萬圓で

【奉天】鐵嶺南滿製糖事務所は同社復活問題で上京し各方面に訪運動中であつたが二十六日歸奉して語る

製糖の復活問題は着々進捗してゐる即ち現在の資本金一千萬圓を十分の一にして百萬圓となしこれに新資金二百萬圓を加へ資本金三百萬圓として復活することにならう、一時江口副總裁の辭任で滿鐵の方が變な形さなり又財閥の方でも滿蒙投資を躊躇してゐたがその後氣乘りして五月中に乘りこんで來ると云つてゐた、鮮銀の方も債務減額の交涉中であるが何れ減額の上年賦償還といふことにならうと思つてゐる

留日警官選拔

【吉林】吉林全省警務處は京師警察總監令を奉じて留日警察學生二十五名を選拔することになり超廳長各縣に通令した

けふの放送 大連 JQAK 四月二十九日

▲午後零時十分ニュース
▲午後三時三十分ニュース
▲午後六時十分ニュース
▲國歌「君が代」大連羽衣高等女學校生徒、伴奏村岡樂童
▲奉祝の辭 岩井勘六
▲祝歌「天長節祝歌」大連羽衣高等女學校生徒、伴奏村岡樂童
(以下內地中繼七時)
▲放送舞臺劇「名和長年」幸田露伴作「塲景」伯耆國名和莊長年館、名和又郞長年(松本幸四郞)次男彌三郞元長(市川染五郞)弟甚五郞助高(松本駒五郞)六郞太郞義氏(松本金八)次郞三郞實行(松本錦四郞)日野三郞義行(松本錦本藤四郞)茂彥七宗家(松本錦吉)鬼子丈三郞義康(松本菱蔵)長年末子乙童丸(松本錦吉)其の他
▲新講談「幕末の三傑人」第三席伊藤痴遊
▲講演(奉天より)未定
(以下大連放送局より)
▲箏曲「松上の鶴」箏福森勾當、尺八名和榮次郞
▲尺八(琴古流)名和榮次郞
▲ニュース
▲氣象通報

支那人割腹自殺
自暴から遂に厭世へ

[illegible] ……方面から贈られた弔花、弔旗で……大國旗飜へる下に設けられ……祭壇正面には同上等兵の在りし……を偲ぶ肖像が掲げられ參列者一……として更に涙新たなるを覺えし……斯くて定刻となるや一同着席……、隊兵敬禮、導師燒香（讀經佛偈）……遺族燒香につゞいて藏重安東……中隊長、板津第四大隊長、加藤……兵分隊長、山本在軍分會長代理……領事、多田所長、高橋地委議……齋藤驛長、黃縣長代理、美醫……局長の順序に弔辭朗讀あり、宮……中尉に依つて各方面からの弔電……讀せられ、奏主藏重中隊長以下……代表者の燒香、次いで一般參列……の燒香を終へ再び儀仗兵の敬禮によつて午後三時半盛大に式を閉ぢた

鐵嶺からも救援隊出動
通化方面不穩で

[illegible]

大刀會匪の一味を逮捕

[illegible]

公安隊員葬儀

[illegible]

坂田上等兵の葬儀

[illegible]

赤坊審査會
五月五日鞍山で

【鞍山】昨年六月鞍山に於て始めて開催した乳幼兒愛護精神並に知識の普及徹底のため赤坊審査會を開催したところ滿鐵本社に於てはその成績に鑑みこれを全滿的に擧行すべく計畫し來る五月五日午後……一ヶ月以上一ヶ年即ち昭和六年五月一日より同七年二月三日までに出生した赤坊の審査會を開催すべく慫慂して來たので鞍山地方事務所社會係では來る五月五日盛大に實施すべく目下計畫中である

安東村長會議

【安東】安東縣管內の村長會議は廿五日午前十一時から安東縣公署で開催されたが板津大隊長、早川縣長、指導員等出席し匪賊狀況其他に就き協議を爲すところあつた、引續いて廿六日も午前十一時から安東縣公署に於て開催、日本側からは板津第四大隊長、藏重安東守備隊長、高澤中尉、高山警察署長等出席し滿洲側要人と共に縣內の治安維持その他に就き協議したが執政より贈與された貧民救濟金の處置、各地橋梁の架設、警備の充實、賭博行爲の嚴重なる取締方等の陳情が多かつた模樣である

吉林省公署の主要職員任命

【吉林】吉林省公署にては二十三日附總務、民政の兩廳の主要職員左の通り任命した

總務廳秘書長　羅振邦
同　總務科長　徐家桓
同　調査科長　山本紀綱
同　人事科長　周雲溪
同　會計科長　根本成一
民政廳總務科長　熊希堯
同　行政科長　周敬熙
同　土地科長　駱家驥
同　建設科長　丁台
同　旗蒙科長　陳汝壎

中山外務省囑託

【奉天】外務省囑託中山優氏は北滿視察を終へ二十六日夜急行で赴連した、大連に數日滯在して南遊の豫……

太子河堤防改修の地鎭祭

【遼陽】太子河堤防改修工事の第二區高麗門外から鐵橋に至る間（四里二里）を請負つた原組では廿六日午後三時から高麗門外の現場に於て平井神職の司祭で嚴肅なる地鎭祭執行、關係地方事務所長代吉田庶務係長、中村地方係長、……木係、原組代表社員原半次、東園村長、出張所主任渡邊小平次、その他參列し式後別席で祝宴が催された

鞍山實業協會總會

【鞍山】鞍山實業協會では二十八日午後三時より實業協會堂に於て第八回定時總會を開催し昭和六年度會務報告及び收支決算報告をなし昭和七年度收支豫算審議の件を議し役員の改選を行ふ

遼陽金融組合新舊理事招待

【遼陽】遼陽金融組合理事久間次五郎氏は今回沙河口に轉じ後任に公主嶺から松岡滿治氏が着任したので廿七日午後七時から兩氏は役員を玉家に招待した

鐵嶺

慰安巡回映畫

滿鐵主催家庭慰安巡回映畫班は本日來鐵し午後七時から演藝館に於て一般の爲めに公開する、上映フヰルムは片岡千惠藏主演の時代劇「瞼の母」全八卷、現代劇は淺岡信夫、廣瀨恒美、瀧花久子、濱口富士子共演の「海の祭」全十二卷である、入場料は大人三十錢軍人十錢子供五錢

北滿視察團中止

來る二十八日夜出發の豫定であつた北滿視察團は北滿の形勢最近頓に惡化し東支南部線のみでなく四洮線方面も物情騷然たるものあり何れも視察團の徑路なるを以て萬一の事變無しとせず尙其上に形勢急變の爲め參加豫定者も業務多忙となり參加解約者續出せるを以て今回の視察團は一時中止し何れ機を見て再び計畫する事とした

赤ン坊審査會

滿鐵社會係主催の赤ちやん審査會は今年も來月五日に擧行すべく目下準備中で近く成瀨小兒科醫長以下產婆を始め各關係者の參集を求め審査方法其他に就て協議の筈

家屋倒壞幼兒壓死

當地東驛町居住鮮人鄭吉藏と金元巨(五三)は同一の棟に居住してゐるが二十五日午後三時頃烈風の爲め家屋の動搖烈しく危險を感じた爲め屋外にて樣子を見るべく戶外に出た際一陣の突風襲來して家屋を倒壞し室內に就寢してゐる鄭の二女錫分(二)は棟木の下敷となつて無殘の壓死を遂げ死體は檢視の結果兩親に引渡され鄭夫婦金元巨は難を免れた

公主嶺

兵士慰勞會

既報公主嶺時局後援會主催各隊兵士慰勞の演藝會は廿五、六の兩日に亘り每夕五時公會堂に花々しく開演した廿五日は定刻前より各隊の勇士來觀場內は立錐の餘地なく餘興連は座席其他に蜿蜒登場舞妓の熱演に拍手は急霰の如く盛會裡に第一日のプログラムを終つた、二十六日は軍隊の都合により定刻より二時間半を過ぎ開演した當夜も滿員の盛況を呈し登場演技の大小藝妓が大車輪の熱演に好評を博し十一時千秋樂を告げた

遊園地の起工

公主嶺市街東北部一大事業である遊園地の建設は多年の懸案であつたが實現に至らず今日に至つたところ軍人勅諭御下賜五十週年記念の式典を執行せらるゝにつきこの所縁すべき記念日に起工すべく二十四日午後一時水源地左岸に多數官民參列、地方事務所長の式……に若松騎兵聯隊長の祝辭ありて池田神職の修祓記念植樹式は若松聯隊長により嚴肅に擧行後右岸に一同集合祝盃を擧げ萬歲三唱二時閉宴した

遼陽

建國精神宣傳

滿洲國家政府では建國の精神を農村民其の他一般に普及する爲め宣傳班を編成して各地を巡回すべく準備中で其の第一班は五月七、八の兩日來遼商務會、農務會其の他の團體と協力して講演會や座談會を開催し聯隊は五月十四日來遼一般滿洲國人に公開して建國の精神普及と諸民族の融合を高潮し日滿國民の融和團結を計るさ

通化へ出動

遼陽警察署の山口警部補以下二十名は瀋海線通化方面在住同胞保護の爲め二十七日朝奉天に向け出發した

菊地警部遼中へ

遼陽署の菊池警部は巡查補四名を帶同二十七日朝奉天を經て遼中縣蔡賢村蒲河の鮮農狀況視察の爲め出張した

撫順

輪組記念會

撫順輸入組合は去る昭和三年四月二十六日を以て創立され爾來滿四ケ年當地商工業者乃至は一般市民生活に多大の貢獻あり、滿洲局面の轉回に伴ひ當局では今後は更に劃期的飛躍を試むべく切角努力中であるが、滿四週年を記念すべく二十六日夜關係有志三十餘名を蓬萊館に招待し中原理事の挨拶、寺田署長の謝辭ありて祝宴に移り盛宴裡に九時頃散會した

警官隊急行

撫順警察署黑瀨巡查部長外二十名は通化の暴動鎭壓警官隊に加はるべく二十七日午前九時發列車で奉天に向つた

安東

春季招魂大祭

春季招魂大祭は三十日午前十時から鎭江山表忠碑前で執行されるがそれと同時に滿洲事變以來殉職將兵の遺骨殘灰の奉安せられたもの及び奉安なきものゝ間はずその英靈を奉祀してゐる戰歿將兵の合祀祭も此の招魂祭と併せて執行する事となつた

增員警官到着

四月二十二日附關東廳令に依り安東署勤務を命ぜられた奉天領事館警察署勤務の下田常喜巡查以下二十名は廿六日午後四時三十五分着列車で來任したが尙數日前關東廳からも十名の巡查が增派され愈々國境の重要なる治安維持に任ずる事となつた

高女生の植樹

安東高女校生徒四百名は廿六日午後一時から桃源ゴルフ場附近に滿鐵農務係の移植する朝鮮五葉松三千本を奉仕的に植樹した

普蘭店

居留民會定時總會

普蘭店居留民會に於ては二十四日午後七時より松山旅館樓上に於て定時總會を開會永井會長議長席に着き重要事項を協議した後正副會長以下役員任期滿了により之が改選を行つたが投票の結果左記の通り當選就任した

會長和泉研、副會長東濱一、理事大瀬庄七、評議員伊藤清明、……石丸十作、近藤治、小出英吉、新谷健二、杉浦仲次郎

滿洲國行の官鹽積出し

滿洲國行き復州官鹽の普蘭店驛積出しは關係各方面の努力により昨年秋期より漸く實施の運びになり年內數百貨車を輸送したが間もなく結氷期に入りジャンク搬出不能の爲め一時中絕中の處本春解氷期より再びジャンクの活動に入つたので昨今普蘭店驛積出し官鹽は一日四百噸內外であり本年度積出し總數量二千五百車七萬五千噸の豫想である假に一貨車三百圓の運賃とすれば七十五萬圓の收入となるので驛では全員力瘤を入れて活躍して居る

旅順

滿鐵社友會

過日マダムヨシノに於て第一回集會を爲した在旅舊滿鐵社員同志は更に二十二日午後七時岩田商會に第二次會合の結果假會則を制定旅順滿鐵社友會を創立した

本溪湖

巡查部長試驗

本溪湖警察署では過日巡查部長の試驗を施行し受驗者五名にして答案は關東廳で審查中の處今回風間、松本、袴田、宗の四氏が合格した旨發表せられたが五名の受驗者中四名の合格者を出したるは非常の好成績で沿線各署でも珍しいと云はれてゐるが之れ植田署長の薰陶を得たことに依るものとして好評あり

本溪湖署から討伐隊出動

本溪湖警察署の坂元警部補以下〇〇名の一隊は〇〇方面の匪賊討伐の重大使命を受け二十七日午前八時三十分發奉天行列車にて武裝いかめしく出動したが驛頭には植田署長以下の官市民多數が萬歲聲裡に見送つた

鞍山

鞍山神社造營十周年記念事業

鞍山神社は昭和八年が神社御造營十周年に相當するので二十七日午前九時三十分より神社々務所に於て各方面代表者數十名參集し十周年記念事業施行に就き協議したが其の結果が氏子の寄附により社頭の石垣を築造すべく改めて具體的協議することゝなつた

神社春季大祭

鞍山神社春季大祭は例年の如く五月一日午前九時より擧行せられるにつき氏子一般多數參列されたしと、因に三十日は午後七時より前夜祭擧行の筈である

鞍山署員を通化に派遣

安奉線方面通化を中心とする東邊一帶に亘り反亂軍の蜂起により同地在留邦人は續々引揚げ中なるが鞍山警察署に於ては二十六日午後五時五十分警務課長の電報に接し武裝警官五名を邦人引揚げ保護の爲め二十七日午前六時十分發列車にて派遣した

壯丁に受驗注意

鞍山警察署兵事係では來る五月八日奉天に於て壯丁の徴兵檢査執行に關し二十六日午後一時より壯丁四十名を署樓上に集め受檢に關する注意事項を傳達した

支那事變戰死者慰靈觀音開眼式執行

東京駒込大圓寺住職服部太元師並にベルツ丸本舖鈴木日本製藥社長鈴木清二兩氏發願に係る滿洲上海事變戰死者慰靈觀音は豫て帝室技藝員高村光雲氏が造像中であつたが先般その竣工を見たので去る四月十日大圓寺に於て嚴かに開眼式を執行した、式は曹洞宗總本山永平寺貫首北野元峰氏司會の下に鳩山文相、高橋軍令部次長、陸海兩相代理、海軍中將小笠原長生子、安藤次官、參上、境野兩博士、名優中村吉右衞門氏等朝野の名士多數列席の上高僧百五十餘名に依り親修さる、當日は遺族、關係者、一般參拜者數千名參集近時稀に見る盛大なる式典であつた。

祝日滿貿易發展

東和通信社支店扱
名古屋千種駅前　電東八四九番

專門科目

泌尿器科＝腎臓、膀胱、尿道諸病
花柳病科＝淋疾、下疳、横痃、睾丸炎、慢性淋疾
皮膚梅毒科＝一般皮膚病 第一期第二期第三期梅毒
入院室完備＝腎臓検査、膀胱鏡検査應需

大連市若狹町三（西通入）
電話七七七六番

醫學博士 尾形一郎
尾形醫院

第二松花江鐵橋爆破 陰謀の正體判明
全露共産黨北滿委員會と戰鬪義勇隊の仕業

【ハルビン特電二十七日發】第二松花江鐵橋爆破の陰謀その他列車妨害事件につきハルビン特區警察は連累者八十八名を引致し新聞の掲載を禁じて取調べ續行中のところほゞ陰謀計畫の内容が暴露するに至りその一部を解禁した第二松花江爆破計畫その他最近頻々として起つた列車顛覆計畫に付取調べの結果それ等はすべて全露共産黨北滿委員會及び青年共産黨より成る戰鬪義勇隊の仕業なること判明した

さきに全露共産黨北滿委員會は千九百二十五年北滿に於ける支那官憲の壓迫と白色テロに對抗するため戰鬪義勇隊を組織したが右義勇隊は共産黨本部とは切り離され獨立の行動を採り千九百二十九年の露支紛爭當時は軍用列車顛覆、給水塔建物爆破白系露人の暗殺等を行つたが官憲の取締り嚴重で四分五裂となつた

これは統制が缺けて居ることゝ技術者を缺いで居る結果だとて一旦解體し最も確實な青年黨員二十名を選び千九百三十一年一月これをハバロフスクに送り極東軍司令部第四課に配屬し根據地に隔離して教育し鐵道爆破その他の技術を授けた、滿洲事變勃發するや十日及び十一日に内十五名をハルビンに送り行動を準備させた、そのうち一名ハルビン工科大學會計ペンツが首腦となり本年一月から在哈青年黨員コムソモウルに對してテロの講習を開始した

一方一旦解體された義勇隊は再び復活し管理局總務課秘書ガイドックが主班、用度課員スコピンが補佐となり、新市街及埠頭區に支部を置き北滿委員會代表リマノフを混へ總員二百五十名が十人宛一組となり之を全北滿のコムソモール二千九百七十八名が應援して成立したものでその費用はソウエート領事館の保管する亡命者救護費たるポウブルの費用を充てゝ居た

黄色火藥はポグラから 鐵橋見取圖は窃取
第一と嫩江をも狙ふ

斯くて準備を重ねた彼等は本年五月には日本軍が國境を犯すものと信じ且奉山線にて採用した白系ロシア人警官は早晩外蒙を突くものと信じ之に對抗するため北滿の鐵道爆破に着手することゝなつたがソウエート本國からも三月二日附で鐵事クヅネツオフ、副理事長、商業部長代理などに引揚げ命令を出し軍籍にあるものは全部引揚げたので愈々時機到來と三月下旬より黄色火藥をポグラより取寄せこれを市内十數ケ所に隱匿し四月七日夜一味は第二鐵橋附近で貨物列車を脱線させその復舊工事の勞働者に混じつて爆藥を運び八日夜決行せんとしたが監視人に發見されたもので現場附近の陰蔽物の中には地圖ウオツカ十本、パン腸詰八貫目、東支とコワリスキーとの同鐵橋補修請負契約書及び鐵橋見取圖が發見された、犯人は決行の後徒歩で逃亡せんとしたものである

鐵橋見取圖は取調べの結果東支監査局第三課アフチンニコフが圖書館から第一松花江及び嫩江鐵橋の見取圖を引出して居るから彼等は右二鐵橋も爆破せんと計畫せんとして居たものである尚同人及びペンツは發覺と共に逸早く逃亡した

わが凱旋列車爆破 ロシアに抗議せん
共産黨員の犯行確實

【東京廿八日發】去る十三日ハルビン郊外における凱旋列車爆破事件は外務省並に陸軍省に達した報告によればハバロフスク共産黨の陰謀に依ること大體判明した模樣であるが、右眞相がハバロフスク共産黨員の計畫的犯行に依る事確實となりたるうへは我軍に及ぼせる損害に鑑み政府は勞農政府に嚴重抗議を發する筈

出動中の後援に酬い盛大に
花の撫順重砲兵隊で 二十六回の記念式

旅順名所の隨一「花の重砲隊」と謳はれた旅順重砲兵大隊は本年丁度第二十六回の記念日を迎へた、殊に本年は赫々たる武勳に輝き凱旋した許りであり又出動中各方面より與へられた後援に酬ゆるため例年よりうんと氣張つて一層有意義な記念式を舉行することゝなり花も見頃の五月四日午前十時から舉行と決定、當日は午前十時より全員營庭に集合し記念式詞を朗讀

内外臣僚を召させ優渥な勅語を賜ひ
代々木原頭に諸兵を閲はせらる
けふ天長節の御祝典

【東京二十八日發】二十九日は第三十二回の天長節につき午前十時宮中三殿に於て御祭典を行はせられ天皇陛下には侍從をして御代拜せしめられる筈で、當日陛下には觀兵式を行はせらるべく陸軍禮式御正裝を召され儀裝馬車に乘御午前八時十五分宮城御出門、第二公式鹵簿により代々木練兵場に行幸遊ばされ在京の近衞、第一兩師團一萬五千の精兵を御閲兵、引續き分列式をみそなはせられ還幸後、各皇族方を從へさせ豐明殿に出御各國大公使、大養首相以下各閣僚倉富樞府議長、平沼副議長以下各顧問官、前官禮遇者、親任官、徳川、秋田兩院議長始め約一千名を召され一同に優渥なる勅語を賜び大養首相及びベルギー大使が臣僚を代表して奉答辭を奉りて終つて内外臣僚と親しく酒饌を召され午後一時入御の御豫定である

長春の天長節

今二十九日の天長節に當り長春駐在の第三旅團司令部及び第四聯隊長春守備隊、憲兵隊等はそれぞれ祝意を表するが、今年は例年中央通りにて行はれる旅團長閲兵の觀兵式はこれを中止することゝなつた【長春電話】

調査團一行も招待
領事館祝賀會に

奉天日本總領事館では二十九日午前十一時半より零時半まで領事館において天長節祝賀レセプションを行ふが滯奉中の聯盟調査員一行をも招待して居る【奉天電話】

靖國神社の臨時大祭終る

【東京二十八日發】空前の盛儀を呈した靖國神社臨時大祭最終日の二十八日は午前九時陸海軍兩省係官並に加茂宮司以下祭官奉仕の後[illegible]四日間に亘る臨時大祭の盛典を終了したが參拜者は朝から引きも切らず非常な賑ひを呈した

接戰に觀衆熱狂
七人制ラグビー大會

滿洲のラグビー協會主催の第二回七人制ラグビー大會は二十七日午後も大連運動場に於て續行、好組合せにファン續々とつめかけ大倶對滿鐵新人工大A組對工專A組等の接戰に觀衆熱狂し第一回目を盛會裡に終了した夕刊締切り後の戰績左の如くである

▲工大B組八一零工專B組

工大8（三―〇／五―〇）0工專

午後一時十分金川氏主審工專キツクオフで開始四分混戰中より工大今泉工專側二十碼附近より宮崎のパスを受けてポスト左に流れ込んで先づ最初のトライ（工大三工專〇）工大壓迫裡にハーフタイム▲後半三分工大工專側十碼に壓迫しチャンスと見えたがもり返へされ四分工大增田ルーズよりの球を取り強引に飛び込んでトライゴール成る（工大五工專〇）後工大終始壓迫を續け八對〇で工大勝つ

工大B　FW 香田、野尾、藤田　HB 崎、田　TB 本木、泉　FB 原、塚

工專B　FW 草松、齋、綱　HB 山佐　TB 大

▲滿鐵新人一八―八大連倶樂部

滿鐵18（一〇―〇／一〇―八）8大倶

午後一時三〇分田氏主審新人キツクオフで開始前半二分大倶新人陣に攻め入り岡島飛び込みしもものにならず四分新人大倶陣に入りチャンスと見えしもならず六分大倶上倉のドリブルに盛り返へし一進一退の好ゲームを續けそのまゝハーフタイム▲後半二分大倶岡澤長驅せるものにならず新人側五碼のタイムより大倶北原岡島と渡り岡島トライゴール成らず大倶三新人〇四分中央タイトより北原上倉と渡り上倉獨走してトライ立上のゴール成る（大倶八新人〇）五分中央タツチ側のルーズより新人櫻井強引に大倶のバツクを拔き中山三昌と渡りトライゴール成る（大倶八新人五）タイムアツプ直前新人櫻井中央線より拔いて出で中央にトライゴール成りそのまゝタイムアツプ十對八の接戰で大倶惜しくも破る

大倶　FW 蓮津、國　HB 富士、益今　TB 福

▲旅順一中B組八―〇大商B組

旅一中8（三―〇／五―〇）0大商

午後一時五十分桂氏主審旅中キツクオフで開始好ゲームを續け二分旅中吉田先づトライを舉げ（旅中三大商〇）▲後大商頑張るも旅中好守してハーフタイム▲後半大商挽回大いに努めるも足遲くてものにならず四分旅中吉田ポスト下にトライゴール成る（旅中五大商〇）▲後旅中の壓迫裡にタイムアツプ

俱　FW 咲上田、原、澤倉　HB 島

大　FW 木立、黒、北　TB 岡上、岡

新人滿鐵　FW 日岸川、小根石　HB 品、三　TB 井山、櫻中　FB 中、田

旅一中　FW 前福鈴、中西宮木　HB 小、沼　TB 小吉、園田　FB 金、井

大商B　FW 橘村松、岩岡貞　HB 井、酒　TB 戸岡、白栗　FB 田、原

▲工大A組三―〇工專A組

工大3（〇―〇／三―〇）0工專

二時二十分桂氏審判、工大キツクオフで開始、直後工專左に攻めラインアウト後工專壓迫し續ける内にハーフタイム▲後半工大大いに攻め續け二分友隅五碼のルーズの對工大に出で太田もぐつて決勝の一トライを舉ぐ

工　FW 小佐伊　HB 田　TB 太永　FB 長

大　FW 盛藤藤　HB 中　TB 田見　FB 谷

▲若葉一六―〇用度A組

若葉16（13―0／3―0）0用度

午後三時四十分岡島氏主審、若葉キツクオフで開始、四分左のルーズよりの球若葉得て右にパス山崎右隅にトライ（若葉三用度〇）後若葉の壓迫裡にハーフタイム▲後半一分中央用度キツクの球を若葉山崎得て長驅してゴール下にドライ、ゴール成る（若葉五用度〇）五分用度右二十五碼のラインアウトより若葉園田得てゴール下にトライ、ゴール成る（若葉一〇用度〇）▲タイム直前用度二十五碼中央ルーズの球若葉得て森高ハイパンドしてゴール直下にトライ（若葉一三用度〇）

專　FW 野元井　HB 山　TB 毛納　FB 島

工　FW 古四堀　HB 西　TB 鹿加　FB 兒

葉　FW 原中田、伯田園　HB 石、大　TB 高崎、森山　FB 原、岡

度　FW 柳邊多　HB 上　TB 住口　FB 田

用　FW 青淡本　HB 井　TB 魚森　FB 中

【寫眞は工大對工專の接戰】

拉法―蛟河中間の木橋また燒却
吉敦線の連絡は全く杜絶す
電話線までも切斷

二十八日午前三時頃吉林より東方八十五キロの地點拉法、蛟河の中間において匪賊のため木橋を燒却され且つ電話線までも切斷されてゐるのを發見したが、これがため吉敦線の連絡は全く杜絶した、因に廿七日夕拉法附近に約二千の大匪賊現れ鐵道を破壞せんと企圖しかゝる暴擧に出たものではないかと觀測されてゐる、因に電話線切斷は連絡の支障を來し二十七日午後七時三十分長春發及び二十八日午前八時二十分吉林發貨物列車は吉林に引返し急を吉長鐵路局に告げたものである、而して鐵路局においては直に二十八日午後一時復舊作業班を軍隊〇〇名援護の下に現場に向つて出發せしめた

常盤座出演中の河合ダンス日延
本社主催座談會出席者に優待券を贈呈する

今春大連演藝界最大の收穫として其の洗練された舞踊藝術を以て絶讃されてゐる常盤座出演中の河合ダンスは日増しに觀客殺到しいよく盛況を呈し本日に限り晝夜二回興行をなすが、なほ收容し切れぬので二十九日終演の豫定であつたのを特に三十日、五月一日の二日間に限り日延べして、新プログラム十種を加へて内容を充實公演することになつた、また本社主催の三十日午後四時半から大連滿鐵社員俱樂部に於ける河合ダンス歡迎座談會參加者には優待割引券を贈呈することになつた

滿鐵運動會のプロ決まる
五月一日大連運動場で開催
今年は入場勝手次第

恒例の滿鐵運動會は愈々來る五月一日午前八時より大連運動場に於て千名の大多數參加の下に開催するが、當日のプログラムは左の如く決定した、尚本年度よりは特に入場券を發行せず一般に解放することゝなつた

トラックの部

選手八百米（八時二十分）八百米（一回）載嚢スプーン（五回）選手百米（九時二十分）百米（十六回）提灯競走（十九回）登山競走（十時十分）女子スプーン（一回）載嚢提燈（一回）百足競走（一回）年齡別百米（七回）二人三脚（八回）選手二百米（十一時〇五分）陣笠競走（五回）載嚢スプーン（六回）一萬米（正午）選手四百米（零時三〇分）四百米（十六回）重荷連絡（一回）百米（十一回）女子抽籤（一回）亘啞連絡（一回）選手高障碍（一時二十五分）提灯競走（十三回）陸上ボート（三回）陣笠競走（四回）女子中等校四百米繼走（二時三十分）男子中等校八百米繼走（二時四十分）專門學校八百米繼走（二時四十五分）校系會社八百米繼走（二時五十五分）沿線支部八百米繼走（三時〇五分）選手千米繼走（三時十五分）

フィールドの部

ボール投（八時三十分二回）選手走巾跳（九時三十分）二人三脚リレー（一回）サツクリレー（一回）我慢競爭（一回）選手砲丸投（十時四十分）重荷競走（一回）選手圓盤投（十一時二十分）サツクレース（七回）選手走高跳（正午）我慢競爭（二回）選手棒高跳（一時）亘啞競走（三回）選手槍投（一時五十分）

近衞輜重隊生存者凱旋
きのふ品川着

【東京二十八日發】全滅した古賀聯隊に糧食を輸送して歸途二十五名全滅した松尾輜重隊の別動隊として錦州一帶に活躍した近衞輜重隊の生殘部隊〇名は宮澤中尉引率のもとに二十八日午前九時二十九分品川驛着同四十四分列車で悲壯極まりなき凱旋をなした、驛頭には近衞師團長始め輜重隊員二百餘名肅然と出迎へ友人親戚等一般市民五百名餘が聲を吞み無言でこの凱旋勇士を出迎へた

獨立守備隊歸還兵の謝狀

先般無事除隊して晴れの凱旋をした獨立守備第六大隊より本社宛左の如き謝狀があつた

獨立守備隊第六大隊滿期兵除隊者内地歸還のため貴地通過に際しては用務御多端中にも拘はらず遠路態々御見送り被下難有御禮申上候草々

明糖の脱税 多額の見込
再び檢事局活動せん

【東京二十八日發】明糖事件に關し連日檢事局より黒田、枇杷田兩檢事、警視廳に出張峻烈な取調べの結果帳簿上に現はれてゐる輸入原糖と精製糖生産高との間に非常な開きを存する確證を握り斯かる狀態數年間に亘り繼續されて居るからには脱税額は多大に上る事當然とし近く大藏省に脱税事實に關し通告する手筈、しかして大藏省がこの儘これを默殺せば由々しき社會問題となるため結局告發の外あるまじく同省の告發に依り再び檢事局の活動は開始さるべしと見られてゐる

味覺を唆るバナナ船
臺灣から入港

バナナ船の訪れ！味覺を唆る新鮮な生果のシーズンに這入つたので大阪商船會社では例年の如くバナナ船を仕立て、臺灣バナナの滿洲方面との大々的輸出を目論んでゐたが、愈々その第一船として志磨丸は二千籠のバナナを滿載し五月二日大連入港の筈である、銀高關係による購買力の增大や滿洲新國家成立の景氣等で今年は相當の需要增加あるものと期待され、現に臺灣蜜柑の如きも例年の四割方は增加してゐるといはれる

李子榮、李福田歸順を申出づ

安奉沿線にて横行しつゝあつた匪賊の頭目李子榮、李福田は部下約二千名を率ゐてゐたが、奉天軍第一旅の攻擊に堪えず終に第一旅に對し降服を申し込んで來たので廿八日大梨家堡子に集結せしめ武裝解除を行ふことゝなつた【安東電話】

六大學リーグ戰 早大大勝
十九A對六
對帝大決勝戰

【東京二十七日發】早帝決勝戰は二十六日午後二時三十五分帝大先攻森田（球）長澤、三谷、押、の四氏審判のもとに開始され早大は新人大下を起用帝大は高橋主戰投手を立てて對峙したが結局十九對六で早大快勝す、閉戰四時四十八分、バツテリー早大大下―三浦帝大高橋、藤田―片桐

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
帝大	0	0	0	2	3	1	0	0	0	6
早大	1	5	0	4	1	3	3	0	A	19A

安打　早大十四、帝大九

東京驛に煙突男

【東京二十八日發】今朝十時二十八分東京驛降車口の煙突に煙突男現れ「打倒清水組」を叫びたるも直に警官隊に逮捕され煙突男の〻コードの最短時間をもつて十一時[illegible]

安樂椅子

四月三十一日、大連汽船の總會で任期滿了による重役改選を行ふや、安田前社長と共に不信任を決議された前專務の增田義男氏、色々デリケートな事情が潜在するので、逸早く翌朝出帆の定期船で内地に出發し鮮かに不愉快な空氣から逃れ去つたものであつた。

◇

あれ程一時騷がれた大汽の紛擾も今では殆ど忘れられてしまつたのは正に人の噂も七十五日どころではないが二十五日入港の大連丸でひよつこりと歸つてきた增田氏は今度は大汽顧問といつた早變りで、流石に渦中の人であつただけに、新聞記者の襲擊を受けなかつたことに大なる氣安さを覺えたようであつた。

◇

翌二十六日には大汽本社に顏を出し、川村重役と事務上の打合せをしたり、埠工間近の四階建の新社屋をみて廻つたり悠々たる所をみせてゐる、内地で櫻の春を滿喫して降つてきた增田氏には更に棚からボタ餅が落ちてきさうだが總裁問題の決定と共に近く實現しそうな氣配は御當人にとつて滿更でもあるまい。

祝天長節

奉天

(順序不同)

稻葉逸好　庵谷忱　林榮　花井脩二　香取眞策　金井章次　吉川之康

立川俊三郎　中村政市　向坊盛一郎　野口多内　大野篤雄　釘宮松三郎　深川菊太郎

藤田九一郎　四方辰治　樋口畩吉　平山萃　森公平　森和一　杉本昌五郎

先川喜代次　岐部與平　昭和農業公司 熊谷貫一　臧式毅　奉天市長 閻傳紱　東三省官銀號總辦 吳恩培　財政廳長 張鵬第

奉天實業廳長 徐紹卿

奉天金曜會
正隆銀行奉天支店
滿洲銀行奉天支店
横濱正金銀行奉天支店
朝鮮銀行奉天支店
東洋拓殖株式會社奉天支店

南滿洲電氣株式會社 奉天支店

南滿洲瓦斯株式會社 奉天支店

滿洲市場株式會社

東亞勸業株式會社

奉天取引所信託株式會社

國際運輸株式會社奉天支店

奉天窯業株式會社

滿洲土地建物株式會社

附屬地料理店組合

奉天地方委員

吉川康　中村政市　山本謙幹　菊池秋四郎　鹽尻彌太郎　名和長正　萩原昌彦　三谷末次郎　石田武亥　岩崎時夫　安倍袈裟男　有川藤吉　瀬藤邦治　岩元岩次郎　鯉沼忍　七橋森吉　庵谷忱　中田卯吉郎

合名會社 森洋行
本店 奉天電話⑥二〇三一
支店 大連電話⑥二二二八
出張所 遼陽電話一一〇九

合資會社 三昌洋行
奉天千代田通三八
電話二三一二七〇六一番

奉天琴平町十一
千代田自動車商會
電話五四一七番

吉林

吉林總領事 石射猪太郎

特務機關 大迫通貞

吉林省長 熙洽

吉林領事 藤村俊房

省長秘書長 李銘書

滿鐵公所長 濱田有一

滿鮮坑木會社 吉林支店長 前田利則

泰山洋行 山下峻

吉林 木材興業株式會社

高等旅館 名古屋館

哈爾濱

萬壽無疆
東北海軍江運處處長 嚴東漢謹祝

千秋金鑑
哈爾濱電報話局局長 范培忠謹祝

宗像金吾

朝鮮銀行哈爾濱支店 箱崎文彌

國際運輸株式會社 哈爾濱支店

瓦房店

瓦房店常盤街
瓦房店電燈株式會社
支店 熊岳城

復州灣煤礦一同

復縣縣長 李端

復縣參事 荒川海太郎

瓦房店地方事務所

復縣地方院院長 蔣廉正

復縣警務局長 周宇文

瓦房店機關區

瓦房店保線區

瓦房店敷島街四番地 瓦房店金融組合

土木建築請負業 井上伊七郎 電話十六番

御料理 筑紫館 電話一五番

瓦房店驛長 石井忠一

瓦房店保線區長 林惣太郎

瓦房店小學校長 中條幸七

瓦房店醫院長 小野村米吉

瓦房店機關區長 榊原正一

瓦房店電燈會社專務 谷保太郎

松樹區地方委員會議長 山路猶龍

滿洲果樹組合理事 見坊田鶴雄

瓦房店地方委員議長 福井優

松樹區地方委員會副議長 東慶太郎

森田彦三郎

瓦房店郵便局長 鈴木悅之助

瓦房店地方委員 李紀卿

文化食堂 電話三二番

瓦房店常盤街 滿洲果樹組合

瓦房店警察署長 牧田太猪藏

瓦房店地方事務所長 越智道明

瓦房店平康里組合長 萬玉亭 電話五九番

復縣稅捐局長 胡國玉

商務會副會長、地方區西區長 林東侯 電話三四番

瓦房店滿洲日報支局 井上秀雄 電話一〇七番

明治四十年十月二十五日 第三種郵便物認可

混合委員會の權限は單に履行監視に止む
停戰協定草案修正要點

【上海二十七日發】停戰協定起草委員會は二十七日午後三時半開會、本會議に提出する草案の作成を大體終り四時半散會した、今日の會議で基本の草案を修正した點は第二條の主文中に日本軍は一月二十八日以前の地點、即ち共同租界及びエキステンションの地域に撤收す、但し**兵數多きため大部分は上海附近の別に指定せる地域に駐兵する**その修正を明記し、第四條の**混合委員會の權限は主文では單に履行を監視するといふにとゞめ、詳細は附屬文書に讓るといふ最初の案に逆戻り**した、この結果附屬文書は一通增加し四通となることゝなつた、なほ調印國は英、佛、伊、米もこれに參加するに決した、今日の會議で協定文の草案は完全に出來たので委員會は今日で終了し、後は本會議に讓ることゝなる模樣である、なほ本會議は三十日又は五月一日開かれる形勢である

停戰協定事實上成立

【ジュネーヴ二十七日發】わが代表部はランプソン公使の**妥協案が事實上成立**せる旨だけは今日ドラモンド氏に通達したが、十九國委員會の決議案に關する政府の方針、即ちその**內容如何に拘らず拘束力なしと解する點については誤解を避けるため適當の形式を整へた上追つて正式に通告**する事となつた、從つて十九國委員會はこの通告と停戰協定正式決定の公式電報とが揃つた上で議事を再開する譯である

聯盟の暗雲去る
決議案問題も急速に解決

【ジュネーヴ二十六日發】日本政府の回訓は本日午前日本代表部に到着した、よつて十九國委員會決議案問題も一兩日中に急速に解決する運びとなり聯盟も非常に滿足の意を表してゐる

【ジュネーヴ二十七日發】日支兩政府が所謂ランプソン案を受諾するとの報道で、早くもジュネーヴに低迷した暗雲は一掃され繼續委員會の決議案から刺を取り去る事もさして難事でないと觀られるに至つた、最も執拗に十一項を固執した一代表は「兎に角日本が協定の趣旨を尊重する限り目出たい結末を見る事が出來やう」と語つた

卅日聯盟總會を開會

【ジュネーヴ二十七日發】十九國繼續委員會は二十八日午後五時から非公開會議を開き上海の停戰交涉に關する修正決議案を決定した上、三十日公開會議を開く豫定であつたが停戰交涉も聯盟の關する限り一段落したから特別總會を開く事を要求してゐる者もあるので三十日聯盟總會を開くことに決定した、然し大國代表側では總會を開く事となつても全く經過報告に止め小國代表が演說で氣焰をあげる事を許さぬ方針だから總會が開かれても大して紛糾はせぬものと觀られる

【東京二十八日發至急報】二十八日長岡大使より外務省への報告によれば、繼續委員會議長イーマンス氏、聯盟事務總長ドラモンド氏と協議の結果、三十日午前聯盟總會を召集に決定した

松岡特使御進講

【東京廿八日發】天皇陛下には二十八日午後二時松岡洋右氏を召され上海事件につき約一時間半御聽取遊ばされた

緊張せる停戰會議の日本代表

修正案文作成懇談

【ジュネーヴ二十七日發】長岡大使は今朝十時事務局で英外相サイモン氏、事務總長ドラモンド氏と會見し、本國政府の回訓並に現地からの報告に基き十九國繼續委員會の決議修正案文作成につき懇談を遂げた、案文の主要點については未だ意見の一致を見ない部分があるが本日中には大體修正案文が纏まる見込みである

松平大使英代表訪問

【ジュネーヴ二十七日發】松平大使は、今朝十時半マック首相を訪ひランプソン公使の斡旋により上海交涉の難局が打開されたるを謝し更に十一時長岡大使と共にサイモン英外相を訪ひ、十九國委員會決議案の修正に對する日本の態度即ち決議案の內容が如何に修正せらるゝもわが行動につき拘束力を持つものとは解せられざる旨說明し十一時二十分辭去した

內田總裁の留任は期限附に非ず
理事の辭表も自然消滅となる
門司にて 八田副總裁語る

【門司有村特派員二十八日發】八田滿鐵副總裁は夫人同伴うすりい丸で今朝門司に着くと、正午出迎への人々と挨拶した後、記者に語る

昨年十月貴族院の視察團に加つて滿洲各地ハルビンまで行つた事もあり、測らずも今回滿鐵副總裁に就任したが、內田總裁には國分萬く(?)からお世話にもなつて居り懇意でもあるから赴任後は總裁の女房役として懸命に働くつもりだ

內田總裁の留任期はリットン卿一行の滿洲視察の終るまでとの說に就ては時局重大の今日總裁の御留任は各方面で希望して居るので留任されたが、右の如き期限を附した條件で留任されたといふことは聞いてないと聞いて居る、自分もこの信賴の下に赴任するのである、赴任後なるべく早く滿洲新國家に一應挨拶したいと思つてゐるが、總裁と打合せ事務が忙しいからと思ふから何時新京を訪問するか未定だ、滿鐵增資問題もあるが增資より差當り本年度の資金調達が必要である、理事の辭表は總裁留任で自然消滅となつたわけだ

と語つた、それから上陸下關山陽ホテルに向つたが同所で林貴族院議員など、會員後陸路赴任の途についた

聯盟調査團けふは中間報告作成會議
軍司令部訪問は中止

本庄軍司令官と聯盟調査委員との會見は二十八日も行はれる筈であつたが、委員達は中間報告の作成を急ぐため二十八日はそれを中止してこれに專心することに決定午前十時三十分英國總領事館に籠り人拂ひして會議をつゞけた但し報告書の發送日は未定である【奉天電話】

調査團日程 作成委員會組織

聯盟調査團今後の日程を出來るだけ早く纏めるため、今回これを研究する小委員會を組織することになり、調査團からはジャレール氏が加はり日本側からは軍部、滿鐵、領事館、日本側團員等の各關係者が參加(支那側も參加)の上その第一回委員會を二十七日午後五時から開いたが、今後一行の日程は本小委員會で原案を作成する筈【奉天電話】

中間報告は參與員に提出

聯盟調査員が五月一日迄に聯盟本部に提出する中間報告は出來上り次第先づこれを日支兩國の參與員に見せた上、直にジュネーヴに向け電報で發送される筈であるが、これが公表されるか否かは聯盟本部理事會で決せられることで現在は不明であると【奉天電話】

四巨頭會議延期
ス米國務長官歸國

【ジュネーブ二十七日發】マックドナルド、スチムソン、ブリユウニング、タルヂユの英、米、獨、佛四國巨頭會議はタルヂユ氏の來壽を待つて二十九日開かれる事となり軍縮問題、全歐洲の政治問題解決の鍵となるものとして注視されてゐたがボンクール氏は本日マック、スチムソン兩氏に對しタルヂユ氏の二十九日の來壽不可能なる旨通告して來た、斯くてスチムソン氏は二十九日カンヌよりイタリー汽船にて一旦歸國する事となりしため多大の期待を懸けられた四巨頭會議は全然中止ならぬも一先づ延期の已むなきに至つた

侵略的武器廢止と日本の主張點
齋藤軍縮委員力說

【ジュネーブ二十七日發】軍縮委員會は昨日に引續き侵略的諸武器の決定問題を審議したが如何なる艦車が侵略的なるやに關し各國委員間に著るしい意見の相違が存することが愈々明白となつた、日本委員齋藤博氏は左の如く述べた

日本は左の理由によつて航空母艦及び飛行機發着甲板裝置の艦艇は明かに攻擊用兵器なりと思惟するものである

一、空軍力に可動性を加へる事
二、强力なる攻擊的動作をなし得る事
三、艦艇の攻擊的性質を增加する事
四、沿岸防禦のための兵器としては不要なる事
五、新式兵器なるが故に特に效果的である事
六、海上並びに陸上にても活動し得る事

よつて航空母艦及び發着甲板裝備の艦艇は軍縮本來の目的に全く相反するものであり、今次の會議にて斯る武器を禁止するは時宜に適したものである

なほ日本は戰鬪艦及び潛水艦については次の如く日本の主張を明らかにした

一、戰鬪艦は特に攻擊的武器と見做すことが出來ぬ
一、潛水艦は速力緩く活動期間短き故攻擊的武器といふよりも寧ろ防禦的武器である

次でアメリカ委員ヘプバーン少將は潛水艦以外の艦種を單獨に攻擊的となすことを强調し、最後に勞農代表ヴエントツオフ氏は戰鬪艦並にワシントン條約輕巡艦の一部が他國領土の侵略具となるとの見解を表明して散會した

自國軍縮維持し得ずば對策考慮の要あり
會議に失望の英首相語る

【ジュネーヴ特電二十八日發】軍縮會議を機會にジュネーヴに集まつた各國巨頭は失望を抱いてそれぞれ本國に歸還することになり(スチムソン米國務長官は二十九日ジュネーヴ出發)華々しく開かれた軍縮會議も今や完全に前途の光明を失つたが、マクドナルド英首相は各國が軍縮に誠意を示さぬ以上、イギリスも亦ロンドン條約に所謂エスカレーター條項を援用するの要あるべきを說いて曰く

ロンドン會議では各國代表部の首腦は專門家の細目の審議と同時に政策の大綱を決したが、この一週間余はロンドン會議當時と同樣の努力をした、又この一ケ月間ロンドン條約に佛伊の參加を求め五國條約とすべく熱心に努めた、要するに軍縮は國際協定による外なく、**若し他國が軍縮に同意せずイギリスが自國の軍縮狀態を維持し得ぬことゝなれば**ロンドン條約に所謂**エスカレーター條項を援用**するか否かを或は考慮せねばならぬかも知れない【寫眞はマクドナルド氏】

同意意思表示方法
わが代表部政府に請訓

【ジュネーブ二十七日發】日本代表部は十九國會議で決定さるべき決議十一項の代案內容が同意を與へ得べきものなる時、如何なる形式で同意を表明すべきか本國政府に請訓し打合せ中なるが、聯盟が自己の見解により日本を拘束する態度を採る場合は之を拒むは勿論若し同意を與へる場合日本としては決議の趣旨を尊重する、此間の關係を現す適當な意思表示を爲すにつき二十八日中に回訓あるものと期待されてゐる

六月以降事變費
二億八千五百萬圓

【東京二十七日發】政府は既に滿洲事變四、五兩月分經費として陸海、外三省及び關東廳の分を合して六千萬圓支出を臨時議會に提出し協贊を經たが、六月以降の分は目下關係者より大藏省に要求提出折衝中だがその總額二億八千五百萬圓の巨額に上るその內譯は左の如くである(單位千圓)

外務省	二、二〇〇
陸軍省	二〇、五〇〇
海軍省	五、〇〇〇
拓務省	三〇五
朝鮮	二〇〇
關東廳	三〇〇

にして四五兩月分を合すると七年度全體では實に三億四千五百萬圓の巨額に達し、大藏省でも全く財源難に窮して節減に奔走してゐるが、各省も共同戰線を張つて頑强に右要求を固持してゐるので之が決定迄には非常な難關が豫想される

調査團離奉期未定

【奉天二十七日發】聯盟調査團滯奉中のプログラムは現在五月二日午後までは既に決定しをり斷つてそれまでの滯在は確定的であるが離奉期は未だ不明である【奉天電話】

佛首相病臥

【パリ二十七日發】フランス首相タルヂユ氏は急性咽喉炎のため病臥二十九日のジュネーヴ行きは中止された

內地人の滿蒙觀異見が多い
在滿邦人達の指導を望む
東郷貴院議員來連談

貴族院議員東郷安男爵は廿八日入港香港丸で來連した、同男爵は既に數回に亘り滿蒙を視察し貴族院における滿蒙通として知られてゐるが、今次の視察によつて議會における諸材料を集めるべく滿蒙視察後は更に上海事件調査のため南支に向け出發すると、船中に男爵を訪へば語る

昨年の事變以來內地においては公私共に滿蒙熱に煽り立てられ各方面より滿蒙事情を映畫や講演さては新聞雜誌等の刊行物で知つてゐる、しかし未だに內容が區々ではその**種々雜多**な意見が吐かれて認識を確めるに迷はされるやうな始末である、從つて大體の目的としては現地を見て在滿官民各方面の人々の現在及び將來に對する方針が奈邊にあるかにつき正視する考へで一通り要路の人々の意見を聞きたいと思つて來た、今日はすぐ連絡列車で奉天へ向ひ同地にしばらく居つてそれから北に進み再び大連に引返し上海事件を調査し現狀視察の上議會開會に間に合ふやうに歸國するつもりだ、內地の人達の滿洲の**見方の異**なる一つの原因は滿洲の方に統一した意見がないためではないかと思ふ、要するに滿洲に於て輿論を統一し、內地の意見を指導してほしい、自分は屢々當地に來てゐる、大正二年にも貴族院の一行と共に來た、貴族院の滿洲問題に對する意見としては未だ各方面から種々聞いたり或は調査團を組織して見たりしてゐる時機で政府に對する方針といつたものもまだ決定してはゐない【寫眞は東郷男】

滿鐵重役會議

滿鐵では十八日午前十一時より總裁室において重役會議を開催、大森、首藤、十河、山西各理事、山崎總務部次長等參集の上十河理事より聯盟調査團の奉天における調査狀況、狩田鐵道部次長より東支鐵道貨車の露領引入問題等に關する報告を聽取したが同日午後二時より續開した

毛內中將等豫備役仰付らる

【東京二十八日發】十一日待命となつた陸軍武官は二十八日豫備役仰付けられたその主なる者左の如し

中將 毛內靖胤
同 深見新之助
同 鈴村吉一
同 井上璞
同 猪狩亮介
少將 中川金藏
外十一名

鐵脚爆破、列車妨害、恐るべき大陰謀の正體發覺に判明、黃色火藥の臭氣紛々、赤テロの黑い肚が白日の下にバク露されたわけだ。

◇

暗黑の停戰會議、支那のランプソン案受諾でやゝ明るくなつた。

◇

と思ふ一方では早くも猛烈な反對運動が始まつた。ランプソン案果して光明を齎すかどうか。

◇

英、米、佛、獨の四頭會議延期に流れ、軍縮會議の前途はなほ暗い。

◇

明日は天長節、寶壽の無窮を祝ぎ奉る。

◇

世は正に春、自然は櫻、梨、杏花、花、花の世界となつた。

お斷り

廿九日天長節につき奉祝のため休業二十九日夕刊(三十日附)並に三十日朝刊は休刊致します、惡しからず御諒承願ひます

廿八日 滿洲日報社

六十二議會召集詔書

【東京二十八日發】六十二議會召集の詔書は本日官報を以て左の如く公布された

詔書

朕帝國憲法第七條及第四十三條ニ依リ本年五月二十三日ヲ以テ帝國議會ヲ東京ニ召集シ十四日ヲ以テ會期トナスヘキコトヲ命ス

御名御璽

昭和七年四月二十六日

各大臣副署

人事

▲東郷安氏(貴族院議員男爵)二十八日入港の香港丸で來連
▲湯川章友氏(陸軍士官學校長陸軍中將)同上
▲中野直三氏(陸軍士官學校本科生徒隊長步兵大佐)同上
▲多田駿氏(關東軍司令部附砲兵大佐)同上
▲菅野謙吾氏(關東軍司令部附步兵少佐)同上
▲楊三多氏(臺灣林家代表)同上
▲陸軍士官學校職員史蹟旅行團三百二十九名同上
▲小山貞知氏(滿鐵囑託)二十八日香港丸にて歸連
▲寺島由松氏(辯護士)同上
▲岩島鐙三氏(大連聖愛醫院長)同上
▲古澤豐太郎氏(政友會代議士)二十八日出帆のはるびん丸で歸國
▲倉本要一氏(政友會代議士)同上
▲中村豐一氏(北海道帝國大學醫學部教授)同上
▲緒方大象氏(長崎醫科大學教授)同上
▲前田久藏氏(關東廳武道教師)同上
▲國松文雄氏(前大朝大連特派員)本社詰に榮轉夫人同伴同上
▲セメヨノフ氏 二十八日出帆の長平丸で天津へ
▲中尾桂一郎氏(遞信局事務官)二十八日午前七時着列車で來連ヤマトホテルに投宿
▲佐藤讓氏(遞信局事務官)同上

東亞の謎(255)
國枝史郎
挿畫 伊藤順三

墓は?寶庫は?(二)

一脚の寢臺が置いてあつたが、その上へ洋子はそつと寢かされた。

「まあ」と思はず洋子は云つた。

室の樣子があまりに美しく、あまりにも異樣であつたからである。

遙か向ふの部屋の正面に、巨大な古代の蒙古武將の、騎馬の彫像が置いてあつたが、着てゐるところの甲鎧の金具は、ここごとく黃金で出來てゐた。成吉斯汗の像なのであつた。その背後に數段高く大理石の階段が出來て居り、その奧に天上の五彩の虹を、地上に持つて來てはりつけたやうな、眼も綾な絢爛たる大扉が閉されたまゝで聳えてゐた。剛玉、紅玉、猫眼石、蛋白石、柘榴石、さういふ種類の寶石で、裝飾されてゐるらしく、打ち付けられてある金具さへ、黃金であり鐵であるらしかつた。

奧にも室があるものと見える。

その大扉を中央にして、その左右の岩壁には、入れ込みになつてゐる巨大な壁畫が、乾燥した沙漠の地下の室に在る、さういふ爲めもなく、よく保存されて掛けられてあつた。成吉斯汗時代の蒙古軍隊が、戰爭や駱駝や馬に乘つて、敵を攻擊してゐる畫であつて、立派な堂々たる美術品であつた。

さういふ正面の美しい裝飾に、眼と心とを奪はれた洋子は、しばらくの間ぼんやりとしてゐたが、(お爺さんは?)と氣がついて、自分の周圍を見廻した。

老人は側にゐなかつた。

(何處へ行つたのかしら?)と室中を見た。

すると騎馬像の背後にある、例の絢爛たる巨大な扉が、徐々にひらかれるのが見えてきた。何時の間に其處へ行つたものか

そこに例の老人がゐて、手で扉を徐々にあけてゐた。ゆるやかに老人は振り返へり、

「おいで」

といふやうに頷いて見せた。

そこで洋子は寢臺から下りて、老人の方へ歩いて行つた。

また心は恍惚としてゐたが、しかし足はたしかであつた。騎馬像を巡り階段を上がり、巨大な扉の前まで行つた。

老人は奧の室に這入つてゐた。

洋子も奧の室へ這入つて行つた。が、この室の光景は前の室よりも更に絢爛であり怪奇であり、豪奢であり壯麗であつた。さうして實に豐富であつた。

革袋に入れた砂金の山が、その口から砂金をはみだたせ、堆高い迄に積まれてあるかと思ふと、金銀で裝はれた、巨大な百數十個の寶物箱が室の一所に並べてあり、その中には成吉斯汗が征服した國の、わけてもトルキスタン方面の寶石類や貴金屬類が、これも無雜作に雜然と、投げやりの態で入れられてゐた。

天井からは數百本の旗や、幡や、纛や、が、襤褸でも下げたやうに、下げられてゐた。さうして四方から搶擄したらしい、佛蘭機や砲石や天獸砲や、さういつたやうな火器の類や、戈や矛や鉞や、劍や長興鎗や斧や瓢石や、さういつたやうな武器の類が、壁の兩側に懸けつらねられてあつた。

かういふ光景に恍惚としながら洋子はしばらく佇んでゐたが、正面にある巨大な扉が——その扉も前室の扉と同じく、琥玉と彫刻と延べ金とによつて、虹かのやうに華やかに裝飾されてゐるのであつたが、その扉があいたので、その方へ急いで眼をやつた。

老人がその扉をあけてゐた。

我軍松花江を下航し反吉軍の本據を衝く

中村〇團汽船二隻に分乘し方正を通過し三姓へ

【ハルビン特電二十八日發】松花江下流方面に蟠居して東支東部線方面にまで魔手を延ばしてゐる反吉軍の本據を衝くべく村井〇團と相呼應して第〇〇團中村〇團は二十六日拂曉より樺川、依蘭を目ざし汽船二隻に分乘し、軍艦〇隻に掩護されながら威風堂々舳艫相啣んでハルビン埠頭を出發した、途中敵の襲撃を豫想し警戒怠りなく前進したが、敵影を見ず無人の境を行く如く二十七日方正に到着、同地附近も反吉軍は早くも姿を隱し、吉林軍が進出してゐたので豫定通り廿八日夕刻には三姓に到着の豫定である、三姓は李杜軍の本據地で丁超も同地に潜伏してゐる模樣である、或は敵は飽く迄皇軍の入市を阻止するやも知れず中村〇團は戰鬪準備をとゝのへて接近しつゝあり三姓には邦人約四十名在留し殆ど監禁同樣外出も出來ぬ有樣であるが皇軍の入市により無事救出されるものと思はれる

東部線石道河子全滅

【ハルビン二十八日發】東鐵東部線石道河子は兵匪の放火掠奪で全滅となり同方面より露滿鮮人約一千名ハルビンに避難して來た、海林方面に在る村井〇團は極力治安維持に當り住民は皇軍の活躍に感泣してゐる

通化の在留邦人は領事分館避難

縣城は義勇軍が占領

廿六日通化を發した興津副領事の使者は廿七日午後七時頃平北懲城警察署に達し直に安東領事館に打電して來たがそれに依ると通化は二十六日遼寧民衆義勇軍により完全に占領され、滿洲側に外人保護の力なく在留邦人婦女子は領事分館に收容保護中なるも形勢刻々惡化しその成り行き頗る憂慮され至急應援隊を派遣されたしと【安東電話】

威風堂々と警官隊奉天出發

北山城子で下車してトラックで通化急行

通化方面の暴動ますく重大化し同地方居住邦人の生命財産は刻々危殆に瀕しつゝあるため奉天、安東、撫順、公主嶺、四平街、鐵嶺、遼陽、奉天等の各警察署から選拔した警官隊二百七十名は酒井警部指揮の下に二十七日午後威風堂々奉天署前を出發、邦人保護の重大任務についた

これより先各警察より選り出された猛者連は銃劍、日本刀、水筒、外套などそれぐ堅固な武裝をなし第一大隊を編成しそれに機關銃隊、砲兵隊、喇叭手、輜重隊まで編成參加した

午後五時半となるや一同は奉天署の裏庭に集合し立川奉天署長は一同に對して通化、桓仁方面の叛徒はますく其の勢力を增大し通化領事分館では死を期して守つてゐる有樣であると同方面の逼迫せる狀況を報告後

諸君は同方面の邦人保護の重大任務を帶びて出發するものであるからこの重大使命を完全に達せられ凱旋せられんことを望むとの一場の訓示に對しいづれも悲壯な決心をなしそれよりトラックに分乘奉天瀋陽驛に向ひ午後八時發列車で東行したが右警官隊は北山城子に下車し同地より更にトラックに分乘し通化に向ひ出發する筈である、また北山城子にある于芷山の軍隊より二十八日討伐隊が出動しまたこれが掩護のため軍部より飛行隊も出動する筈である【奉天電話】

トラック顚覆 巡査四名負傷

警官隊が奉天署前よりトラックに分乘し瀋海驛に向ふ際奉天タクシイ運轉手鮮人李正道(二二)の運轉せるトラックは東拓北側のカーブに差しかゝるや突然顚覆し滿載の警官隊はアワや下敷きとならんとするの大騒ぎを演じたが取調べの結果、中村豐作、安永末雄、副島邦市、山崎春一の四巡査は手、顔、頭部にそれぐ全治一週間乃至二週間を要する擦過傷及打撲傷を負ふたのみで濟んだ、負傷者は何れも醫大醫院に入院せしめ治療中で四巡査は安東署員である【奉天電話】

各地を講演して輿論を喚起した

滿洲とは馴染の深い多田砲兵大佐が來任

さきに京都第十六師團附として來滿し記憶に新しい砲兵大佐多田駿氏は今回關東軍司令部附に榮轉し第十二師團參謀から同じく榮轉した菅野謙吾少佐と共に廿八日入港香港丸で着任したが、多田大佐をサロンに訪ふと語る

昨年の四月滿洲を引揚げた許りで歸ると早々例の滿洲事變なんだから全く武運に惠まれないと云へよう、駐劄當時から支那側の無謀な行動に切齒扼腕してゐたのにいざ爆發となると他の部隊がすつかり勇ましい所を見せてしまつておまけに又後始末に來た樣なものだ、自分達は昨春京都に歸つてからは滿洲問題についてしきりに講演して廻つたものだ、第十六師團司令部が恐らく內地輿論喚起の第一線に立つたといつても過言ではあるまい、又他の大都市に先んじて防空施設をなし五十萬圓の金を投じて高射砲の設備等をして防空演習をしたのもトップを切つた樣なわけだ、目下內地の者はたゞ滿洲々々と熱許りあげてゐるが統一した意見がない樣だ、それにはどうしても滿洲から正しい意見を出しこれを統一し內地に反映さす事が必要である【寫眞左多田大佐と菅野少佐】

二宮尊德像また被害

大廣場小學校

旣報の彌生高女と朝日校の校庭に建立されてゐる二宮尊德翁の銅像左手を叩き折つて盜み去つた怪事件は各學校當局者の神經を尖らせてゐるが、今度は大廣場小學校の二宮尊德翁の銅像が片輪者となつてゐるを二十八日朝になつて發見された

犯行は二十七日夜から今曉にかけて行はれたもので、これも尊德翁が本を持てる左手の二の腕から叩き折られ、斧の柄も盜み去られをり所轄大連署では躍起となつて犯人搜査に努めてゐる

內地人移民より鮮農の保護

中村醫學博士視察團

去る十五日來滿した北海道帝國大學醫學部の中村豐教授はその後奉天、長春を中心に移民と民衆衞生に關する調査を續けてゐたが、大體の調査を終り廿八日出帆のはるびん丸で歸國の途に就いた、出帆前船中にて語る

自分は來滿に際して集團移民は時期尚早で先づ相當の學識と經驗を持つたものをパイオニヤとして滿洲に送り、その調査と體驗によつて移民を行ふべきだと云ふ主張を持つてゐたが、約半月の視察調査の結果、自分の持論が正確であつたことを知つた滿蒙は未だ創業の時で育成の時ではない、治安未だ完全に定まらぬ滿蒙に移民を斷行するよりも現在旣に入込んでゐる鮮農の生活を完全に保護してやるとに努めればなるまい、自分は奉天長春で民衆衞生を調査したが、割に非衞生な生活をしてゐる滿洲國民衆が流行病の魔手に對してこれ程抵抗力を持つてゐるかを考へて研究たらざるを得なかつた、滿洲國の醫學はまだく幼稚だ、若かくして海外發展を志ざしてゐる日本の青年醫學徒が活躍すべきは滿蒙の天地だ、定められたる天職醫學のためにも、日滿兩國親善のためにも、青年醫學徒の滿蒙發展に歸國後努力する考へだ

旅順の除隊兵

旅順〇〇隊三年兵〇名は二十八日朝除隊式を擧行し午前九時三十五分發列車にて增田曹長引率の下に凱旋歸國の途についた、出發に當つて永山市長より挨拶を述べ見送りの官民、學生、兒童は例の如く國旗の波、怒濤の如き萬歲の聲を浴びせた、日下內務局長、關原地方課長、米內山民政署長、久保田海軍駐在武官その他官民多數は盛なる見送りをなした

吉敦線不通 蛟河鐵橋を破壞

吉林から修理班急行

二十八日午前中滿鐵鐵道部に達した情報によれば吉敦線蛟河鐵橋を破壞し鐵道線路をはづし電柱を切倒したるものあり電信電話一切不通となり取敢ず吉林よりモーターカーを以て修理班を發せしめたが詳細は未だ不明である

明日火蓋を切る 關東州野球大會

興味をそゝる二試合

野球シーズン劈頭の大會として野球ファン待望の本社主催の第十七回關東州野球大會の幕は愈々明二十九日より切つて落される、正十二時參加九チームの入場式を行ひ前年優勝チーム國際運輸チームより優勝盃優勝旗の返還後佐賀本社營業局長開會の辭を述べ選手觀衆一同起立脫帽の上君ケ代を合唱し佐賀營業局長の發聲で天皇陛下萬歲を三唱して聖壽の無窮を祈り奉り同遙拜式後第一回戰を承る消費組合對大連OB俱樂部戰の火蓋は竹內民政署長の始球で切られるOBは岸、安藤、大門、高須、中島、福山、平田等球界の先輩を以て組織されたチームである消費組合は吉野、野田、古味、小池等の現滿俱選手に二神、南條、大橋、宗正、井上、綠川の蒼滿俱選手を以て組織された優勝候補チームであるから組合の勝利は確實とされて居る然し何にせ球界古强者を以て組織されて居るOBチームのことゝて如何なる奇襲に出づるや計り難く勝敗を度外視した興味がひそんで居る

第二陣を承る國際對鐵道部戰は大會優勝戰としてはたまた準實滿戰としてファンを殺人的熱狂に導くものであらう

即ち國際は木下、因藤、渡邊の實業のバッテリーに山田、立石、藤濱、北島、宮武と實業團の內野手を以て陣を堅め高橋主將、藤澤、德永の新人を率ゐて外野を守り水ももらさない守備振りである、これに對する鐵道部チームは濱崎、山口の滿俱の投手を鍛へ濱崎、疋田、花滿、伊藤、高須と滿俱打擊陣の中心選手を以て組織されて居る、守備と打擊の戰ひはたしていづれが勝を制すか、興味はいやが上にもそゝられる

又第二日目たる三十日に行はれる大連商業對旅順工科大學戰は前者は德永主將、工藤、梅本等の中心選手の卒業に遇ひ全く新陣容を以てチームされ後者は未知數のチームとされて居る、大商六分旅順四分の戰ひと豫想されて居るが工藤ふき後のサウスポー出口が如何なる戰績を殘すか興味を以て迎へられて居るものである、なほ第一二兩日出場のメンバー左の如し

▲大連OB俱樂部　岸、田中、兒玉、安藤、田邊、高須、中島、福山、岡部、林田、森田、中川、山本、平田、大門、淸水、加藤、中澤、濱田

▲消費組合　吉野、南條、二神、野田、古味、大橋、宗正、井上、綠川、小池、工藤、梅本(弟)

▲鐵道部　濱崎、山口、田村、疋田、山下、勝田、花滿、伊藤、高須、櫻井、北澤、杉崎、岩本、飯村、土井

▲國際運輸　木下、因藤、渡邊、山田、立石、藤濱、北島、宮武、藤澤、德永、高橋、石河、永野、菊川

▲大連商業　五味川、杉村、深川、志摩、藤原、出口、板井、內海、秋山、北島

▲旅順工科大學　野上、佐竹、伊藤、池江、稻澤、濱野、佐々木、龍山、柴田、愛甲

新戰場を訪れ先輩を弔ふ

士官學校旅行團來る

陸軍士官學校本科生徒三百名は同校々長瀨川章友中將並に生徒隊々長中野直三大佐外戰術教官七名、隊長以下十三名の引率者に伴はれ廿八日入港香港丸で戰史旅行團として恒例の如く來滿したが今年は滿洲事變に刺戟され生徒一同の心組みに先輩の鮮血によつて彩られた新戰場を弔ふため緊張し切つてゐる、生徒隊長中野大佐を甲板に訪ふと

今度は瀨川閣下も同行下さつて更にこの視察旅行を意義深いものにしてゐます、旅行は全く戰時訓練の意氣込みです、べて軍規正しき行動をなし先輩諸將軍にはづかしくない樣な態度をとるつもりで居ます、例年この旅行は行ふのだが今年は殊に意味深いです、精神的によき糧となれば好いと思つてます

上陸と共に準頭ビル屋上に登り佐伯滿鐵囑託中佐の說明を受けた【寫眞は準頭ビル屋上の一行と瀨川校長】

實地に體驗して軍事知識を增進

瀨川士官學校長語る

陸軍士官學校戰史觀察旅行團と共に二十八日入港香港丸で來連した同校校長瀨川章友中將を香港丸サルンに訪へば語る

自分は一昨年の二月第十六師團の駐劄中長き邊りの思召した傳へるため滿洲軍隊慰問に來た事があるから滿洲の軍隊の駐在してゐるところは大抵知つてゐる今度は士官學校の生徒三百名を連れて來たのだが日清日露役等の過去の戰跡を觀察すると同時に新たに突發した事變によつた勇戰奮鬪した先輩の功績を偲びこれを自己のものとし軍事智識の增進を圖り廣く見聞して實地に體驗して行かうと云ふので夜はなるべく列車の中で寢る等、困苦缺乏に耐える修養も積もうと云ふのだ、自分は日露役當時は擧梅にゐたので滿洲は約十日間長春迄行く、直後に來た樣なわけだ、今日は旅順の戰跡視察の豫定である

戰死傷者遺族の全國後援會生る

百廿萬圓の基金募集

【東京二十八日發】帝國軍人の戰死者、戰傷病者中不遇なる家庭に對し永久的慰問、救護の實を擧ぐるため戰死者の遺族傷病兵全國後援會を創立する事となり二十七日午後六時一ツ橋教育會館に創立總會を開き來月上旬より實行に着手する事となつたが、全國から百二十萬圓の基金を募集し之を財團法人としその利子を事業遂行の經費に充つる方針であると

授業料を徵收せぬ

戰死傷病兵の子弟小學生

【東京二十七日發】文部省では從來戰傷病者の子弟に對し市町村立小學校授業料を減免して來たが、今回更に其の主旨の徹底を期する事となり從來戰傷死者子弟の授業料を減少し又は免除する規定を改め全然徵收せぬ事に決定、兵役に服して公務のために死亡し又は傷痍を受けた者若くは疾病に罹つた者も下士以下の軍人の子弟に限り授業料を徵收せぬ事になつた

電車スリが橫行

日本人で大膽な犯行

二十七日午後一時ごろ市內伏見町十一番地橋達之助が初音町から中央公園に至る七號系統電車內で突き飛ばつた日本人から現金五十四圓入の蟇口をスリ取られ下車して後それと氣付き大連署へ訴へた、また同日午後四時ごろ市內浪速町七五番地橋本好太郎が萬歲街から吉野町に至る四號電車內で一圓八十六錢と認印一個在中の財布をスリ取られ大連署へ屆出た、手口から見て連日電車乘客の懷をねらひ廻る邦人スリ犯人でそれらの大膽な仕業に刑事連も舌を卷いてゐる

御物金銅佛 一體發見

犯人自白せず

【東京二十八日發】上野博物館の佛像盜難事件の犯人については警視廳に有力な被疑者として留置中の元商工政務次官松村義一氏の秘書と稱する出版信を追及したが言を左右にして事實を供述せぬので二十七日朝來外部搜査に努めた結果出頭の憔悴石川しよう(二一)四谷傳馬町一ノ二九中林廣吉方の部屋から盜まれた觀音像一體を發見しやうやく警視廳に引致し取調の上同夜は警視廳に留置した

出頭はそれでも自白せず、しようは十六日何も知らずに出頭から預つたと述べてゐるが、旣に一體を發見せる上は後の二體も間もなく發見し得るものと警視廳では大いに活氣附き上野博物館では大島館長以下ほつと一息の態である

吉川牧場主 無罪判決

直に檢事控訴

鞍山北三條通一丁目吉川牧場主吉川秀藏(三七)及び同人經營の鞍山タクシー修繕職工片山仙多(三二)兩名にかゝる放火、詐欺事件は微妙な法律上の見解から公判の成行を注目されてゐたが廿八日大連地方法院長島裁判長から證據不充分の廉で無罪の判決が言渡された、井關立會檢察官は直に檢事控訴の手續きを執つた

ベンゾイリン事件續行公判

ベンゾイリン續行公判は引續き二十八日午前十時半より開廷、大田黑辯護人は第二回の正誤は全く僞造の原議に基づき公布ぜるものなれば何ら法律上から力なし、一片の印刷物に過ぎないとの骨子に基き無罪論を主張正午一先づ休憩した、午後一時からは更に秋山、中村兩辯護人の辯論あり、明二十九日は天長節につき休廷、三十日引續き辯論の豫定

空家に放火か

二十八日午前十一時ごろ市內西公園町百十九番地空家(大塚靴店所有)から出火し家屋內の一部を燒いたのみで鎭火したが、同家は數ケ月前から空家となつてをり全く火の氣のない處なので大連署では放火とにらみ搜査中

大山通小火 二十七日午後八時十分ごろ市內大山通七九番地田尻宗三郎方臺所から出火消防署の出動で直ちに消し止めたが原因は煙突掃除の不完全から

天氣豫報 二十九日

南西の風 晴後曇

各地溫度

	廿八日午前十一時	昨日の最低
大連	一五、一	六、六
旅順	一三、六	五、三
營口	一一、四	七、二
奉天	一二、五	五、七
長春	八、八	一、〇

武門血笑記 (129)

下村悦夫作
布施長春挿畫

暗夜行 (三)

善右衛門と、照枝の二人が犬ころのやうに身を屈めて、忍び込んだのは、主殿達の聲の聞える書院の縁側の下であつた。

縁側から奥の床下には岩乗な據木が塡つてゐて入る事は出來なかつたが、二人の頭の上の部屋で、大聲に喋舌つてゐる主殿の聲は、四邊が靜かなだけに、二人の耳には、手に取るやうに聞えた。

「どうぢや、穴藏の中の居心地は。まる一日飮まず食はずで暗闇の中に坐つてゐては、少々參つたであらう喃、はつはつは……」

と、高笑ひ、主殿の話聲はまだ續く。

「だが、其方も仲々の奴、一筋繩では白狀しまい、今其方の會ひたい女をこれへ連れて來て、見せてやらう」

と、主殿は、家來に何かを命ずる樣子。

話の樣子で、主殿が穴藏の中の作樂に云つてゐることは解るが、作樂の聲は、どうしたものかぷつつりとも聞えない。

間もなく、家來の者が、何處からかお梨花を連れて來たと見えて

「うむ、女をこれへ連れて參れ」

と主殿の聲。

「どうぢや、見えるか、よく見ろ其方が命を的に奪ひ返しに來た女ぢや、うむよし、で——そちが、どうしても、江戸へ來た用件を明かさず、あの女の居所も知らさぬと云ふなれば、この女の首を打ち落す迄ぢや、そちの健氣な心に免じて首だけは呉れてやるから、十日でも二十日でも、飮まず食はずで命の續く限り可愛がつてやるがいゝ、はつはつはつ、さあ返事をしろ」

飽くまでも殘忍性を帶びた主殿の物凄い聲、と、續いて、ヒュウと風を切る太刀音、主殿が刀の鞘を拂つて、秘藏の大兼光に素振を呉れたものらしい。

照枝は、はつとして、高鳴る胸を抱きしめて、息を呑んだ。

と、その瞬間——

「待てッ!」

四邊に響く作樂の凛然たる叫び聲、穴藏の底に居ると見えて、籠

枝達の隱れてゐる處よりも、もつと低い地の中から聞えて來る。

「何に?」

「見よ、人非人、一歩でも動くと撃つぞッ」

「あッ」

「御前!」

「此奴!」

「已ッ!」

主殿と、家來達の憤怒と、驚きの聲が入り亂れた。

「騷ぐなッ、騷ぐと撃つぞ、この隙からこうして狙へば、その左の手を釣つた白木綿が丁度よい的ぢや、はつはつは……」

作樂の大膽不敵な笑ひ聲。

「が、まあ聞け、公儀直參、然も高祿を食む旗本ともあらう者が、か弱き婦女子を捕へ、それを囮に天下の櫻徽を探らうとする、その愚や笑ふべしぢや」

「だ、默れッ」

主殿の叩ゆるやうな怒號。

飽くまでもその女を斬られると云ふならば、郡谷殿、貴殿の命は、この一發で申し受ける迄ぢや!」

作樂の身命を賭した烈々として火を吐くやうな熱辯、然も、條理整然たる言葉に、主殿を初め家來の者は、氣を呑まれたと見えて、暫くの間はぷつつりと云ふ者もない。

「一葉落ちて天下の秋を知る、貴殿等の行動を見れば、徳川の末路押して知るべしぢや、その婦人は拙者達の計畫には何の關係もない御人、然も貴殿の愛妾お蓮の爲めにその父親を騙し打ちにされた可憐な婦人ぢや、拙者がこの婦人を救ひに參つたのは、師の恩義に報いんとする私の義心に外ならぬ。貴殿若し一片の武士らしい魂をお持ち合せなら、その婦人はお放し願ひたい。さすれば拙者は默つてこの穴藏の中で瞑目する。が、

◇◇この姉を見よ◇◇

「自殺の弟殺し」と同じスタッフによる河合の弗箱映畫として大衆的に期待さる姉弟愛を描いた現代劇琴糸路松尾文人主演(寶館上映)

ル・ミリオン

佛トピスト映畫

映樂館上映

再びルネ、クレエルの聲映畫である音と影とによつて巴里の抒情詩を物して、成功した「巴里の屋根の下」の監督ルネクレエルだ、充分なる期待を持つて「百萬」を見る、先づ第一に驚かされるのはルネクレエルの偉大なる力だ「巴里の屋根の下」を通して彼を知る人の殆ど全ては「巴里の屋根の下」の要素を「百萬」にも豫期するであらうが、彼はその他の物によつて「百萬」を構成し、而も充分なる成功を收めてゐる

大體この「百萬」の根本はナンセンスに主題を採つてゐる、これだけでも「巴里の屋根の下」と全く異つてゐる處へ更にオペレットの効果が巧みに配合されてゐる、泥棒もコオラス、それを追ひ駈ける警官もコオラス、借金とりも朗らかに歌つて來る、完全なオペレットであつて、アメリカ映畫に見られぬ愉快な演出、ルネ、クレエルの新しき一面だ

音と影のシンクロナイゼーションの廢止は「巴里の屋根の下」に於ても少しく用ひられてゐたが、「百萬」ではさかんに用ひられてゐる、心境の描寫は影は少しも動かず、全部音歡によつて進められてゐると云つてもよい程だ、確にルネ、クレエル獨特のトーキー手法で、又非常に効果的でもある、その他彼の藝術的氣質は到る處に見られる、例へば夢と現實を對稱した歌劇舞臺の場面の如き、ほゝえましくも、又忘れ難い印象を與へるに充分だ

物語りは至極簡單で、或る貧乏畫家(ルネ、ルフエヴル)は百萬圓の富籤に當るが、何時の間にかそれを入れた上着が盜まれそれを取り返すために畫家とその戀人の踊り子(アンナ、ベラ)が大騷ぎをして、漸く百萬圓の富を得る、その祝賀宴の當夜餘りの騷々しさに寢られぬ二人の貧乏藝術家が宴會場の天窓からのぞき込む所より物語りは始まり、祝宴の騷ぎの中より幸運なる畫家の一齊を知る所で終りさなる

俳優中主演のルネ、ルフエヴルは初めてだが輕快な藝風を持つており、アンナ、ベラは些か淋しいが清楚でよい、たゞ全體を通じて餘りにフランス的な氣分が多く、又構成が餘りにこりすぎて些かむつかしく、萬人に向くとは斷言出來ない、但し眞の映畫ファンは滿石ルネ、クレエルだと彼の才能を讃へるであらう

あす天長節に晝夜二回公演
常盤座の河合ダンス

常盤座に出演中の河合ダンスはいよいよその眞價が廣く知られ出し昨夜の如きは階上階下とも大入滿員の盛況で好評を博してゐるが、明廿九日は天長節につき特に晝夜二回興行をなすことになつた、プログラムは晝夜とも同じである

本社主催で座談會
社員俱樂部で

常盤座に出演中の河合ダンスは本格的舞踊藝術に精進する我國舞踊界の女王として各方面の興味を集めつゝあるので、本社では駒菊をはじめ一行の人々からその舞踊談を聞き河合ダンスのスターを紹介するために來る三十日午後四時から大連滿鐵社員俱樂部食堂に於て河合ダンス歡迎座談會を催すことになつた、會費は五十錢當日持參で簡單な食事の用意がある、なほ參會者は當日會場入口でも受付けるが、なるべく三十日正午までに本社販賣部(四七六七)常盤座文藝部(二二二九三)大連滿鐵社員俱樂部(八一三一)へハガキ或は電話で申込まれたい

故清元延益富の追善會開催

清元富喜太夫、同延美佐榮、小野鬼笑その他清元研究會同人の發起で今二十八日午後六時から「ほてい」にて故清元延益富師追善會を開催する

勸進帳に出囃子

大連劇場の花柳春幸一座のお名殘狂言の内「勸進帳」に達廊相生のおで、一力の囃葉、芙蓉樓の三勝、若駒が出囃子出演する

帝國館の「彌太郎笠」は二日目に至り果然河合ダンスの大敵を向ふに廻して見事にヒットして出たが▲けふからは滿電バスとのタイアップで電車内でも宣傳を始めた▲それに「肉彈三勇士」が遲れ乍ら不思議な程、人氣を集め君ケ代合唱の場面が映るや、館内ここからともなく脫帽の聲が起る▲それに追悼會の實寫で大谷師が出るので善男善女を喜ばしてゐる▲一方常盤座の河合ダンスも三日目に入り果然大入滿員の物凄い人氣で次から次へと總見で賑はつてゐる▲第一夜の本社招待會、昨夜の遼紙大連新聞社の招待會、明日はバテー俱樂部等、春の踊りらしい氣分を釀してゐる▲大日活は東活映畫の新契約で五月から大阪の新しい番組が配給されることになつた

會社數は增加して資本金は却て減少
六年末の大連管內會社現勢

大連民政署管內に本店を置く六年末現在の會社の狀況を見るに會社數七百七十、同資本金額七億三千六百二萬五百十四圓その拂込出資金五億五千三百四十二萬六千五百四十七圓にしてその內譯は（單位千圓）

種別	會社數	資本金	出資金
合名會社	一九	九、三〇九	九、三〇九
合資會社	五三一	一九、三四五	一九、三四五
株式會社	二二〇	七〇七、四五五	五二四、八七二
合計	七七〇	七三六、〇二〇	五五三、四二六

その資本金一千萬六千三百二十圓而して同年中會社の新設八十三社その資本金一百六十二萬九千四百圓に對し解散せるもの三十六社、差引前年末に比して社數は四十四社の增加を示してゐるが資本金は却て一千百三十六萬六千四百圓の減少となつてゐる、元來會社數は逐年增加の傾向を辿つてゐるが、好景氣時代に濫設せられたる會社依然として名義のみ存し所在さへ判明せざる所謂泡沫會社多く、且又長期に亘る財界不況に際せられて個人信用の失墜に由る經營困難より脫する對策として會社組織に變更し以て債務の回避策とし、或は小資本を糾合して競爭場裡に抗ぜんとす等のため、この種會社增設盛となる結果會社數增加を呈せるも、資本金は却て減少の傾向を示したものである、而して財界の極度の疲弊によつて內容不良の會社にありては整理の已むを得なきに至りたるもの、また個人經營に等しき合資會社の動搖甚だしく資本金漸減を來してゐるが、一方基礎の堅實なる會社にありてはこの不況の際にありても逐次內容を改善し、經營の合理化を圖し、比較的順調なる道程を辿つて居り業績も好轉相當の成績を擧げてゐる、今同年中の會社設立、解散等の動靜を種類別に摘記すれば左の如くである（單位千圓）

	會社數	資本金	出資金
▲設立			
合名會社	五	三二六	三二六
合資會社	七一	七三三	七三三
株式會社	四	五八〇	一九二
計	八〇	一、六二九	一、二四一
▲增資			
合名會社	―	―	―
合資會社	一	三	三
株式會社	一	四〇〇	八四一
計	二	七〇三	八四四
▲解散			
合名會社	二	四	四
合資會社	二九	七七	七七
株式會社	五	九、三三五	一、七七五
計	三六	一〇、〇〇六	二、一八六
▲減資			
合名會社	―	―	―
合資會社	―	―	―
株式會社	四	三、五三三	二、三七五

大連管內二月の工業品生產狀況
操業工場生產額減少

大連民政署商工係調査による二月中同管內工業品、生產統計によれば、各種工場を通じて製品別操業工場數百十四、生產品種數八十六種、その總生產額は二百六十萬二千四百六十九圓にして販賣價格二百十四萬九千百三十二圓、同月末現在在庫高二百十九萬五千九百十八圓となりこれを前月に比すれば操業工場數は二を減じ、生產種目四を增、生產價格は三千四百十六圓を減、販賣價格に於て三十四萬六千八百五十三圓を增、月末在庫高は五萬九千二百四十六圓を增してゐる、今各工業別にその生產、販賣價格を示せば（工場渡値段單位圓）

	生產價額	販賣價額
紡織工業	二二九、二九六	二三二、一六三
金屬工業	六〇、七三三	六五、九四
機械器具工業	八一、八六四	八一、四四
窯業	二二六、七〇九	二〇八、一六九
化學工業	六、一九九、四三	[illegible]
油房	六、〇四、二二八	[illegible]
其他	一、三五、一六五	[illegible]
製材木製品工業	二四、一八四	二三、四六六
食料品工業	九六、三二〇	一一六、〇四
雜工業	五〇、四〇一	四七、三六
計	五〇、四〇一	三、一四九、一三三

（註）右の中油房製產品工業品は混保により販賣價額不明につき販賣價額は略す

而して以上販賣價額の主なる仕向地別を示せば

	金額	對前月增減
州內	七四四、〇六八	△一二八、五四〇
沿線其他	七八、九九九	一九、四八〇
支那本土	四六、三三六	△四三、二〇一
朝鮮	七八、九四〇	六八、四三六
日本內地	六三七、〇六一	四四一、一一九
臺灣	六九、五一六	△五、二三〇
海外	五〇四、三三一	一六六、九〇〇

スチール普通株無配

【ニユーヨーク廿七日發】ユー、エス・スチール社は二十六日重役會で普通株無配當を決定したが優先株への配當を支拂つた後は一千九百萬弗の赤字となつてゐる事は別に市場に影響を及ぼさなかつた、本日のスチール株引値は八分の七弗高の二十九弗四分の三であつた

獨國立銀行利下

【ベルリン二十七日發】ドイツ國立銀行中央委員會は本日公定割引を五分半から五分に引下げる模樣

獨逸帝銀利下

【ベルリン二十七日發】ドイツ帝國銀行は本日公定割引步合を五分半から五分に引下げた

見本市華商招待豫定數增加
希望者豫想外に多數

六月末奉天にて開かれる第三回滿洲見本市の招待狀は今少しく會期迫りて發せられるが滿鐵沿線附屬地外の華商招待數は例年の出席數に鑑み大體六十人見當に割當てられており各地輸入組合にて關係方面の機關と打合せして招待することになつてゐる、然るに今日まで各地組合が奧地における日滿各種機關と連絡照合したところによれば、本年度における出席希望は想像以上に多數且熱心なるものあり、豫定數六十を以てしては到底充たし得ないことが分明したといはれる、而して右は滿洲國成立により華商の日本商品に對する直接的注目が加はりたる一方、開催地が奉天に進出せしためなるべくその約定高の多少はともかくとして滿洲見本市が根本精神とする日滿貿易の振興上、奧地に知られるだけでも喜ばしきことである、而して右豫定數は融通の利くものであるから成るべく必要數まで增加されるであらう

人絹賣行不振

【大阪二十八日發】人絹は春物の實需と夏物の假需要期に入つたが地方農村が極度に疲弊せるため購買力著るしく減退し割安の綿製品に需要を奪はれて目立つた取引なく市況は頗る不活潑である

臺灣の富豪が滿洲に投資
林氏の代表楊氏來滿

滿洲國視察團は便船每にあらゆる方面から頻りに來滿するが廿八日入港の香港丸で珍らしく臺灣における資產家林嵩壽氏の代表として楊三多氏外二名が新興滿洲國の視察に來滿した、楊氏は流暢な日本語で語る

單なる視察ですよ、山岡長官には牧野大審院長の紹介狀を頂いて居ますからすぐにでも旅順に行きます、そして何か適當な仕事があつたら大いに投資して事業を起したい希望です、今のところこれと云ふ具體的な方針はありませんが、視察の上決定します、長春、奉天を見て一應大連上海に渡つて福州を經て臺灣に歸ります

一行は直に旅順に向つた

炭價引下の陳情
商議、關係方面に提出

滿蒙新國家の建設と共に從來のあらゆる弊は一掃され愈々滿蒙經濟開發に邁進せんとする秋に當り生產工業の原動力たる炭價は依然として割高なるまゝ放置せられるとすれば到底その發達は望み得られず且過去に於てこの種生產工業の大部分が未だ成績の振はざるは一つには原料炭價の割高なるに起因して居り殊に滿蒙は炭礦を豐富に有し乍ら內地物よりも地場物の方が割高なる現狀にあり將來滿蒙の發達を翹望せんとするには先づ此矛盾を矯正し生產工業の原動力たる炭價の値下げを俟つて始めてその目的を達せられるものとし、大連商議に於てはこの程首腦始め大藏、商工、農林、外務、拓務各大臣並に關東長官、滿鐵總裁に宛て陳情書を提出し深甚の考慮を煩はすことゝなつたがその內容左の通りである

◇

滿洲に於ける我が工業投資は大約三億圓を超へ五人以上の職工數を有する工場八百四十七其最近一ケ年に於ける生產額は約一億圓たり、然れども之を些細に點檢すれば今日尙其營業を繼續し利益を擧げつゝあるは多く獨占事業に屬し他は閉鎖するか否らざれば氣息奄々たり、我國が滿蒙開發に着手して以來既に二十有六年工業未だ幼稚の域を脫せず成績亦斯くの如く振はざるは勿論種々の原因あるべしと雖も工場の營養素たる炭價の割高なること尤も大なるものなり

◇

今や大滿洲國建設され日滿關係は從來の舊軍閥による排日不當課稅止み將に黎明の感あり、此秋に於て國民は經濟自然の欲求に從ひ大に滿蒙開發に邁進せんとす、然れども滿洲における撫順炭地賣値段にして此際斷乎合理化せしむるにあらざれば到底在來工業の蘇生も新企業の勃興も期して待望すべからず、滿鐵會社の販賣する滿洲地賣炭の値段は別表に示すが如く甚だ割高

◇

關東州は關稅及原料製品の集散關係上滿洲における工業投資の中心地帶を形成し今や大にその發達を企圖すべきに當り生產費の要部を占むる炭價にして斯くの如きは抑も滿蒙開發の要義に反するものといふべきなり、撫順炭の滿洲地賣値段斯く割高なるに反しその輸出するものは頗る低廉なり殊に南支その他の海外に於て最も廉賣しつゝあり、大連地方の如きは一旦輸出したるものを更に再輸入するを却て利とするが如き計算にあり而してこれ等の輸出炭により生產されたる商品は轉て滿洲に殺到するに至るべく斯くして滿洲に於ける工業の發達を抑壓するの狀況にあるは甚だ寒心に不堪若し夫れ滿洲に於ける電力費の如き現在頗る高率なるも是れ全く原料炭價の割高なるに起因するものなるを以て地賣炭の値下は延て電力費の低下を促進するものと思考す、由來炭價の如き或は鐵道運賃の如き滿蒙に於ける產業の興廢消長の鍵鑰を把握するものは須からく滿蒙自體の實勢に即應せしむるを要す、今滿洲の實情を靜觀し國運の前途に想到する時之を從來の取れる丈け取ると云ふ不徹底なる政策に推移するは所謂慢性不治の症狀に陷り終に再起の力を失ふに至るべし、滿蒙開發の要諦亦全く茲に存す

◇

事情斯の如くなるを以て政府は日滿經濟の現狀並に其將來を通觀し速に滿洲に於ける撫順地賣炭の合理的値下を斷行さるゝ樣御取計相成度切望に不堪別表相添へ此段要請候也

撫順炭滿洲地賣値段
（昭和七年四月現在）

	切込	塊	粉
大連	一一、五〇	一三、〇〇	一〇、五〇
安東	一一、五〇	一三、〇〇	一〇、五〇
長春	一一、五〇	一三、〇〇	一〇、五〇
營口	九、五〇	一一、〇〇	八、五〇
奉天	八、五〇	一〇、〇〇	七、五〇

▲備考　持込料を含みます

營口は現在以上貨物の收容困難
營口の貨物收容狀況

日本郵船大連出張所輸出入主任小野六郎氏は遞信省管船局監理課長小野猛氏と同伴、營口に於ける貨物の收容及積取りの實情を視察中であつたが二十七日歸連左の如く語る

石炭の積取りは別として營口の貨物收容能力は倉庫及野積を合して約八萬噸程度に過ぎない、一方積取船の關係をみるに淺瀨の關係から大型船の入港が困難であり、且つ入港しても吃水の關係からせいぜい三千噸程度しか積込めない、且つ棧橋の設備も不完全であるから、大連の如くに晝夜何れの時を問はず入港又は出港するといふことが不可能である、從つて今日のように營口に仕向けの貨物が增大すれば直ちに貨物の氾濫を來しその收容に困難を來すことになる、現に營口には貨物充滿のためこれ以上の收容が困難であるから奧地より營口仕向けの貨物に對しては通着承認の條件を以て國際運輸でも引受けてゐるが滿鐵でも適宜に營口向貨物に制限を加へてゐるやうである

なり就中我が大連地方は奧地の如く滿洲炭を利用する能はず、去りとて他の海路割安炭を輸入せんとせば滿鐵會社が準頭を獨占經營せるため事實困難に陷り割高の撫順炭を使用するの外なきなり

滿鐵から改良種子貸付
開原實業局へ

開原實業局に於ては新國家建設の本義に基き縣民の福利增進を圖り滿鐵從來の舊辦法を改訂或は新規辦法を制定公布し着々其の實績を擧げつゝあるが今回更に縣下農產業の發展助長を圖るため開原地方事務所に改良種子借用方を申込んだが過日開原苗圃保管中の大豆八石二斗、粟四十八石、陸稻五石、合計六十一石二斗の融通を受けたので實業局では二十四日より希望者に種子の貸與取扱ひを開始した【開原發】

證券界展望
好轉の原因見出せず
（下）常深隆二

金輸出の禁止は通貨の下落を意味するものであるけれ共、通貨の供給を意味するものでない、國際尻決濟は結局金貨で行はればならぬとは解禁當時と變らないのである故に通貨の發行は解禁當時よりも手段や政策を要する事は多いのである、元がない丈け發行にもそれ丈多く骨が折れるもので札さへ發行すればよいと云ふ具合のもので[illegible]ない、從つて一部で希望する樣な空景氣を作る膨脹策は斷然モラトリアムを行はぬ限りこれを行ひ得る譯のものでない、また通貨を增加する事に依つて財界は恢復する等のものでない、各個人の生活が收支を得るに至り、所得が增加し經濟事情なり國際收支が改善されて然る後始めて購買力も起り通貨の膨脹もあり、爲替も自然に回復に向ふ事となり、こゝに始めて株式も騰貴すべき順序となるものである。

然るにわが國の對外收支を見るに從來年々一億圓以上の新規借入に依つてつじつまが合つてゐたのであるが、現在の世界金融狀態や對外信用から見る限り、新規借款は勿論、期限のものは返金を要求さるゝものと考へる外ない、而してこの元利支拂金は來年三月迄に約三億圓を要するのである、一方貿易關係を見るに、生絲は依然として安い、對米輸出ははかばかしくない、金輸出禁止以來安い原料手持と、貿銀の實質的下落の結果やゝ活潑なる輸出を見たるも、今後はたゞ貿銀安の利益あるのみである、支那市場は例へ上海事件が圓滿解決を見る共、揚子江沿岸の大水害と、久しき內亂と、世界的低物價の今日、支那に購買力を求める事は出來ない、內地物價高と輸出見越しで輸入された多額の原料品はストックとなつて常に內地市場を壓迫するものと見る外ない、金輸出禁止によつて貿易の改善の效果はあつたけれ共、生絲の國內生產品は高くないに反し原料を輸入するもののみが爲替につれて高くなつてゐることから大した期待はもてないから將來貿易は改善するであらう共、それは悲觀するに及ばふ程度で、國際收入を好轉る程の望みはもてそうにない。國內の金融狀況を見るに一部金融資本家の占むる…地方金融は極度に引締り…救濟するも政府より金を…中央金融資本家に潤る結果…何等金融を助くるもの…日支事件費や赤字公債は…や預金部において引受け…も、民間から郵便貯金で…府預金を引上げること…貨の一腕にも金融の引締…效果は少い、そしてその…で使ふ事となる、滿鐵の…賃金等も、內地金融市場…げらるものであるとすれば、金は…替が海外投資を不可能にする迄下…

各地小賣物價
關東廳調査

奉天　奉天に於ける昭和七年四月分の小賣物價を同月十五日現在に依り主なる日用品三十六種に付調査するに其の概要次の如し

一、前年同月に比し一分七厘下落
一、昭和五年一月に比し二割一分下落
前月に比し騰落したる品目は如し（保合二十二種）
騰貴五種……カタン糸鑵詰（二割四分三厘）白砂糖（一割一分）（六分七厘）木炭（六分三厘）綿（二分七厘）
下落九種……雞卵（二割六分七厘）牛乳（一割）割六分七厘）椎茸（一割）梅干（八分一厘）晒木綿（七分七厘）モスリン（三厘）茶正喜撰（五分一厘）白米無檢査一等
尙類別に依る指數を示せば次の如し

	前月	前年同月
食料品（十種）	一〇〇	[illegible]
調味料（九種）	[illegible]	[illegible]
飲料嗜好品（八種）	[illegible]	[illegible]
衣料品（七種）	[illegible]	[illegible]
燃料（二種）	[illegible]	[illegible]
總平均（三十六種）	[illegible]	[illegible]

四平街　四平街に於ける昭和七年四月分小賣物價を同月十五日現在に依り主なる日用品…種に付調査するに其概要次の如し
一、前月に比し二分二厘下落
一、前年同月に比し…
一、昭和五年一月に比し…
前月に比し騰落したる品目は如し（保合三十種）騰貴…下落五種……雞卵（四割）晒木綿（八分三厘）モスリン（三分四厘）白米無檢查一等…
尙類別に依る指數を示せば…

營口　營口に於ける昭和七年四月分の小賣物價を同月十五日現在に依り主なる日用品三十…

市場電報（廿八日）
銀塊及爲替

倫敦銀塊	一七片十六分三
同先物	一七片四分一
紐育銀塊	二七仙八分七
孟買銀塊	五五留比八分五
スチール	二八弗八分七
アナコンダ	五弗八分一
英米爲替	三弗六六仙分一
米日爲替	三弗二五仙
米支爲替	三一弗八分一

神戶日米

	賣	買
▲第一回	三弗八分一	三弗八分三
▲第二回	三弗四分一	三弗十六分七
▲第三回	三弗四分一	三弗十六分七

棉花
●米棉　現物　六仙五

大阪株式
東京株式
大阪期米
東京期米
神戶期米
大阪綿糸
大阪棉花
橫濱生糸
印度麻袋

株式　市況（廿八日）
內地變らず當市强保合

前場

上海爲替情報

手形交換高（廿八日）

滿鐵株（保合）

鈔取引

五品雜觀

滿洲日報　附錄

花・花・花
けふの佳き日に お花見賑はん

花だ、花だ、花の春だと幾度となく花の便りが繰返されてゐたが昨日、今日の暖かさに、流石にかたい花の蕾もぽつり〳〵と開き始めて、滿蒙の天地も全く凍土から呼び覺まされ、明朗な大空の下には暖々たる春陽の香氣が流れ始めた、大連地方は二十八日はカラリと晴れた紺碧の空、そよ吹く春風は行樂の氣分をそゝる

花だ花だ とそそのかされた人々が輕羅の袖や裾をひるがへして星ケ浦だ、電園だと泳ぎ出る、處で櫻はまだ五分咲き黒い枝が硯さなく空に目立つが、そこは酒なくて何の巳が……とそこゝ

で先づ彼氏、彼女自分の方から櫻色に咲きかけてゐる、各處の茶店屋臺店もすつかり出揃つてゐるがこれは不景氣のせいか、まだ早いせいか、お客もまばらで徒らに **紅白の幕** が目立ち、緋毛氈が紅くはえてゐる、星ケ浦では一枚十錢のゴザが積み重ねてあり夜櫻見物も充分樂ます電燈設備も急がれてゐる、何といつても二十八日は休日でないだけにメートルをあげた花見風景の前哨戰は少いが、二十九日は天長節の佳き日だ市内外の花の名所々々にはどつと繰り込むことであらう

けふは花曇 お花見には誂へ向

幾分遅れ氣味だつた今年の花もやうやく開き始めけふ天長の佳節は先づお花見の皮切りだ、お花見といへば氣にかゝるのはお天氣模樣……觀測所の話では廿八日同樣のお天氣で、幾分花曇りとのこと、ヂヤン〳〵のんで醉つぱらつて春を謳歌しなければ短い滿洲の春はすぐ過ぎてしまう、雨は大丈夫との太鼓判だ、滿開ではないが、どうしても繰出さずばなるまい、何詳しいお天氣は

濟南方面に七百六十二ミリの高氣壓があり、相當の速さで直隷省方面から黃海に移動しつゝあるため、お天氣は二十八日のまゝ持ちこたへるが、やゝ曇りがち、更にハバロフスクに中心を置く七百五十二ミリの大陸旋風が段々東方に移動しつゝあるため南滿洲は南より西の風がやゝ強い、しかし曇るのは晝過ぎからで午前中は晴天、雨は大丈夫とのこと

各所の花便り

中央公園 場所は實業グラウンド裏、忠靈塔に春日池畔特殊な處で南華園だが、櫻は若木、古木取交ぜて約四千本、大體南寄りの處が早く、五分以上の開きを見せてゐる、遅い處で二分から三分咲、實業グラウンド裏は若木のみだが數が多く、なよ〳〵とした花の風情は眞に愛すべきものがある、忠靈塔は最近植樹したものだが、つきが好く花も多く翠緑のスロープに點綴する花は大鳥居を背景に滿洲離れのした、一寸九段の靖國神社を思はせる、春日池畔は土地は狹いが櫻は老木のみで濃艶の風趣があり而も近くに水を控へて星ケ浦とは又異つた山水の味だ、南華園は今の處櫻よりも連翹や杏、李の方が美しい

老虎灘 こゝの櫻も古い方で有名であるが、彌生月の櫻が半分昨年一方亭にきられて滿洲一の大木と謳つた老木十六本が兩方の建物の間に挾まつてしまつたが、樂しむものには問題でない、千勝館の櫻百六十本餘と共に今日三分咲の見込、來月十日過ぎが滿開であらうが、こゝ三ケ所は行燈をつけてゐるので夜櫻の樂しみがある

電氣遊園 毎年大連市内外では一番早く花を開く處だが今年は伏見臺配水地に遅れた、今は櫻は先づ三分餘りの咲きで、櫻よりも連翹や杏が今を盛りと妍を競つてゐる、こゝは子供本位で宴會は一切斷つて、氣のおけない家族づれのピクニック向き、一番よく櫻の開いてゐるのは正門近くの鳥小舍の裏で、音樂堂より先は二分位である

伏見臺配水地 二十九日は殆ど滿開だ、こゝの櫻は今年は大連中で一番早く開いた、櫻樹は大小取り交ぜて約一千本、眞に一目千本は此處だ、種類は主に吉野櫻、八重も少しあるが、今爛漫と咲きほこつてゐるのは吉野櫻だ、手入れのよく行き屆いた芝生は美しいから家族團欒の花見には一番よい、既に廿八日あたりメートルを上げてゐる一團さへあつた

沙河口淨水地 此處は行儀よく並んだ三百本餘の櫻樹が今三分咲きであるが、本年は時局柄一般の入場は成るべく遠慮してもらひたいと當局者は希望してゐる

西本願寺 約三百五十本位あり便利なことには近いし、芝生が相當に廣いので家族連れには手頃なところである、櫻は恰度四分咲き位で、此處はお寺が却々親切でベンチも貸し湯茶を出して接待までもして呉れる

南山麓 櫻は新しいが池を配した樂園の雅味と共に頗るよいところである、櫻は三分咲き位で隣の妙心寺の櫻は百五、六十本位あるがこれも三分咲位のところで境内には老木十餘本が少し蕾を開いてゐるのが目を惹く

見ごろの花名所 (1)春日池 (2)伏見臺配水地 (3)中央公園内の南華園 (4)電氣遊園 (5)星ケ浦公園夜櫻の電飾準備

重要取扱品目
特産雑貨 大豆、大豆粕、大豆油、雑穀
米、小麥、麥粉、砂糖、罐詰類
機械其他 金物、石炭、鑛油類、一般機械並電氣機具及化學肥料其他
三菱商事株式會社大連支店
大連市山縣通一六五
電話代表八一五一番
滿蒙開發の先驅
東洋貿易の梯子
海陸運輸及附帶事業一切を始め
小荷物の取扱迅速低廉
國際運輸株式會社
大連山縣通
電話代表三一五一番
滿鮮其他主要地に支店
出張所、取扱店の設置あり
大連製氷株式會社
大連市常盤町二三
電話四八七三・五四八〇番
電話六三一三番(信濃町)
祝天長節
大連
大連市寶町三番地
日清製油株式會社
電話四一六五番
大連 三越 大山通
轉ばぬ先きの杖、不慮の災難にこの保險
大連火災海上保險株式會社
大連市常盤橋市中央ビルヂング
電話(一五四一 二五六一)番
輸出入 土木建築 倉庫 保險
機械類一切自動車、鑛油、揮發油其他
建築、土木一切、諸雜貨食料品類
一般倉庫業、保險會社代理店
福昌公司
大連山縣通
電話代表七一七一
滿日の速達
大連と内地各新聞の取次販賣
辻山洋行新聞部
大連市信濃町一七番地
電話(五三七七 〇〇 七四三 一六〇)
不動產管理處分
株式會社 鴻業公司
大連市山縣通大倉ビルディング内
電話(七七 七三 四九 八五)番
關東州辯護士會
鴨緑江製紙株式會社製品
樺太工業株式會社製品
大日本人造肥料株式會社
一手販賣
特約店
株式會社 大同洋紙店出張所
大連市山縣通百廿五番地
電話 大連 四八五八〇番
本店 大阪市東區安土町二丁目
滿洲煖房衛生組合一同
資本金二千五百萬圓
南滿洲電氣株式會社
本店 大連市西通百十七番地
支店 奉天、長春、安東、鞍山
業務
物品販賣、問屋、運送
保險並ニ船舶代理
造船及附帶事業
大連市山縣通
三井物產株式會社大連支店
電話代表七一〇一
滿洲出張所所在地 牛莊、安東縣、奉天、哈爾濱、長春
資本金壹千萬圓
瓦斯供給、骸炭 コールタール、硫安
南滿洲瓦斯株式會社
本店 大連市常盤橋中央ビルディング
支店 鞍山、奉天、安東、長春
出張所 沙河口、嶺前屯
埠頭荷繰作業一切
大連埠頭構内
福昌華工株式會社
電話代表四五一〇番
大連水曜會
橫濱正金銀行大連支店
朝鮮銀行大連支店
株式會社 正隆銀行
株式會社 滿洲銀行
株式會社 大連商業銀行
東洋拓殖株式會社大連支店
大連取引所信託株式會社
株式會社 大連株式商品取引所
大連取引所錢鈔信託株式會社
中國銀行大連支店
交通銀行大連支店
金城銀行大連支店
外科 皮膚科
醫學博士 尾形一郎
大連市若狹町三西通入口
電話七七七六番
產婦人科
岩男醫院
岩男診療室
保科診療室
大連市三河町十八番地(電話六四六六番)
紙類直輸出入商
大阪市東區南久寶寺町堺筋北入
株式會社 萩原商店
電話 (船場三三五番、同船場二三三六番、新町二二一五番、二三二六番)
振替口座大阪一〇九八番
受信略號オーサカ、ヨウシハギ
大連市監部通五十二番地
株式會社 萩原商店大連出張所
電話三九九七番、電略タイレンハギハラ
哈爾濱中國十三道街
萩原紙店
電話四六八六番
大連海運業聯合會
內科 小兒科
醫學博士 澁谷創榮
大連市西公園町春日小學校前
電話六五六五番
大連實業藥劑師會
逢坂遊興廓組合

趣味漫談 代筆の話

賴慶鑑

代筆といふことは、主人公が能書ではないから、他人に代筆させる場合に限つたことではない。主人公が能書家でも、いろいろの理由で、他人に代筆をさせる場合が多い。

これは支那人もさうだつた。李鴻章には、代筆をつとむる右筆が十八人もゐたといふことだ。數年前、吳汝綸が日本へ來朝したことがある。その際、吳汝綸は、花屋の二階で訪問者と應接して居る。隨行者は、別室や緣側で、人の見て居る前で、腕を揮つて、諸方から囑し來つた額や修幅類を片ッ端から揮毫してゐた。支那人は、かういふ風に來訪者が環視の中で、平氣で代筆をやる。

明治の聖代における高貴の能筆家は、なんと云つても、有栖川宮熾仁親王殿下だつた。

有栖川宮家は、由來皇室流の筆道の御家柄で、就中、熾仁親王にいたつて、もつとも御美事であつた。江州叡山延暦寺の本坊の大書院にかけてある殿下のお書きになつた「瀾花綴目」の四大字の額面にいたつては、王羲之や弘法大師をふたゝび地下より呼びおこしても、これまでゞはなからうとおもふくらゐで、實に、殿下の御染筆中での傑作であり、天下の希寶だ。

その熾仁親王殿下にも、御代筆があつた。それは記念碑などの篆額の場合だつた。殿下は、御能書で皇室流の御家元であらせられたが篆額は、御流儀違ひといふところから、筆をお執りにならなかつたのだ。これは御謙讓の徳を守らせられて、とくに、斯道の大家佐藤枝山翁に命じて、代筆せしめられた。

枝山翁といへば、有名な書家長三洲あたりが頻りに出入して、書論をたゞしたくらゐの人であるから、なかなかの大家だ。殿下も、翁の書を尊信したまふて、篆額など流儀違ひのものに對しては、とくに代筆の御用を仰せつけられたのである。

殿下の謙讓にあらせらるゝ御用意は、參謀本部の腰辨などゝは、はるかに撰を異にする、その用意に雲泥の差があつた。

いま一つ、代筆御用命のごとき御染筆に對して寸志を表するため獻上物などをすると、そつくりそのまゝ代筆者佐藤翁の許へ特使をもつて、御下賜になつた。

かういふことは一些事であるが實に殿下の御聰明と皓潔と仁慈にあらせられた御性格を窺ふことができる。

有栖川宮にも、このやうに代筆があつたが後の參謀總長大山元帥にも、代筆があつた。これは副官連にやらせてゐた。のみならず到來の土産ものは自分のほうに收めて、代筆者に與へなかつた、そこで後に代筆料の請求を受けて、法廷にまでその問題が出されたことがある。乃木大將には、代筆はなかつた。しかし坊間に贋物は大分ある。乃木大將は、謹嚴な人であるから必ず自ら筆を執つてゐたが、ある時、信州の丸山といふ中尉が戰死してその遺族が石碑を建てると云つて、大將に揮毫を囑んだ。大將は早速承諾された。が、ドウしたものか紙を二枚用ゐてあつたので、大將は不斷の様子で、二枚の紙は、なんのためかと訊ねられた。と、遺族の人は、書損じた場合の用意でございますと答へた。

そこで大將は、それは御念の入つたことだ、と云つて、即座に揮毫に取掛つたところ、果して一枚書損じた。

翁は餘分の一枚に、揮毫を終ると、遺族の者が、「閣下の御直筆といふことは私は目睹しましたから、熟知してゐますが、郷里の人達は、證明なしに信用いたしますまい、そこで何かの御證明を願ひます」と云つた。大將は、なるほどと思つたか、考一考しながら、名刺を出して、その表面に「御囑の丸山中尉の墓標揮毫別紙の通り認め候不出來に候共之にて御間に合候はゞ云々」と認めて月日の外は乃木希典と署し實印まで押してやつた。ひどい人もあつたもので目前で大將に書かせ、證明書まで取つて歸つた。

先般不慮の死を遂げた辯護士花井卓藏氏にも代筆があつた。花井氏が、尾道の選擧人より墓表の揮毫を囑せられたが、金石文ときては、さすがの花井氏も、神經家だけに固辭した。しかし先方では聽入れない。そこで花井氏は、谿谷一六翁に囑して書かせたことがある。これも一種の代筆である。しかし、花井氏もさすがに氣が咎めたものと見えて「花井卓藏謹」と書かせた。この謹の一字を案出するまでには相當苦辛慘澹の工夫が費されたのである。

原嘉道氏にも、これと同様のことがあつた。原氏が、郷里信州諏訪山豐丘村の小學校から講堂に掲ぐるため校歌の大額面の揮毫をたのまれたことがある。同氏は、固辭したがきかれぬので、畫家にたのむこととなつた。折柄入木道の正統北泉老人が在京中だつたのでこれに揮毫してもらつた。かつ老人は、どうした間違ひか、年八十二であつたから長壽で目出度いとあつて、その自分の年齢まで書入れてしまつたが。かうした代筆は愛嬌があつておもしろい。

「東江書話」といふ本を見ると書聖王羲之にも代筆のあつたことがわかる。

勝海舟にも代筆があつた。海舟翁あるとき市中を歩いてゐると、書畫屋の前で、ふとたちどまつてみるともなしに見てゐると、自分の僞筆がぶら下つてゐた。熟視すれば、その筆蹟は、たしかに本物の海舟以上だつた。

こゝに於て、翁はつくづく感心しながら、書畫屋の主に、その僞筆者の住所氏名を突き留めて、栗書をもつて來宅を求めた。

すると僞筆屋先生、てつきり僞筆の罪狀が暴露して、海舟翁より譴責されるものと速斷して、本所の住所をたゝんで、鴻の巣に移つた。かうして蹤跡を晦ませてゐると、海舟翁は警察の手をもつて、やうやくこれを物色して、警官をして同伴せしめた。そして翁は恐縮してゐる僞筆の當人をさして「貴樣の書は實にうまい。ほんものの海舟以上だ。今後は公然と代筆をしてくれ、我輩の受囑した半折類などが山積してゐる。これに揮毫をたのむ」と云つた。僞筆先生は、いたく恐縮して、それから氷川の勝邸で公然と僞筆を書くことになつた。これは有名な話である。

西洋簿記の傳來

松尾嘉明

簿記法の始まりは、イタリーがその最初であつた。次で發達した國はオランダである。オランダと國交のあつた日本に、これが傳來しないといふ理由は見出す事が出來ない。果然、蘭文簿記書は、明治以前、長崎に傳來してゐたそれは西暦一八四七年我が弘化四年に、蘭文のイタリー式簿記書が、長崎出島の蘭館に輸入して居た。

その證據は、大正九年十月のことであるが佐賀縣佐賀圖書館に開催せられた鍋島閑叟公五十年祭記念展覽會出品中に「理論的及實際的イタリー式(商業)簿記大全」と題する著書があつたので明らかと思ふ。この書の原名はこゝで省いた。この書は、西暦一八三三年我天保四年に、蘭人、オウドシュテフがオランダロッテルダムより出版したものである。

この外・西洋簿記法の一節を記した著書には、平戸オランダ商館長カロンの述べた「日本詳説」と題する著書に見當る。この書は、日本の商業史上見遁すことの出來ない種々のものが記載してある。即ち西洋簿記法とわが徳川時代の舊式記帳法との對比批判が解說してある。

蘭館長カロンは、わが寛永十六年即ち西暦一六三九年より同十八年即ち西紀一六四一年まで滯在してゐた。遠きその頃、既にイタリー式簿記帳と德川時代の記帳法との比較が、外人に據つて錄された事實は、商業史に興趣を持つ者の等しく眼を睜る問題であらうと思ふ

日本人で、異國のこの簿記法を習得した人は世外公、長崎人三島爲嗣、遊龍徹作等がある。これらは「世外侯事歷維新財政談」上卷の中に出てゐる。江戸から長崎出役となつた太田蜀山人も出島蘭館の書記より簿記法を習つた。しかしこれは記錄にはない、江戸人の記憶談に過ぎないか、もとの東京築地活版所長故野村宗十郎も、このことを認めた。

蜀山人に次いで、簿記法に入つた男は、かの所謂日本の商品學上の物産家田村藍水と平賀鳩溪の兩人である。

鳩溪は、本邦博物學上に於ける第二期時代に、藥物其外動植庶物の名稱効用來歷等を講究してゐた。彼が寶曆十二年(西紀一七六二)に藥品物會、明和元年(西紀一七六四)に物産會を湯島に開いた當時は、整理、支出に、伊太利式簿記法を用ひてゐたと云ふ事だ。また簿記法については、長崎の科學者西川如見も、その多くの著述の中に記した。如見は天文地理學者であるが、蘭語に詳しく、從つて商業地理の研究の傍ら、簿記法の研究も治めてゐたといふ方だ

大連三業組合員

料理店　濱之家 ／ 同　布袋 ／ 同　鳥彥 ／ 同　淡月 ／ 同　鶴家 ／ 同　湖月 ／ 同　天金 ／ 同　西園亭 ／ 同　菊水 ／ 同　扇亭 ／ 同　玉良 ／ 同　い芳は ／ 同　岩久戸 ／ 同　花ろ丸 ／ 同　初音 ／ 同　春木

貸席　錦 ／ 同　こんぼ ／ 同　千歳 ／ 同　千草 ／ 同　千代本 ／ 同　蝶々 ／ 同　扇家 ／ 同　かなめ ／ 同　芳家 ／ 同　よし本 ／ 同　月之家 ／ 同　松家 ／ 同　玉家 ／ 同　富久家 ／ 同　江戸家 ／ 同　愛廣 ／ 同　照之家 ／ 同　澤乃井 ／ 同　喜奴多 ／ 同　喜扇 ／ 同　銀月 ／ 同　吟亭 ／ 同　京松花

置屋　新喜樂 ／ 同　新菊水 ／ 同　新二葉 ／ 同　新瓢 ／ 同　新小松 ／ 同　新富 ／ 同　芝濱 ／ 同　瓢田 ／ 同　瓢 ／ 同　壽美亭 ／ 同　井筒禮 ／ 同　いわき家 ／ 同　生松席 ／ 同　一呂席 ／ 同　林席 ／ 同　富家 ／ 同　常盤家 ／ 同　小川席 ／ 同　近江席 ／ 同　吉田家 ／ 同　淡月席 ／ 同　玉之家 ／ 同　高砂席 ／ 同　八千久席 ／ 同　山口席 ／ 同　松坂席 ／ 同　富津三席 ／ 同　琴平席 ／ 同　天狗席 ／ 同　相生席 ／ 同　笹邊席 ／ 同　櫻川席 ／ 同　北村席 ／ 同　北林席 ／ 同　清之家 ／ 同　末廣席 ／ 同　壽々本

大連市三業組合事務所　電話四五〇六番
大連檢番　電話代表五一一六番
大連女紅場　電話三六九三番

大連火曜會々員(イロハ順)

市川健吉　入江正太郎　池田龍雄　原田光次郎　長谷川吉次　羽田公司　西一雄　堀謙　十河信二　小川順之助　小倉鐸二　岡本誠　奥田千之　大森吉五郎　和田敬三　神成季吉　貝瀬謹吾　竹內德亥　高柳保太郎　高見三吉　田中喜介　田邊敏行　谷川善次郎　高田友吉　田所耕耘　田村羊三　武部治右衛門　竹中政一　武安福男　土屋信民　津久井誠一郎

築島信司　根橋禎二　中澤正次　中村謙介　村井啓太郎　村井啓次郎　村上義一　內田康哉　瓜谷長造　賀納雅友　山西恒郎　山崎元幹　山口啓三　增田義男　古澤丈作　福本順三郎　小林和介　藤田臣直　藤根壽吉　伍堂卓雄　寺田虎次郎　楊井勇三　相生由太郎　佐藤應次郎　佐藤至誠　佐藤俊久　櫻井學　水谷鹿次郎　斯波忠三郎　首藤正壽　白濱多次郎　杉野耕三郎

祝天長節

旅順

土木建築請負業 旅順市忠澤町 磯谷捨吉 電話六〇六番

東京宮田製作所代理店 自轉車商 佐野商會 旅順市乃木町三丁目 電話五九〇番

旅順市敦賀町 玉屋モスリン店 電話九二番

ガクブチ アルバム 文房具 旅順市乃木町 マルゼン商店 電話六〇九番

旅順市敦賀町 塚澤歯科醫院 電話三四二番

旅順市朝日町一ノ二九 上海號 中谷由松 電話六七三番

陶器金物 世帶道具 諸雜貨 旅順市乃木町 久富商店 電話四二九番

土木建築請負 旅順市大津町 木下豊一 電話二二五番

旅順市鮫島町 玉井寫眞工藝所 電話三九九番

酒醤油 旅順新市街松村町 三浦商店 電話六四九番

世帶道具商 旅順市乃木町 緒方商店 (電話四〇二番)
皆樣から好評を頂て居ります
一、木炭使用、エヤー、コンロ
一、最も安全な獨逸製アルコールコンロ
の御使用を御願致します

酒問屋 旅順市青葉町四五 西本商店 西本勝街 電話一八五番

宏記 呉服店 電話三一八番 精米工廠 電話六六一番

旅順市岩手町 岡野商會 岡野榮次郎 電話二八〇番

旅順市八島町 井上釣具店 電話六〇四番

旅順市新市街松村町 御國タクシー 電話四七九番

◎マルミヤ製菓部創立 ◎旅順五貫滿洲賣捌元 菓子器 蓄音器 和洋雜貨 マルミヤ商店 旅順市乃木町三丁目電話六六六番

電氣機械器具 旅順市乃木町 津田電機商會 電話四六四番

蓄音器 旅順市乃木町 櫻井時計店 電話一九五番

旅順市乃木町三ノ二〇 齋藤洋服店 電話六五六番

和洋諸雜貨 小間物毛糸類 旅順市乃木町 友田商店 電話四一六番

明治製菓株式會社 京城菓子株式會社 新高製菓商會 特約店 卸問屋 山岸洋行 旅順市乃木町三丁目電話四五四番

陸海軍御用達 精肉 旅順市乃木町 金太屋 電話二七五番

自轉車附屬品 修理販賣 旅順市乃木町 富永商店 電話四〇一番

自轉車附屬品其他 旅順市乃木町 田村商會支店 電話五一〇番

各種銘茶 茶器類一式 旅順市乃木町二丁目 丸山茶舗 電話一六八番

旅順市朝日町 柏木鐵工所 柏木正三郎 電話一八三番

旅順市西町三九 山下鐵工所 山下好太郎 電話五〇九番

酒 富久娘 王 旅順市鯖江町五十番地 入江商會 電話一九〇番

銘酒 菊正宗 櫻正宗 旅順市乃木町 金水商會 電話一〇六番

銘酒醤油 醸造販賣 旅順市明治町五七ノ四 北川酒店 北川鍋之助 電話四四七番

旅順市新市街松村町二二 成松寫眞館 電話二五九番

ヒグチスタヂオ 寫眞機械材料販賣 樋口寫眞館 大連連鎖街常盤町電話二二三〇番 青葉町四二電話四一七番

和洋雜貨 藤井洋品店 新市街松村町電話五七番

圓橋商會 西田泰助 乃木町二ノ一九電話一四〇番

陸海軍各官衙御用達、船具、金物、機械、綿糸布、タオル其他諸納入品一式 センターストーブ特約販賣店 岳南公司 乃木町三ノ六六電話三八二番

日米商會蓄音器部 新市街中村町電話六六四番

サクラ印サイダー、シトロン製造所 旅順櫻泉社 那須梅吉 電話二一八番

諸官衙御用達食料品雜貨 齋藤商店 電話一七六番

乃木町三丁目 ゑびす屋呉服店 電話一三〇番

表具商 原榮年堂 敦賀町電話五三三番

井町商店 朝日町魚市場電話三三二番

寫眞器械、材料藥品、寫眞撮影 南滿公司 旅順寫眞館 乃木町三丁目交番横電話四七二番 振替大連一八二九番

滿電驛前タクシー 電話五二三番

滿洲タクシー 旅順敦賀町(婦人病院前)電話二六二番

旅順タクシー 鮫島町電話五六〇番

食料雜貨 山口屋 山口清輔 市場内電話五四一番

深川歯科醫院 青葉町電話四七六番

近江屋呉服店 乃木町三丁目電話七九番

宮澤疊店 宮澤猛雄 旅順市大津町一八電話四九二番

土木建築請負 和田武吉 旅順市乃木二丁目電話五八八番

小野田セメント一手販賣店 鐵材金物 船具 村上信二商店 旅順市乃木町電話一〇二番

旅順菓子信用組合

電機販賣 修理 釣具 金澤屋 涌波初三郎 旅順市乃木町(郵便局前)電話五〇八番

土木建築請負 築島組 築島米藏 旅順市乃木町二丁目電話三九七番

豆腐製造 福島屋 赤坂惣太郎 旅順市鮫島町三三電話一五八番

左官 大谷守 旅順市名古屋町電話七五二番

和洋雜貨 ふたば屋 旅順市乃木町電話六一一番

土木建築請負業 森谷吉五郎 乃木町三ノ二八電話四八三番

銘酒神代醸造元 土木建築請負 神田酒店 神田小太郎 乃木町二丁目電話三二三番

土木建築請負業 川谷竹次郎 伊知地町三三電話四七三番

歐米諸雜貨、内地各新聞取次 外山洋行 旅順青葉町電話二四一番

土木建築請負 山村組 大津町 電話五八九番

土木建築請負業 前西熊市 大津町四一電話三四三番

疊製造 興石商店 興石久作 大津町一六電話三六〇番

裝飾煉瓦及煉瓦土管製造 小林治作 金比羅町八電話五二五番

材木、建築材料 西野商行 乃木町電話六八番

土木建築請負 廣垣治助 忠海町電話三〇七番

土木建築請負業 清住泰一 鯖江町一二電話五三四番

土木建築業 本田組 本田與市 乃木町三丁目電話四一一番

旅順市外方家屯 林農園 山羊牧場 林澤一郎

御旅館 寶來館 乃木町 電話五六番

御旅館 防長館 青葉町電話二八三番

御旅館 旅館ホテル 青葉町電話三六七番

日本赤十字社 滿洲委員本部

旅順新市街鎭遠町 城田醫院 院長 成田彦次郎 電話二六七番

滿洲乃華 高粱しるこ 加藤東金堂 旅順白玉山麓電話五三二番 出張所 大連市聖徳街三丁目 電話九八三六番

滿洲記念品 支那土産品商 東京堂 本店 旅順市乃木町三丁目 電話六一番 振替口座大連一六六七番 支店 大連市銀座通本町角 電話二二一九五番 振替大連四〇五番

旅順市名古屋町 仲野歯科醫院 電話一二九番

旅順市八島町 竹森病院 院長 竹森哲三郎 電話一四二番

旅順市富士町 滿洲蠶絲株式會社 電話五六七番

旅順市乃木町三丁目 本田商會 本田治三郎 電話二七七番 振替大連一五四九番

旅順料理店組合

野間式ストーブ製造元 野間鐵工所 野間應一 乃木町電話一九七番

旅順市乃木町 新鮮 御菓子一式 渡邊果物店 電話四三二番

土木建築請負業 石井組 石井本一 旅順市名古屋町一九電話一一三番

滿鐵石炭特約店 本溪湖煤鐵公司代理店 千代田生命保險相互會社代理店 朝鮮火災海上保險株式會社代理店 日本麥酒鑛泉株式會社特約店 海軍糧食品御用達 一般倉庫業
旅順倉庫經營 倉庫所在地 旅順市八島町(電三二番)朝日町一丁目 石炭商 矢幡商會 出張所 滿鐵貯炭場構内 電話三〇六番

(いろは順)
鮫島町 稻富藥店 電話五八七番
乃木町 田中藥舗 電話三三六番
青葉町 萬代號藥房 電話四二八番
青葉町 宮竹藥店 電話一七〇番

トラスト製造元 タイハンストーブ販賣 旅順市金比羅町 石井榮一 電話三七番

石炭商 滿昌洋行 旅順市八島町 電話一六六番 貯炭場 電話一四七番

製鹽業 旅順市鮫島町 矢原商會 矢原重吉 電話八一・四四六番

りんご紅玉、國光 生みたて玉子 生みたて卵卸小賣 ウヅラ柏漬 内地沿線送荷 手數一切無料
旅順驛前 月見農園賣店 電話六二〇番・振替大連二七四一番 月見町 月見農園 富士町 養鷄場

旅順金融倶樂部
朝鮮銀行旅順支店
正隆銀行旅順支店
旅順無盡會社
旅順輸入組合
キンユウクミアイ

(いろは順)
岩崎洋服店 乃木町電話三六四番
井本洋服店 乃木町電話一五七番
高田洋服店 新市街大迫町電話二二七番
中山洋服店 乃木町電話三三九番
島村洋服店 敦賀町電話一七九番

(イロハ順)
御履物 乃木町 村瀬商店
御履物 乃木町 栗田商店 電話三四一番
御履物 敦賀町 ヤマ一號
乃木町 みやこ履物店 電話六五九番
青葉町 下村履物店 電話三二五番

青葉町街燈維持會(いろは順)
池田洋行 / 御菓子 泉屋 / 原田時計店 / 早瀬商店 / 新見時計店 / 岡女庵 / 大阪屋號書店 / 吉野洋品店 / 谷疊店 / 高治洋行 / 山口商店 / やまと軒 / 山本商店 / 中野日界堂 / 松崎紙店 / 文英堂書店 / コンパル食堂 / 瑞章堂印房 / 喫茶店 スヾラン

旅順料理屋組合(いろは順)
西町 一力 / 同 蛤亭 / 柳町 濱屋館 / 西町 東洋軒 / 川端町 吉田屋 / 同 旅島屋 / 十年町 松葉 / 川端町 滿月樓 / 同 京城樓 / 西町 榮福樓 / 同 吾妻樓 / 朝鮮町 堺樓 / 西町 新世界 / 同 新萬歳 / 川端町 笑福樓 / 東町 春海館 / 川端町 昭和樓

旅順飲食店組合(いろは順)
伊勢屋 / 富の家 / こもゑ / 千代の家 / 千歳クラブ室 / 料理 旅順軒 / 大阪屋 / 大迫屋 / ヨシノ / つぼみ / 好壽し / 松金 / まねき / 福壽館 / 文化亭 / 朝日屋 / キムラ / 菊地饅頭 / 木村屋 / 吟月 / 有美堂 / ミハラシ / 新更科 / 日の出 / スゞメ

オリムピックと歐洲スポーツ界
主要國の陣容展望

第十回國際オリンピックを目前に控へて歐洲各國は果して如何なる陣容を以てこれに臨むであらうか次に主なる國のその陣容を檢討して見る。

イギリス

◇英國は由來オリンピックに強い國で一般の興味の的となつて居るがこれは亦それ相當の理由がある何となれば英國ではスポーツは依然プレーであり他國に見るが如き著い修練や或は國家的の義務ではないからである、即ち英國人に取つてはスポーツは慰安娛樂であり特に青年にとつての悦樂なのである、從つて英國の運動家は初めからレコードを破る積りでスポーツをやるのではなく勝たがん爲め相手を負かさんが爲めにやつて居るのである、これが英國で餘り新らしい記録が生れない理由である、同時に英國の運動家は常に神經を濫費せず、その精力を消耗せぬやうにして居るが、これに反し新レコードを目指すものは常にその精力を使ひ盡して居るのである、從つて一旦緩急ある場合に遭遇すれば英國選手は全力を傾注するから世界記録保持者を破り新記録を樹立することが多いのである。

オリンピックで世界記録保持者が必ず勝つとは限つて居ない、試みに一九一二年のオリンピックを回顧して見れば、この時行はれた千五百米に於ける米國の名選手テーバー、キヴイアット、ジョーンズ、シエパードの四選手の猛烈な接戰を演じたことはなかつたのである、處が結局誰が勝つたか、後記の四人の誰でもなく英國のジクソンであつたのである

然し英國の強味はランニングだけで投擲や、跳躍の方は殆ど問題にならない、四百米に四十八秒を持つ新進ラムプリングは歐洲における四百米の第一人者である、リッデルも未だをさをさへず同選手は目下支那にゐるが同地よりロスアンゼルスに乘込まうとしてゐる、一方トーマスは一哩および千五百米の選手として極めて有望視されてゐるが同選手の現在におけるベスト・タイムは三分五十四秒である

ハードルのバーレー君は百十米十四秒七、四百米五十四秒二といふ好記録を出して居り依然斯界の雄たるを失はない、五千米のエボアソン及びウインフイールドは何れも十四分五十五秒の記録を有し五千米ランナーとしてい良い方だがオリムピックに入賞はむつかしからう、ラムプリング、ハロン、リッデルを有する英國は千六百米リレーにおいてドイツ、カナダ等と共に米國の牙城を狙ふものであらう。

フランス

一九二八年アムステルダムの第九回オリムピックに於けるフランスの成績はそれより四年前のパリに於ける第八回オリムピック大會以來如何にフランスの競技界を刺戟したかを實證するものであつた即ちアムステルダムに於てはフランスは遂に第五位をかち得、これに對し英國第六位、イタリー七位スペイン廿八位であつた。

現在フランスの競技界に於て最も異彩を放つてゐるのは水泳のジャン・タリ選手である、彼にはアルネ・ボルグの唯一の後繼者と目されて居りフランスの記録表に九つの新記録を留めて居る百米自由型に於ける彼の記録は五十九秒八であるが、彼の得意とする處は二百米以上で二百米のベスト・タイムは二分十四秒二である、又四百米の記録は四分四十七秒で四分四十八秒、四分四十九秒の記もありこれは共に歐洲及び世界新世界である又彼の千五百米に於ける記録は二十分十五秒八である、この記録から推せばタリがロスアンゼルスの四百米自由型に優勝することは先づ疑のないものと見られて居る、この外跳込にはルメージュ選手あり相當有望視されて居る

女子水泳選手の方ではゴダール孃が百米自由型に一分十秒、四百米自由型に五分四十五秒の記録を出して居る、同孃は自動車事故のため負傷したが最近再び練習を開始した、フランスには特に取立てゝいふべきアマチユア拳鬪選手は居ない寧ろレスリングの方が有望である、又體操及び馬術の選手にはクラヴエー、ビザール、ド・ブルール、ヴアロン大尉等の優秀選手が居りロスアンゼルスで相當活躍するものと期待されてゐる。

イタリー

イタリーに於けるスポーツは近年長足の進歩を遂げた、然しロスアンゼルスではフエンシングを除いては入賞の見込あるものは殆どない、陸上競技で最も有名な選手は當年三十四歲のフアセリである アムステルダムでは彼は四百米ハードルに六着となつた、而も彼は一九三一年の歐洲ランキングでは五十三秒八の記録で第一位を占め英國のバーレー君は三位となつてゐるフアセリは百十米ハードルにも好成績を示し又ホ・ス・ジャムプにも優れてゐる、此の外イタリーには千五百米三分五十六秒の記録を有するベカリ、四百米四十八秒五のカーリニ、百米十秒六のトエッテイ、幅跳七米四一にトナニ等がゐる。

フインランド

フインランドは依然として長距離の國である、アマチユア選手としての資格問題が云々されてはゐるが、オリムピックでマラソンに出場することを發表して、世界のマラソン界に脅威を與へてゐるヌルミは、一萬米突で三十分五十秒六といふ素晴らしい記録で世界の最高峰を持し五千米突でも十四分四十七秒六を出してゐる、また五千米突ではレーテイネンは十四分三十一秒七を出して三一年度の世界の第一位に位しイソホロとヴイルターネンとがこれに續いて第二位と第三位とを占めてゐる、これらのほかにもフイランドの長距離にはサルミーネン、ロウコラ、クコーネン、マチライネンなど全く多士濟々である槍投でもフインランドは優勢である、三一年度に六十米突を越えたものが二十人を突破してゐる有樣である、ベンチラは六十九米突八〇を投げて世界の王座を占めてゐる、この國は三段跳を日本と共に最も多く行ふ機會をもつ國であるがイー・ヤルウイネンが十四米突九〇を跳び、マキーネンが十四米突七五を跳んで、ともに十五米突臺に接近してゐる

ドイツ

ドイツはアメリカと共にその選手の數を多くもつところに絶大な強味をもつてゐる、百米突に十秒四が四人も出てゐる、五千米突でもシヤウブルグの十五分〇秒六を筆頭に十五分十秒までに五人を擁してゐる、これまであまり振はなかつた棒高跳でも三一年度にウエグナーが四米一二を跳んでわが西田を凌いでしまつた、高障碍ではベシエッツニックが十四秒八、ウエルシエルが十五秒〇を出してゐる投擲は槍投以外悉く三一年度の記録で日本の最高記録を破つてゐる

スパイク

◇全日本陸聯は昨年十二月の會議で將來日本選手が外國で世界記録を出した場合はこれに世界記録賞を與へることを議決した、元來世界記録賞は國際委員會で制定し贈與されるものであるが、この決議によつて加盟國からも世界記録賞が贈られるといふ珍妙なことになり世界記録賞に二種類あることゝになつた譯。

◇四百米のランナー米國南加大學の選手ヴイク・ウイリアムスは四百の選手としては不似合な體格をなしてゐてよく四十七秒四の記録をもつてゐるが、それには彼獨特の物凄いばかりの精進がある。ゴールに入るときの鐵の凄さがそれであり練習後コーチに「もう歸つてもよいか」と尋ねて、許されない場合には、また泣いて頑張るのが常であるさうだ。

◇米國庭球王チルデンと共に一九二七八年米國デヴイスカップ選手として花々しく活躍し、約一ケ年前デヴイスカップ戰から引退し職業選手として活躍してゐたフランシスハンターは最近自動車事故のために右足を折つてしまつた、醫者の話によると傷は今後或はラケットを持つことは出來るかも知れないが、再び一流選手たる可能性は殆どないといつてよいとのことである。

◇ニューヨークのグリーニチヴイレッヂに總工費三百六萬圓を費してこのほど瀟洒なしかも素晴らしい婦人用の監獄が竣工したが、堂々たる十二階建の建物で屋上庭園には設備の完備した競技場テニスコートが設けてあるさうだ、勿論この競技場やコートを使用しやうとするには、先づ女であること、そして御自分の亭主を殺してからでなければならないことが必要であると、アイルランド人の同監獄門衛がいつてゐるといふことだ。

野球統制案物語
案を球界に取り戻せ

秋山慶幸

文部省が野球統制案を實施してから、もうだいぶ經つてゐるが、世間はこの問題に對して案外冷淡である。これは世間許りでなく、野球關係者それ自體までが無關心すぎる傾向を持つて居る。たゞ問題視したのは、統制案の內容が發表されたが、その中に四月一日以降から、從來各地で行はれてゐた全國大會、選拔大會、或は全國少年大會等が中止される事になつて居る爲め、直接この影響を受ける主催者側の各地方新聞社のみで、これ等の各社は一大事と許りに早速同志を糾合して反對運動を起し始めた。

然し乍らこの運動は、野球界の內部から起つたものでなく、その支持もない爲、なんなく文部省側に一蹴されて、統制案は四月一日から文部省訓令として無事施行されてしまつた。こんな具合に世間で多少の動搖があつたにも拘らず、お膝元の六大學リーグは、この問題に對して殆だ冷淡極まる態度を採つて居たやるものならやらして置け、俺等の知つたことではないと言ふのが、リーグ加盟校の腹であつたらしい。

然し乍ら文部省の訓令なるものはそんな甘いものでは無かつた。陽春とともにシーズンが開かれた。それに先だつて早くもひつかゝつて來たのが早慶新人戰の問題である。これは世間に洩れない間に終つて了つたが、京都市が御成婚記念に造つた市立グラウンドを公開するに先だつて、そのグラウンド開きに早慶新人を招き、一般へ無料公開して、當日を華やかに裝ふと言ふ譯であつた。所でこれが早慶側の統制案にひつかゝつて了つた。規定に依つて文部省へ許可願ひが提出された。これに對して文部省は、この試合は各デパートメント等で行ふ入場無料の催し物と同じ種類のものとして取扱ひ認可不許可となつて了つた。

早慶兩チームが啞然としてゐる間に、今度は明大がひつかゝつて來た。鶴見臨港鐵道に吉相が入社した。そのお祝ひといふ譯でもないが、こゝで明大新人と日大が對戰することになつた。所が訓令には、兩チームがその所在地を離れて他縣で戰ふことは嚴として禁じて居るので、これも取止めを命ぜられて了つた無理に神宮球場を使つてウイークデーに試合を仕樣とする五大學リーグの試合日割の如きも當然これに觸れて來た。かうなつて來ると流石の六大學チームも始めて如何に窮窟な問題であるかを悟らざるを得なくなつて了つた。同時にこれ等試合の斡旋に當つた各大學先輩の間にも文部省のやり口に些か不滿を有する樣になつて來た。

この統制案なるものは勿論日本野球協會の誕生を前提として出現したもので、その主旨は從來幾團かかつた選手爭奪、其他の弊風を一掃しようと言ふのにあるので、言はゞ日本野球界が自分自身の手で淸算しきれなかつたものを文部省が仕樣と云ふのでその主旨は甚だ是とするものである。

然し乍らこれを作つた人が如何に實際の球界から遠ざかつた所であり、その相談に招かれた球界の大先輩達が、何の程度迄の意見を述べ、またその意見が何の程度迄採用されて居るかは大いに疑問とせざるを得ない事實を散見するに及んでは、この案を素直に受入れられない氣持になる。從つて山川體育課長が角をためて牛を殺す樣なことはせぬと公言して居るのも、果して適言であるか何うか大いに疑問視せざるを得ないことになつて來る。

既報に述べた早慶新人戰のやうに野球の普及に資する樣な試合が何故許可されなかつたかこゝに名前を持ち出すことは些か遠慮するが飛田穗洲老の如きも不滿組の一人と言ひ得る。自分等の主張して居た個條が削除されて居なかつたと言ひ。その適用があまりに杓子定規に過ぎるといふのがその理由である。

私の言ひ度い事はこの案の精神を尊ぶと共にその適用もその精神を沒却せぬ樣にして貰ひ度い事である。更に歩を進めて徒らにこれを文部省の管下に置くことをせず、野球關係者がもつと球界自身を省み、考へこれを自分等の手に取り戻して、統制案の完全をはからねばならないことにある。

祝天長節

ニチロパン製造販賣 日露洋行 大連市濱速町四一 電話六六六〇番

石綿製各種パツキング商 杉元商會 大連市榮町一五 電話(國)三八八七 五七九八番

米國ブランシツク 米國ソノラ 蓄音機會社直輸入商 田中蓄音機店 大連市伊勢町 電話(二)七八四 二一四二五番

大連信濃町市場組合 電話四七六三番

大連市信濃町一〇七 河又商店 沙河口支店 電話九五〇八番 電話四四六六・四九三〇番

活版、石版印刷、紙、文房具 小林又七支店 大連市大山通 電話代表六一六一番

鮮魚、蒲鉾 羽月商店 大連市信濃町市場 電話七二九六・四五四三番 本店 西通一〇四番地

大連市信濃町一二三 石川萬壽堂 電話四三四四番

機械暖房建築材料種 島松商店 大連市監部通二〇 電話代表六二〇四番

トキワ橋の果物店 高級果物卸小賣 みのるや果物店 大連市常盤橋 電話三八七三番

甘栗太郎 濱速町支店 常盤橋分店

柳本呉服店 大連市連鎖街銀座本町角 電話五二二四八 五八五八番

大連市山縣通市場 電話七二三五番

大田介辯事務所 大田滿 大連市沙河口黄金町

内科 醫學博士 佐藤久三郎 大連市三河町二、西廣場入口 電話八二一五番

大連市濱速町七九 福田硝子店 電話四三四〇番

和洋紙、文房具 水田洋行紙店 大連市伊勢町二(濱速町角) 電話四四八九番

凸版 銅版 圖案 拓大社工作所 代表 中原周三 大連市西公園町九九 電話三九三二番

沙河口中央通町内會

沙河口藥業組合 大連市沙河口巴町十六番地

沙河口金融組合 大連市沙河口黄金町 電話九七二〇番

大連市小崗子橋立町一〇 小崗子露天市場事務所 電話三七二四番

小崗子料理店組合一同 電話四三三六番

立石保福 大連市但馬町一四 電話六二〇四番

星ヶ浦 料理 觀月 電話九六三六番

図案 眞坂橋三 電六九〇二

大連酒商組合 (イロハ順)

- 白鹿 發賣元 合資會社白鹿商店
- 白鶴 發賣元 嘉納合名會社大連支店
- 澤龜 發賣元 宅合名會社大連支店
- 大關 加茂鶴 發賣元 黒岩大連支店
- 忠勇 發賣元 增屋
- 櫻正宗 發賣元 扶桑號高見商店
- 富久娘 發賣元 富久洋行
- 都菊 發賣元 合名會社肥塚商店大連支店
- 菊正宗 發賣元 鐵谷商店
- 東洋一 發賣元 柴谷洋行出張所
- 白雪 發賣元 鈴鹿商店

在大連滿洲土木建築業協會員

- 合資會社 池内市川工務所 大連市若狹町二〇五 電六四四四番
- 伊賀原組 同 神明町八 電五〇八七番
- 今井組 同 霧島町四六 電六八八七番
- 合資會社 原組 同 八幡町二七 電六二三三番
- 合資會社 長谷川組 同 神明町六 電四五二〇番
- 合資會社 星野組 同 若狹町一二 電六六七九番
- 東洋コムプレッソル株式會社 同 若狹町一九六 電五七三〇番
- 岡組 同 東公園町六五 電三九九二番
- 大倉土木株式會社 同 山縣通一六 電四二三二番
- 大林組大連出張所 同 薩摩町一三 電八二四五番
- 大連工材株式會社 同 入船町一 電四五六九番
- 合資會社 大同組 同 山縣通五一 電三三七〇番
- 高岡久留工務所 同 紀伊町二六 電四八〇七番
- 株式會社 多田工務所 同 淡路町三 電四七八九番
- 合資會社 蔦井組 同 但馬町三四 電四四二八番
- 辻組 同 能登町八五 電六〇六七番
- 名越工務所 同 聖徳街四ノ二 電九二〇五番
- 草場工務所 同 若狹町二八 電六二五〇番
- 合資會社 久保田組 同 山縣通一五 電八四七〇番
- 合資會社 間瀬組 同 惠比須町二一 電三二五一番
- 株式會社 福昌公司 同 山縣通二三 電七一七一番
- 福井高梨組 同 東公園町三九 電三五四九番
- 榊谷組 同 能登町一七 電六七九一番
- 共進組 同 二葉町七一 電三六〇三番
- 合資會社 三田組 同 越後町五 電四八五〇番
- 白川洋行 同 櫻町一二 電七〇五三番
- 合資會社 昭和工務所 同 紀伊町一九 電五三〇五番
- 合資會社 志岐土木組 同 信濃町四五 電七〇七二番
- 合資會社 清水組 同 弓町五 電五三九〇番
- 合資會社 鈴木梅本組 同 西公園町一七九 電六三五一七番
- 鈴木武二 同 朝日町八 電八四一六番
- 石井組出張所 同 惠比須町二五 電六七三四番
- 井上組出張所 同 弓町五 電二一三六一番
- 吉川組支店 同 西公園町四三 電六三九三番
- 阿川組出張所 同 霧島町 電三五一〇番

鳳凰城

稻本德松 / 原口吉次 / 鳳凰旅館 / 太田瑞穗 / 岡口德松 / 渡邊力 / 武田竹松 / 福岡丈助 / 小林旅館 / 篠田直次郎 / 平井眞一郎 / 仙波清

鳳城縣自治委員會 委員長 李筠生 委員 郭良 郭彥碩 何洋林 鄂復華 佟熙綱 白玉衡 孫曉林 趙治顯 羅賓書

税捐局長 商鳴勤

農會長 秦嶺

中和實業協會 鳳凰城事務所

撫順

撫順警察署長 寺田良之助 / 撫順郵便局長 福永高介 / 撫順驛長 江川憲二郎 / 撫順區地方委員會 / 撫順實業協會 / 撫順體育協會 / 滿洲土木建築協會撫順支部 / 撫順會社銀行團 / 撫順炭礦長 伍堂卓雄 / 撫順炭礦次長 久保孚 / 撫順炭礦參事技師課所場長一同 / 撫順農會 / 撫順質屋業組合 / 寺西圭之 / 田中廣吉 / 東京 齋藤茂一郎 / 奧澤集成 / 撫順バス商會

廣崎行雄 / 碇山久 / 飛鳥井堉太郎 / 梅田富三郎 / 撫順驛前 筑紫館支店 / 渡邊琥珀堂 / 隅田商店 / 松田土産店 / 花月堂 / 牧野商會

撫順醫師會 (順不同): 稻葉齒科醫院 吉田齒科醫院 長岡齒科醫院 中村齒科醫院 向井齒科醫院 柳瀬醫院 松井醫院 天生醫院 淺田醫院

滿鐵撫順醫院 (順不同): 齋藤五郎 大沼貞藏 上井敬三 森田近 鈴木修一 佐藤賢次 植村三春 酒井肇 下妻堅太郎 加藤清雄 青木剛

撫順教育會 (順不同): 石原貞次 瀧川嘉一郎 大佐三四五 棟木久藏 植村良男 寺田喜次郎 荒木肇 瀧野多賀次 山本富久雄 杵淵彌太郎 辻松太郎

秩父屋

撫順料理店組合 (順不同): 一進樓 濱見屋 新高亭 蓬萊館 近江亭 右左滿 旭館 青柳 山陽樓 金龍亭 みどり 松月 日之出館 一二三館

ヒカリ寫眞館 / 撫順 隆泉海燒鍋 / 青い塔 / 明星公司 / 威司東公司 / 小川炊事 / 大谷商會 / 三榮公司 蓬萊洋行 / 中原祥光 / 奥田鹿藏 / 中馬新藏商店 / 福田寅一 / 後藤愛助 / 和泉呉服店 / 東三洋行 / 撫順金融組合 板倉市二郎 / 四國洋行 / 大松號

川路喜平 / 大島勇 / 日昇公司 / 石橋德太郎 / 撫順整理炭組合 / 村上土産店 / カフエー 白バラ 電話一五八三番 / カフエー ライオン 電話一三九六番 / カフエー 赤玉 電話二六五八番 / カフエー クロネコ / 撫順佛教聯合會 / 西本願寺 / 蜂谷文平 / 米滿 / ハレルヤ藥店 電話二四三八番 / 富澤寫眞館 / 龜城商會 / 撫順製材公司 堤八郎 / 稻垣家具店 / 山田洋行

近代人と王道
科學萬能による悲鳴

奉天　佐藤熊男

王道とは自然を尊重し、天の命に遵ふを云ふ。自然とは吾々が科學の力を以て日日その幾分を開發しつゝあるものゝ本體である。天とは吾々が哲學の力を以て日々その幾分を究めつゝあるものゝ本體である。だから王道とは、吾々が切に求めんとしつゝある處の最高最遠の理想であるのだ。一口に王道と云へば、世人は「此の廿世紀の世の中に王道では古臭い」とけなして了ふ。然るに何ぞ圖らんその古臭い王道が近代人の憩望して止まない理想であり、目醒めたる文化人の求めんとする或るものであらんとは……

王道とは、イムペリアリーズムでもなく、カイゼリーズムでもなく、ツアリーズムでも無論ない。王道を化學的に分析を試みるならば、或はその中には資本主義も、社會主義も將亦共產主義も含有して居るかも知れぬ。併し王道は分析すべきものではなく、中和である所に價値があるのだ。然るに人間の造つた物質文明なるものは何んでもかでも分析するのが病ひで、遂に中和であるべき王道とへも分析して了ふ。そして資本主義や社會主義や共產主義に分離として互ひにその耦を競はしてゐる。卽ち之れを政治的の方面から見ると、やれ立憲君主政體がよいの、共和民主政體が合理的だの、或は共產制度が理想的だのと、種々勝手な實驗をしてゐるが、結局どれも大して香ばしくない。之れは恰かも漢藥に於ける新藥の樣なもので、あまり分析し過ぎると餘なものは出て來ない、砂糖甘いがよかろうからとて、砂糖の代りにサッカリンを舐めても風味がないし、醉へばよいからとて日本酒の代りにアルコールを引つかけても陶然とはなり難い、否、醉へはしても副作用が恐ろしいと云つた樣な鹽梅で、化學とか分析などゝ云ふものは要するに枝葉末節をホヂリ廻はすに過ぎない。

吾々はそんなものには最早飽き果てゝゐるのだ。少くとも政治の根本を沒却し、そして科學偏重に陷いつてゐる今日の所謂物質文明には、何と云つても盲從し兼ねるのである。早い話が一國の主權者を推戴する場合でも彼の選擧に依つて四年毎に交代する大統領や大總統がどうも人間のエキスの樣に思へて、有難味が薄い。成る程選擧は多數決であるから、國民大多數の意志の表徴として、一見公平なやうにはあるけれども、世に選擧ほど人間の醜態を露骨に暴露するものはない。總ての選擧は多數と少數の爭ひであるが、多數なるが故に其の行ふ處が是だとは極まつて居らず、少數だからとて其の主張が非だとは斷ぜられない。況んや當今の買收干涉情實などが盛に行はるゝ時に於てをやで、選擧は何處まで行つても遂に人間の醜い啀合ひに過ぎないのだ。だから選擧に依つて地位を得た主權者は往古に於ける德と力とを以て贏ち得たる霸王の域を脫し得たものとは思へない。此の意味に於て筆者は共和政下に於ける主權者に對して彼等の偉大なる人格は認め得ながら、崇高なる神格とも云ふべきものを認め得ないのを遺憾とするのである。

これは啻に主權者に對する場合のみに限らず、今日の所謂物質文明のあらゆる方面に於て感受せらるゝ事實なのである。無論筆者と雖も科學の尊重すべきことは知つて居り自然が科學の力によつて征服されつゝある事實をも認めてはゐるが、同時に科學の應用に少しでも無理があれば、自然に反して恐るべき結果を齎らすことも知つてゐる。

惟ふに今日における人類社會の總ては、あまりに科學萬能に囚はれ過ぎて居りはせぬか、冷靜で然も愼重なるべき科學が、輕卒にそして矢鱈に社會のあらゆる組織中に喰ひ込むものだから、社會は恰も人體における神經衰弱の狀態に陷つて了ふ。斯くの如き科學偏重的な社會組織が人間に滿足を與へ得ぬことは云ふまでもなく、斯の如き不自然なる社會制度が遂に行き詰りを來すことは理の當然であつて、今や全世界の人類が此の弊に罹ひせられ、一齊に悲鳴を揚げてゐるのも、要するに自然に抵觸する人爲的科學の濫用に基くものといはねばならぬ。

こゝにおいて吾等は、吾等固有の王道を宣揚し、王道の本領である處の、偉大なる包容力と、絶大なる統制力と、これによりて應用せらるゝ大科學の力とを以て、人類最後の目的たる天國を出現せしめねばならぬ。

…といふ話

◇濠洲のマンリー町に住むキーガン夫人といふお婆さんは此の程八十九回の誕生日を迎へたがその子や孫、曾孫を合せると百六十二人もあり恐らく世界一の子福長者であらう、その內譯は子が十三人、孫が六十五人、曾孫が八十四人、而かもこのお婆さんは未だ仲々元氣で孫や曾孫に昔話をして聞かせるのを何よりの樂しみにしてゐると【シドニー發】

◇數週間に亘り濠洲ヴイクトリア州スワン・ヒル在の農家を苦しめてゐた野鼠は、豪雨に襲はれた爲め町の中の住宅區域に避難し來つたので今では家の中といはず庭といはず鼠が充滿してゐる有樣、最初は猫も好敵御座んなれとばかりに大いに天誅を加へて居たが遂にあきたと見えて鼠を見ても振向きもせず所謂ストライキをおつ始めた、之が爲め各戶で大いに鼠退治をやつて居るが到底取り切れず何れも悲鳴を舉げて居る【シドニー發】

◇ポーランドのジヤオ村に住むさる地主は狩獵に出かけやうと思つて銃に彈丸をこめたまゝ之を抱へて立つて居た、丁度そこへ愛犬が歸つて來たが主人が狩りに行くのを見て大いに喜びほえながら主人に飛びついた、處が運惡くもその片足が引金に觸れたので忽ち銃は發射し彈丸は主人の頭を貫いて無殘の卽死を遂げた【ワルソウ發】

◇アフリカの蠻地旅行から歸來した人の話。十二と十と生後三ケ月の三人兄弟を子に持つ蠻人の母親が其の小屋に三人の子供を殘して食物を探しに出かけた、やつと幾らかの食物を探し出したので小屋に歸り三人の兄弟に「赤ん坊に食物をやるから連れておいで」と命じた、子供はもじくしながら「子供はもう居なくなつちやつた、お腹が空いたので料理して食べちやつたんだよ」と答へた【ダンデイ(アフリカ)發】

◇最近モスクワ鷄卵拂底は政府の輸出强制のためその極に達し一月中旬以降三月末までの鷄卵の手に入るのは大ホテルだけ、それも內密にやつとの事であり一個八十コペックといふ高價に昇る有樣實に國營市場規定價格の八倍であり政府もこれを認め四月一日遠隔地點より四百九十貨車の鷄卵、產卵牝鷄百十二萬羽を輸送せしめた【モスクワ發】

新しい洋畫寸言

兒島善三郎

普通一般の人は、目で見た通り描いてある繪でないと理解しない。鼻が曲つてゐたり、目がつり上つて居たりする新しい洋畫はよく解らないと云ふ。これが日本畫の美人畫だと實物より美しく道樂的に描かれても解るのだから不思議である。これは日本に洋畫が這入つて、まだ五十年位しかたつてゐないので、短日月故に洋畫の基礎、技術、形式が一般的に理解されて居ないからである。

洋畫の技術は實に複雜を極めたもので、日本畫のそれより十倍も百倍も多種多樣である。從つてその技術がむつかしい。一例を舉げて見ると、立つてゐる人物と、背景の壁から壁の間にある距離、卽ちその空間を、實際それだけの距離あるものとして畫面の上に描ける洋畫は日本にはまだ一人も居ないと云つていい。風景畫の場合同、路なら路を描き上げた時、描いた當人が、見るものに實際その路を步いて行けさうだと云ふ感じを持たせる樣描くと云ふ事は大變な業である。又空を描く場合、本當に空らしく、その深さ、輕さ、軟かさを出す事はむつかしい。人物にしても同樣で、そこに描かれてゐる人間がすぐにも步き出し、物を云ひさうに描く、これは大きな技術を要するので、西洋の名畫と云ふものは、實にこれを巧みに描いて居る。

事實に卽して描く、見た感じを描くと云ふ事は洋畫に於ても大切な事で、又困難な仕事でもあるが日本人はこの物を寫す能力より、抽象的な夢にあこがれたりする氣質により多く惠まれてゐる。西洋人の科學的であるのに比較して日本人は象徵的であり浪漫的である。

そこで日本人としては、自分の天性に適した、抽象的な象徵的な繪を描くべきだと云ふ事が云はれる。寫實の繪より、夢的な抽象の繪の方が性にあつて居ると云へる。この立場に從て、最近の新しい洋畫は、目で見た通りの繪でなく、夢のやうな、形の違つた繪を描くと云ふ傾向をとつて居るのであるが、しかし抽象的な繪を描く場合には前云つた物を本當にそれらしく描くと云ふ寫實の勉强が十分出來た後でなければならない。本當に空を空らしく描けないやうなものが自分の主觀に從つて抽象的な繪を描いても、それは繪畫としては程度の低い出鱈目に終る。

そこに川を描いても、その川が澤だか路だか一向解らないやうなものは、抽象的な繪の場合でもよろしくない。故に實寫に根ざした象徵でなければ意味をなさない。寫實を卒業した表現でなければ意味をなさない。新しい洋畫にはこの象徵性抽象性は生命であるが、まだ日本ではこの種の繪の完成されて居ない。一流作品と云ふものを生んで居ない。しかしこの種の繪は新しい洋畫として最も日本人の本性に適したものであるからして、よろしく新人はこの路に努力すべく、そして世界的な域にまで達成させるべきである。

祝天長節

青島

同仁會青島醫院（療養の最適地・設備完全）

青島絲廠

大日本麥酒株式會社 青島出張所

株式會社 青島取引所

青島水產組合

大連製氷株式會社 青島支店

青島輸出牛取引株式會社
青島牛肉輸出同業組合

米星煙草株式會社 北野順吉

青島宰畜股份有限公司

山東棉紡株式會社

山東窯業株式會社

青島燐寸株式會社　鈴木洋行 園田太郎
中村組合資會社　阿波共同汽船青島出張所
總領事 川越茂　井上源太
加賀山學　待鳥又一
大石定吉　栗本定治郎
山本仙　飯田芳亮
富田要　樋口三郎
國分壯介　大橋慶治郎
高橋光隆　兒島熊吉
中村順之助　松葉重隆

小谷節夫　吉田辰秋
日本紡績同業會 石川作太郎　鈴木健吉
綿貫明永　武下大介 武下房產公司
長澤薰　高宅慶夫
古門富太　田中元千代
荒木米一
漢城猷一　遠藤要
平岡小太郎
淡島小三郎 興亞棉行　袴田岩雄 三和洋行
西南堂 西脇善一　大觀堂 立場久次郎
辻村洋服店 辻村定吉　青島三業組合
カールトンダンスホール　スターカフエー
プランタンカフエー　マウント・フジダンスホール
金城カフエー　滿洲日報青島支局 井原福治　滿洲日報販賣店 森本寅吉

本溪湖

本溪湖煤鐵有限公司

（いろは順）
大岩銀象
尾崎重樹
梶山又吉
田城作之
植田德次
野尻虎
天羽順治
鮫島宗平
佐藤良治
日高長次郎
平石常造

長春

長春領事 田代重德

長春地方事務所長 楢岡茂

長春警察署長 清水澂

長春商工會議所會頭
長春取引所信託專務 永原岩雄

長春取引所長 奧平廣敏

滿電長春支店長 原口純允

長春各學校長
女學校 江部易開
室町小學校 上原種豊
補習學校 松田嘉兵衛
普通學校 笛木俊夫
公學校 小林治郎
商業學校 東一郎
西廣場小學校 瀨川順平

長春地方事務所係長一同

長春醫院一同

長春 同仁醫院 市橋眞三

長春商工會議所 副會頭 平塚豊次郎

長春驛 高澤公太郎
服部虎雄
清水利吉
山口義人

國際運輸株式會社長春支店 支店長 蓼沼泰一

長春新市街料理店組合

長春郵便局長 馬淵俊一

長春市場會社 砂原滋二

南滿瓦斯長春支店 五十嵐榮一

長春輸入組合 理事 久末吉次

長春地方委員 宇野常吉

長春地方委員 宮崎竹次郎

長春鐵道事務所
白井喜一
中山恕世
田中末治
福田又司
武井外一

長春警察署
豊倉朝秀
米村茂
田細文
楠田澄
倉田庄五郎
山見慶三郎
三上芳彦

長春三笠町三丁目 北原紙店 電二四〇一

長春三笠町三丁目 松田洋服店

長春日本橋通 平本洋行

長春 瀨下金

長春日本橋通 石炭 機械 鑛油 建築用品 セメント 電氣材料 煉瓦 泰利號 則生德之助

長春日本橋通 品川洋行長春支店

長春 長春旅館組合一同

長春驛構內 辨當・賣店 久保田ケサエ 電三一三七

東支連絡驛 賣店 峯下一郎

通濟公司 谷口清

長春日本橋通 大信洋行

長春東五條 吉林燐寸長春支部

長春 千葉修一商店

長春蓬萊町一丁目 藤永醫院 畑山研作

カフエー 精養軒

レストラン ヤマト

長春東二條通 文藻堂 青井表具店

長春三笠町三丁目 表具師 文仙堂

長春滿鐵病院前 大葉商店

長春吉野町 豊泰號

東一條通一九 小關樂器店

長春市場 食料雜貨 日華洋行

長春 金泰洋行

長春吉野町 渡邊運動具店

長春吉野町 佐藤洋服店 百武久吉

長春吉野町二丁目 秩父屋 飯島英一

長春三笠町三丁目 盛倉商店

長春東二條通 長崎屋洗布所

長春東一條通 そうばん 天金

長春大和通 食料雜貨 三浦洋行

長春日本橋通 食料雜貨 梶原洋行

吉長吉敦鐵路車內販賣 長春調辨所 電話二〇七三番

千鳥町 牛乳 三宅牧場

吉野町一丁目 高等理髮 神戶軒

東二條通 白米 雜貨 日鮮精米所 電話三三一七番

陸軍造兵廠指定工場 大阪偕行社特約 京都偕行社特約 乘馬用馬具 觀馬用馬具 大阪千倉支店 吉川實 電話四〇〇九番

カフエー ミカサ

日本橋通り みしまや吳服店

日本橋通り 東洋藥房 西山庄吾

日本橋通り 長春金融組合

日本橋通り 雜誌 文房具 林洋行

吉野町一丁目 丸平洋行

日本橋通り 中野精米所 電三三一〇

日本橋通り 吉野屋樂器店

日本橋通り 田中電氣商會

植木 盆栽 村田清一

吉野町 森野書店

日本赤十字社 星熊太郎（長春）

茶・日用雜貨 河久商店

居留民會長 田中善平

日本橋通り 電氣材料商 和登洋行

長春取引所信託株式會社

滿洲土木建築業協會 長春支部

長春石炭商組合
仁和洋行
加藤洋行
松茂洋行
大昌煤局
泰利號